

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO APRIL 2015 VOL.63 NO.4

ロータリーの友4月号 第63巻 第4号
平成27年4月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻748号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

4

2015

特集 雑誌月間
雑誌で知るロータリー
見守り育てる

Rotary





私の知る限りでは、ロータリーには「できない」と「できる」との葛藤で、
「できない」が永遠の勝利を収めたことは一度もありません。
広大なビジョン、崇高な目的は必ず勝利を収めます。

ロータリーの創始者 ポール・ハリス





ロータリーの雑誌を 分かち合おう



黄其光 (Gary C.K. Huang)

2014 - 15 年度 RI 会長
台湾・台北 RC

親愛なるロータリアンの皆さん、今日、コミュニケーションをとる方法は、かつてないほどたくさんあります。テレビ会議やインスタントメッセージの時代において、私たちは、おおむねどこにいても共に活動することができ、また、ロータリーの活動をフェイスブック、ツイッター、国際ロータリーのウェブサイトで知らせ合って、常に連絡を取り合うことができます。しかし、皆さんがまさに今、手に持っている、あるいは電子端末で読んでいる雑誌は、これからとても大切な役割を担い続けていくことでしょう。

多数のノーベル賞、ピューリッツァー賞受賞者が執筆

『The Rotarian』は、世界で最も古くから出版されている雑誌の一つで、1911 年、ポール・ハリスの寄稿文を特集して創刊し、以来、休刊することなく出版されています。当時、その雑誌はモノクロ印刷で、ほんの数ページのものでした。活字は小さく、写真もほとんどなく、広告はピアノ業者や紳士用品店、そして給水・給湯が完備されたホテル 1 軒でした。

現在、『The Rotarian』はスマートフォンやタブレットで読むことができ、地域雑誌は 24 の言語で発行されています。この雑誌にはデズモンド・ツツ、ジョージ・バーナード・ショー、ニコラス・マレー・バトラーをはじめとする 17 人のノーベル賞受賞者、19 人のピューリッツァー賞受賞者が執筆しています。毎月、『The Rotarian』は、ロータリー世界の最良の寸描を私たちに届けてくれます。それは絆であり、楽しみであり、啓蒙であり、刺激であります。

今の時代の雑誌の役割

恒常的に通信が行われ、新たな情報を得る手段がいくらかでもある時代に、今なおロータリーの雑誌は必要なのでしょうか？ 絶対に必要です。それは雑誌がこれまでもそうだったように、今なおロータリーについての言葉を広める

のに最も良い方法の一つだからです。雑誌は私が数々のロータリーデーの楽しさや興奮を皆さんと分かち合うことを可能にし、世界中のロータリアンの素晴らしい活動を掲載し、私たち全員に関係のある重要な問題に焦点を当てます。『The Rotarian』はロータリアンだけが楽しめるものではなく、ロータリーの公共イメージを広め、ロータリアンが行う活動を世界に示す素晴らしい方法なのです。

ですから、この号を皆さんが読み終えたら、誰かに差し上げてください。今月号の記事に、特に興味を持ちそうな人は誰かを考えてみてください。友達、仕事仲間、同僚に渡しましょう。ロータリークラブの例会に誘ったことがある人と分かち合ってください。www.therotarianmagazine.com を訪れて、ソーシャルメディアで話を分かち合ったり、Eメールでリンクを送りましょう。ロータリアンが 100 年以上続けてきたように、ロータリーに輝きを与えるために利用しましょう。

Gary C.K. Huang

2014-15 年度 国際ロータリー会長

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

『Rotary Japan』のホームページに、英文の RI 会長メッセージを掲載しています。

4月は雑誌月間です

3 RI会長メッセージ
ロータリーの雑誌を分かち合おう 
RI会長 黄 其光

18 ロータリーデー
東京・台場/新横浜RAC 会長 山根 秀太/
山形北RC 高橋 一夫/杉戸RC 栗原 偉憲/
倉敷水島RC/根室西RC/
大分キャピタルRC 武田三佳子/東京武蔵府中RC/
釧路北RC 能登 信孝/インド/アメリカ

26 心は共に 東日本大震災
第2790地区広報公共イメージ委員会委員長 金本 元章/
大阪リバーサイドRC/岡山備南RC 岡原 洋介/
大分南RC

28 見守り育てる
壬生RC/越谷南RC 石川 勝利/大阪なにわRC/
市川シビックRC/前橋RC 長谷部 潤/
河内長野東RC 畠山 隆雄

31 Rotary いま……
ロータリーもネットで教育の時代に

32 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ⑥
夢を応援するロータリー
能美RC 清水 勝彦
米山学友 董 又碩

7 特集 雑誌月間
雑誌で知るロータリー

8 ロータリー雑誌の仲間たち
Rotary World Magazine Press

10 座談会
ロータリーの友に関わって
司会 ロータリーの友委員会委員長 橋本 長平(京都東RC)
ロータリーの友地区代表委員
第2540地区 加賀 美奈(大曲RC)
第2590地区 長戸はるみ(川崎高津南RC)
第2630地区 加藤真左子(多治見西RC)

15 『友』で見る奉仕活動の変遷

34 視点 ガバナーのページ
第2600地区 中川 博司/第2610地区 永田 義邦
第2620地区 岡本 一八/第2630地区 石垣 智康
第2750地区 坂本 俊雄/第2760地区 近藤 雄亮
第2780地区 渡辺 治夫/第2640地区 辻 秀和

38 地区大会略報Ⅲ
第2660地区・第2570地区・第2580地区・第2790地区・
第2760地区・第2750地区・第2680地区

6 ■ロータリーとは
40 ■エバンストン便り
40 ■管理委員長の思い 
41 ■ロータリー掲示板
RC事務所住所変更・RC例会変更・新RAC・2015-16年度
『友』誌表紙写真募集のご案内・IAC終結・広報誌のご案内・
2015-2016年度版ロータリー手帳のご案内・地区別クラブ数/
会員数/出席率一覧表・『友』5月号主要記事予定
43 ■日本ロータリー分布図
43 ■奥付
44 ■『友』誌2015-16年度表紙写真募集のご案内

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN 
Home Page 
www.rotary.or.jp



P18～25 世界中でロータリーデーが開催され、さまざまなイベントが行われています

ロータリーの友 委員会		特別顧問	地区 代表委員	顧問	2500 佐藤 真康 (帯広)	2830 中畑 肇 (弘前西)	2650 橋本 和典 (奈良大宮)
委員長 橋本 長平 (京都東)	副委員長 清水 良夫 (横浜)	顧問	中山 義之 (横浜南)	神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)	2510 柳 孝一 (札幌横南)	2840 島津 文弘 (高崎北)	2660 藤田誠一郎 (大阪帝塚山)
					2520 太田マリ子 (盛岡滝ノ沢)	2580 石橋 正男 (東京東江戸川)	2670 石川 浩 (高松南)
					2530 金平 祖隆 (福島北)	2590 長戸はるみ (川崎高津南)	2680 熊見 一郎 (神戸須磨)
					2540 加賀 美奈 (大曲)	2600 山口 健雄 (伊那)	2690 樋山 義浩 (益田)
R I 理事 北 清治 (浦和東)	R I 理事 杉谷 卓紀 (玉名)	顧問	本田 博己 (前橋)	志田 洪顯 (静岡)	2550 伊藤 一男 (大田原)	2610 小間 茂雄 (高岡)	2700 廣澤 元彦 (小倉東)
					2560 山内 正胤 (十日町)	2620 阿部 正義 (浜松北)	2710 田頭 和規 (福山南)
					2570 今泉 博 (川越)	2630 加藤真左子 (多治見西)	2720 高山龍五郎 (大分)
					2580 大室 備 (宝塚武庫川)	2750 西澤 宗英 (東京渋谷)	2730 深尾 兼好 (鹿児島島)
R I 理事 杉谷 卓紀 (玉名)	R I 理事 杉谷 卓紀 (玉名)	顧問	鈴木 喬 (東京江北)	水野 功 (東京飛火野)	2770 宮下 守夫 (大宮シティ)	2760 岩瀬淳一郎 (豊川)	2740 杉原 宏一 (諫早北)
					2790 寺川 典秀 (千葉幕張)	2780 加藤 盛久 (茅ヶ崎湘南)	編集長 二神 典子 (東京築地)
					2800 御橋 広真 (鶴岡西)	2640 京谷 知明 (堺フェニックス)	
					2820 木曾 正明 (日立)		

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,558、会員総数1,220,115人（2014年10月1日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,277、会員数88,806人（2015年1月末現在）となっています。

2014 - 15 RI テーマ



Light Up Rotary

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

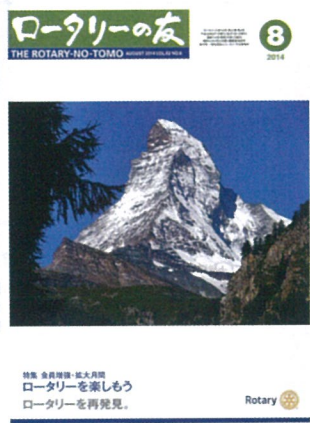
- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

雑誌で知るロータリー





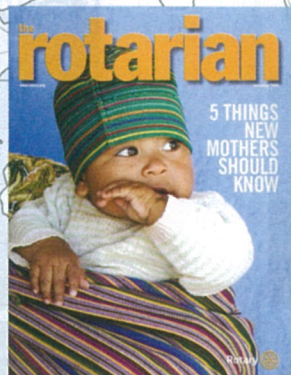
Rotary World Magazine Press

ロータリー雑誌の仲間たち

31の地域雑誌と『THE ROTARIAN』を総称して、「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」といいます。各地域雑誌では、その発行地域のロータリークラブやロータリアンの活動を紹介するとともに、『THE ROTARIAN』から指定される記事を、その地域で使われる言語に翻訳して掲載しています。記事だけでなく、表紙にも、そのお国柄が表れています。

公式雑誌
THE ROTARIAN

月刊 A 4判変型
表紙共 64 ページ
英語 発行部数 500,000 1911 年創刊



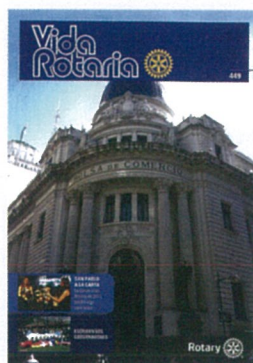
ロータリーの友 3 2011



報道 和オ
わがまち—そしてロータリー—
山崎 隆夫

ロータリーの友

日本 月刊
A 4判変型 表紙共 76 ページ
日本語 発行部数 95,200 1953 年創刊



Vida Rotaria

アルゼンチン・パラグアイ・
ウルグアイ 隔月刊 A 4判変型
表紙共 72 ページ スペイン語
発行部数 12,000 1955 年創刊



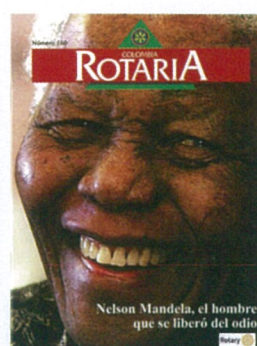
BRASIL ROTARIO

ブラジル 月刊
A 4判変型
表紙共 76 ページ ポルトガル語
発行部数 59,000 1924 年創刊



El Rotario de Chile

チリ 隔月刊
B 5判変型
表紙共 56 ページ スペイン語
発行部数 4,500 1927 年創刊



COLOMBIA ROTARIA

コロンビア 隔月刊
A 4判変型
表紙共 36 ページ スペイン語
発行部数 3,500 1970 年創刊



Rotarismo en México

メキシコ 隔月刊
A 4判変型
表紙共 52 ページ スペイン語
発行部数 8,000 1974 年創刊



EL ROTARIO PERUANO

ペルー 隔月刊
A 4判変型
表紙共 64 ページ スペイン語
発行部数 3,000 1933 年創刊



revista rotaria

ベネズエラ他 隔月刊
B 5判変型
表紙共 24 ページ スペイン語
発行部数 9,900 1992 年創刊



ROTARY CONTACT

ベルギー・ルクセンブルク 年 11 回
A 4判 表紙共 40 ページ
フランス語・オランダ語
発行部数 10,850 1984 年創刊



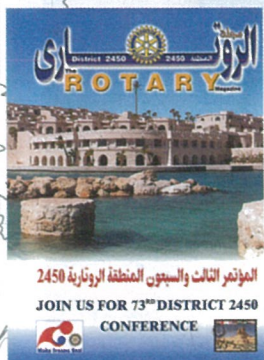
ПОТАР И В БЪЛГАРИЯ
(ROTARY IN BULGARIA)

ブルガリア・セルビア 年 10 回
A 4判変型 表紙共 32 ページ
ブルガリア語
発行部数 2,500 1995 年創刊



rotary good news

チェコ共和国・スロバキア共和国
隔月刊 A 4判 表紙共 40 ページ
チェコ語・スロバキア語
発行部数 2,500 1990 年創刊



ROTARY Magazine

エジプト他 隔月刊
A 4 判変型 表紙共 100 ページ
アラビア語・英語
発行部数 4,000 1929 年創刊



Rotary Today

英国・アイルランド
隔月刊 A 4 判変型
表紙共 52 ページ 英語
発行部数 58,000 1915 年創刊



le Rotarien

フランス他 月刊
A 4 判
表紙共 68 ページ フランス語
発行部数 39,200 1952 年創刊



Rotary MAGAZIN

ドイツ・オーストリア 月刊
B 5 判変型
表紙共 124 ページ ドイツ語
発行部数 60,750 1929 年創刊



ROTARY

イタリア他 年 10 回
A 4 判変型
表紙共 68 ページ イタリア語
発行部数 40,000 1924 年創刊



ROTARY magazine

オランダ 年 8 回
A 4 判
表紙共 28 ページ オランダ語
発行部数 20,000 1927 年創刊



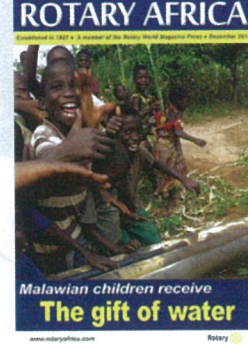
ROTARIANIN

ポーランド・ウクライナ・ベラルーシ
隔月刊 A 4 判
表紙共 52 ページ ポーランド語
発行部数 2,000 2004 年創刊



PORTUGAL ROTÁRIO

ポルトガル他 月刊
A 4 判
表紙共 32 ページ ポルトガル語
発行部数 7,000 1984 年創刊



ROTARY AFRICA

南アフリカ他 年 11 回
A 4 判
表紙共 36 ページ 英語
発行部数 6,500 1927 年創刊



ESPAÑA ROTARIA

スペイン 隔月刊
A 4 判変型
表紙共 68 ページ スペイン語
発行部数 6,000 2001 年創刊



ROTARY NORDEN

デンマーク・フィンランド・アイスランド・ノルウェー・スウェーデン
年 7 回 A 4 判変型 表紙共 68 ページ
スウェーデン語他北欧 4 語
発行部数 69,000 1936 年創刊



rotary SUISE LIECHTENSTEIN

スイス・リヒテンシュタイン
年 11 回 A 4 判 表紙共 48 ページ
ドイツ語・フランス語・イタリア語
発行部数 12,000 1926 年創刊



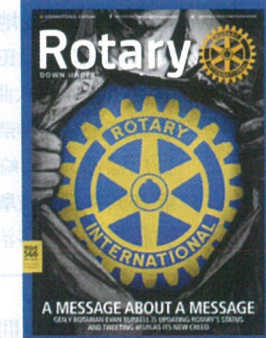
ROTARY DERGISI

トルコ他 隔月刊
B 5 判変型
表紙共 44 ページ トルコ語
発行部数 8,100 1983 年創刊



ротарианец

ロシア
A 4 判変型
表紙共 40 ページ ロシア語
発行部数 5,000 2009 年創刊



Rotary DOWN UNDER

オーストラリア・ニュージーランド他
年 11 回 A 4 判変型
表紙共 52 ページ 英語
発行部数 43,000 1965 年創刊



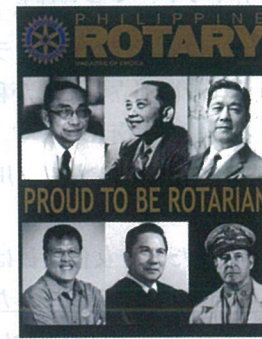
ROTARY NEWS

インド他 月刊
A 4 判変型 表紙共 84 ページ
英語・ヒンディー語
発行部数 97,000 1952 年創刊



로타리코리아 (The Rotary Korea)

大韓民国 月刊 A 4 判変型
表紙共 88 ページ 韓国語
発行部数 60,000 1953 年創刊



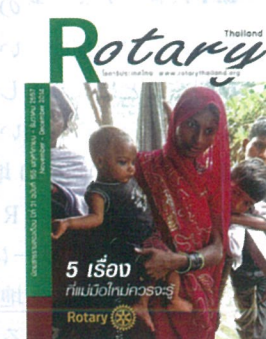
PHILIPPINE ROTARY

フィリピン 月刊
A 4 判変型
表紙共 48 ページ 英語
発行部数 15,000 1978 年創刊



扶輪

(The Rotarian Monthly)
台湾・香港・マカオ・モンゴル
月刊 B 5 判変型
表紙共 104 ページ 中国語
発行部数 11,800 1960 年創刊



Rotary Thailand

タイ・ラオス 隔月刊
A 4 判変型
表紙共 56 ページ タイ語
発行部数 8,000 1983 年創刊



ロータリーの友に関わって

司会

ロータリーの友委員会委員長
橋本 長平（京都東RC）

出席者

ロータリーの友地区代表委員
第2540地区（秋田県）
加賀 美奈（大曲RC）
第2590地区（神奈川県）
長戸はるみ（川崎高津南RC）
第2630地区（岐阜県・三重県）
加藤真左子（多治見西RC）

橋本 今月は雑誌月間で、各クラブではロータリーの雑誌に関する卓話などを行うと思います。今年度は、特に女性のロータリーの友地区代表委員が複数人いらっしゃったので、そのお立場からの意見を伺いたいと思い、座談会を開くことになりました。まずは簡単な自己紹介からお願いします。

加藤 私は第2630地区の多治見西ロータリークラブ（RC）に所属しています。ロータリーに入って4年目です。当地区では、地区幹事が友地区代表委員を仰せつかるという流れがあるのですが、私も地区幹事に任命された経緯から引き受けることになりました。

た。

加賀 第2540地区の大曲RCに所属しています。ロータリー歴は6年です。友地区代表委員になったのは、所属クラブに友地区代表委員の経験者がいらっしやまして、その方に「やってみない？」とご推薦いただいたからです。お断りしていたのですが、「ロータリアンはノーと言っちゃいけない」と言われ、それでお受けした次第です。
長戸 第2590地区の川崎高津南RCの所属です。私は22年になります。

私の地区で女性会員を入れようという声が上がったのが、私が入会する2年前のことでした。既存のクラブに女性会員を入れようという話が持ち上がりましたが、その時代はどのクラブもノー。そんな時に創立したのが私の所属している川崎高津南RCです。女性会員は創立当初から2人で、川崎市初の女性会員です。

橋本 22年前だと、女性会員はまだ全国的にも苦勞の多い時代でしたね。

長戸 現在でも女性会員の割合は地区全体の約5%です。入会后、5年目くらいからGSE（研究グループ交換）

に6～7年関わり、11年ほど前にアメリカのウィスコンシンにチームリーダーとして行きました。その後はロータリー平和フェロー関係の地区副委員長として3年くらい関わっています。友地区代表委員には、今年度の大野清一ガバナー（横浜東RC）からお話がありました。以前は、ガバナーを出したクラブから選ばれることが多かったように思うのですが、ここ何年かは、ガバナーの所属クラブ以外からでも友地区代表委員が選ばれています。

ロータリーの友地区代表委員をご存じですか？

橋本 加藤さんは地区幹事でもありませんね。友地区代表委員には、地区の役員とは別に独立して受けた人と、地区の役職を兼ねている人とがいらっしやるようですが、いずれにしろ、ガバナー事務所と密接な関係を持って活動しているという形が多いようですね。

長戸さんにお聞きしたいのですが、22年のロータリー歴で、この友の委員という存在はいつごろお知りになりましたか。

長戸 地区の役職を始めた時から知っていました。ですから15～16年前からになります。地区の組織表にも必ず名前が載りますので、存在と仕事は認識していました。

加藤 私はまったく知らなくて。石垣智康ガバナーから電話をいただいて、「年に何回か、東京に行けるぞ」という甘い言葉に、「ああ、そうですか」と言ったのをよく覚えております。石垣ガバナーはかつて友地区委員（当時の呼称）をしたことがあります。ですからよく知っていて、事細かく教えてくださいますので、大変ありがたく思っています。

橋本 「年に何回か東京に行けるぞ」と言われて引き受けたという話は度々耳にしますが、友地区代表委員って、結構しんどい仕事ですよ。

加藤 おっしゃる通りです。

橋本 ガバナー公式訪問に、友地区代表委員がついていく地区があるようですが、そういう折に友地区代表委員を紹介してもらえるのでしょうか。

加藤 ガバナーが大変気を使ってくれて、公式訪問に何か所か連れていってくださって、「5分ほど時間をあげるから、話しなさい」と言われ、お話をさせていただきました。それは大変助かりました。

橋本 それはいいですね。

加賀 地区で認知されているか、と言われますと、あまり認知されていないと思うのですが、所属するクラブからは友地区代表委員が何度か出ていますので、クラブ内では認知されていると思います。今年度は地区研修協議会でお話をする時間をつくっていただきましたから、友地区代表委員として、『友』の広報を少しはできたかな、とは思っております。

橋本 加賀さん自身が友地区代表委員という存在を知ったのはいつですか。

加賀 ロータリーに誘ってくださった方がその当時の委員でしたから、最初から知っていました。



橋本長平さん

橋本 友地区代表委員の仕事はいかがですか。やって良かったと思っておりますか。それとも、大変な仕事を引き受けたなと思われませんか。

加藤 最初の数か月は確かにしんどいと思いました。毎月『友』を読んで、感想や意見を

提出するレポートも、25日ごろに原稿用紙をいただいて、翌月15日ごろまでに提出しなければなりません。それで送ったと思ったら、すぐ次が来ますから、ちょっと大変だと思ったのですが、慣れてみると、地区内のことが手に取るようにわかりますし、情報はいただけるし、大変うれしく思っています。

『友』の認知度を上げるというのも仕事の一つですが、そのためには、皆さんを巻き込んで、一緒に読んで感想を言い合って、ということをするべきではないかと思ってきたところで

加賀 私は意外と楽しんでいます。『友』の認知度を上げるには、当地区の記事が載っていることも大切なことだと思いますし、取材の依頼もございまして行かせていただくのですが、大先輩方が真摯に奉仕活動に取り組んでいたり、少人数の会員で伝統を継承されているお姿を拝見し、感動することも多くて、とても勉強になっていきます。友達もたくさんできましたし、楽

しくできているのかな、と思っています。

長戸 私たちの地区では、雑誌委員長会議が年に一度開かれます。今年度はクラブの雑誌委員長を集めて、10月に開催しました。地区内各クラブのアンケートを取ったところ、3分の2以上のクラブで、5分ほど雑誌委員長が『友』についてお話しする形をとっているようです。私も友地区代表委員になる前、何回か雑誌委員長を務めました。『友』を早めに送っていただきましたので、自分の興味のある記事や、自分の地区に関係する記事を紹介しました。ですから、毎月のレポート提出も、それほど大変とは思いませんでした。

例会で ロータリーの友の記事を紹介

橋本 各クラブの雑誌委員長が例会で『友』の記事を紹介、あるいは内容がよかったものを披露するという方法は、地区内各クラブで定着しているのですか。

長戸 はい。

橋本 雑誌委員長がいないところもありますね。

加藤 私のクラブでは、ロータリー情報委員長が兼任しています。

橋本 『友』を紹介してもらえるというのはありがたいですね。ただし、雑誌委員長にはかなり負担が大きいように思いますが。

長戸 でも、順番に回していけば、それほど大変ではないように思います。その場だけ、5分間だけでも、皆さん全員が『友』に目を通すということで、意義はあると思います。例会で時間が取れないクラブもあります。私が提案して、すでにやっていたいただいていることですが、そういうクラブには、雑誌委員長に、『友』の紹介を書いて配っていただいています。

加賀 当地区では広報委員会が、県内



加藤真左子さん

の新聞に広告のスペースを取っています。そこでロータリーの活動を紹介したりしているのですが、『友』に何クラブの活動が載っています、というのを載せていただくようにしております。地区広報委員長も大曲RCから出ておりますので、ご協力いただいています。

加藤 『友』12月号の横組みに「地区大会略報」(P 38～41)が載りました。所属クラブがホストクラブとして載ったものですから、時間をもらって報告しました。その際に地区に関係する記事と、横組みの連載「Rotary いま……」(P 42)の「小さくなったクラブの規模」など、私がいいなと思うものをピックアップして紹介しました。

橋本 『友』は、横組みと縦組みからできています。それは編集方針があってやっているわけですが、皆さんは、どちらから読めますか。

加藤 私はいつも『友』のリポートを書く時、写真のことに触れます。当然、表紙の写真から見るわけですが、どちらから読むかと言われるとどうでしょう。横組みからかな。本当に『友』の写真はいつも大好きですね。表紙もそうですが、今年度の国際大会を紹介した「サンパウロ ア・ラ・カルト」(10月号横組みP22～31)の写真、本当にきれいでした。

加賀 私はまず、縦組みの「スピーチ」

を読みます。10月号ですと「渋沢栄一から読み解く21世紀の経営者精神」(P 4～8)、それと横組み職業奉仕月間特集、服部芳樹パストガバナーの「I Serveの究極にあるもの 職業奉仕」(横組みP8～12)。両方どちらもない記事で、あの月はどちらも真剣に読みました。

加藤 わかります。真剣に読める時と読めない時がありますね。

橋本 流す時は流してもらっていいと思います。読み直してもらえただけ含蓄のある雑誌であればもちろん、いいということになるのでしょうかね。

加賀 10月号は、皆さまからの反響が多い号でした。それと、私が入会した当時は、クラブに新会員の研修がなかったのですが、数年前から開催し、今回11月に開かせていただきました。その際には、会長が10～11月号を引用しながらお話しされて、『友』は研修資料としてもご利用いただけると思いますので、地区の方にも推奨していきたいと思います。

長戸 まずは横組みからです。横組みを全部読んで、それから縦組みです。私の地区では投稿しているクラブが偏ってしまっているの、投稿をしていないクラブには、活動をした時に投稿してほしいとお願いしています。投稿したというご連絡はいただくのですが、同じような内容の投稿が重なってしまうと同じ地区からそうそうは採用されませんので、このように工夫したら載りますよ、といったお話はしたいと思っています。

橋本 そうですね。『友』の中身を具体的に説明するというのも、一つの手でしょうし、地区代表委員の皆さんには、その年度の編集方針についてご報告していますから、その方針に沿ってノウハウ的なものをご紹介いただくと、効果的かもしれません。

長戸 以前に比べると、読みやすくなりやすい言葉で書かれているのが昨

今だなという気はします。

印刷版と電子版 どちらがいいかは好みですね

橋本 『友』では、昨年の1月から電子版を出しましたが、反応はいかがなものですか。

加藤 ガバナー公式訪問に同行した時に、『友』電子版の紹介をすると、数人の方がうなずいてくださったので、この人たちはご存じなのかなと思いました。実際にどのくらい浸透しているかわかりません。デジタル化とかIT化というのは、特に高齢の人には全くわからない話で、紙媒体が好きな人も多いと思います。私としてはパソコンがあれば見ることができるので、『友』電子版は便利だとは思っています。

長戸 雑誌委員長会議を開いた時、質問をしてみました。「電子版自体を知っていますか」という問いには3クラブだけが知りませんでした。あること自体は皆さん知っているようです。実際に「冊子と電子版のどちらが良いですか」という質問には、年配の方がいるクラブでは紙の方がいいとか、使いやすいとかいった意見が聞かれました。情報を調べる際には、紙で見た方がいいとおっしゃる方と、電子版の方がいいという方がいました。

加藤 好みですね。

加賀 『友』電子版の認知はされていると思いますが、普段からパソコンを利用されていない方は、入り口から苦手意識があると思います。年配の方でもフェイスブックを使って活動を紹介されている方もいらっしゃいますし、逆に教わることもあります。個人的には、読んだ時に線が引けたり、書き込みができる印刷版が好きです。

長戸 クラブ内でも若い人たちは電子版を利用しているみたいですね。

加藤 私は、印刷版と電子版の両方があって、初めて満足するような気がします。新聞も紙で読んで、なおかつデ



加賀美奈さん

デジタル契約もして、紙で読んだものをデジタルで切り取って保存するという。紙で見ていった方が頭には入る気がしています。その人の癖もあるのでしょうが。

橋本 使いこなす人であれば、電子化した方が使いやすいと思いますが、日本人の昔からの価値観で考えると、本が並んでいるのがいいのですけどね。画面で見るより、現実には物の分厚さがあるってね。

長戸 一般の雑誌や本ではないので、『友』に興味がないと、どちらであっても見ないと思います。それ自体に皆さんが興味を持たねばならないぐらいの感覚で、毎月ちょっとでもと思う方がいいと思いますが、そのためにはどうしたらいいか、と。

加藤 長戸さんがおっしゃったように、私もこの役をいただくまでは『友』を読まねばならない、という立場ではなかったのですが、今は読まねばならない、書かねばならないので、とにかく見るようにはなりました。いながらにして国内や世界のことがわかるのでありがたいと思っています。しかし、そういう状況に陥らないと、常にかばんの中に入れてあるものでもないし、首を長くして待つ雑誌でも

ないし、その辺は難しいと思いますね。

橋本 クラブで「ここがいいですよ」と言う時にどういう欄を紹介されますか。

加藤 私の場合は「友愛の広場」と「卓話の泉」です。それと以前であれば「はじめる一歩」、最近であれば「Rotaryいま……」といった、今さらこんなこと聞けないな、というようなことが書いてあって、おさらいができるページ。あれは皆さんに読んでくださーいと言っていますし、私自身も助かっています。

長戸 個人的には「友愛の広場」とか、いろいろな方が感じていることを書かれている欄に興味はありますが、会長になった時、幹事になった時、社会奉仕委員長になった時といった、クラブで役を持った時には、全国のクラブの活動報告を読むと参考になります。自分の役割によって、見るページが違うかもしれないですね。

加賀 私もお二人と同じ意見です。

橋本 友地区代表委員としての立場と、個人の興味でやっぱり違うのですかね。機関誌ですから、情報を交換する、うちのクラブではこれをやったから、今度はこっちのクラブのこの活動を参考に実施してみようというように、ロータリー活動の参考にしていた

だくという役割が『友』にはあると思います。

ところで、大部分の人は友地区代表委員がどうのことをされているかご存じないと思います。先ほどから話には出ていますが、ここであらためて仕事の内容をご紹介いただけますか。

長戸 毎月、『友』を読んで、レポートを書いて送ります。

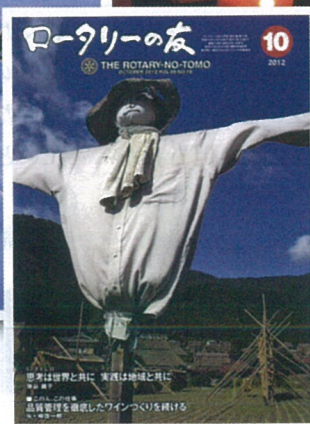
加藤 半年たって、レポートには慣れ

ロータリーの友地区代表委員は ガバナーの代理です

ましたが、オリエンテーションに参加して印象的だったのは、委員の何人かが友地区代表委員の立ち位置がわからない、と言っていたことです。

橋本 地区内での立場はいろいろですが、友地区代表委員はガバナーの代理として友委員会に参加していただいています。しかし、そここのところがはっきりと意識されていないようです。ガバナーの代理として参加していることを、地区全体が認識してくれないと、とは思いますね。

友委員会には、国際ロータリー理事も、バストガバナーも出席するのですから、良い意味で、シニアリーダーと直接交流する機会があるということに



なります。これはなかなかできないことですよ。大いに特権もあるわけですから、地区での情報を提供しつつ、その機会を利用させていただきたいと思っています。

加賀 私は、地区の情報を友編集部提供したり、地区内のクラブに投稿をお願いしたり、ということをしています。ガバナー事務所には大変協力していただいていて、例会変更の用紙が各クラブから届くのですが、その用紙の下の方に、「行事やプロジェクトの予定」を記入していただく項目を入れさせていただきました。そこに記入された情報をもとにクラブに伺うようにしています。そのほか、「講演に、こんなすごい人が来る」という情報も教えてくださいますので、その辺は非常に心強いですし、おかげで当地区の投稿数、掲載数が少しは増えたと思います。

橋本 第2540地区は、歴代の友地区代表委員がサポートしていると耳にしていますが、その辺りはどうですか。

加賀 皆さん、仲が良くて協力してくださいますし、広い地区ですが、前任の方にもサポートしていただいております。歴代の友委員の方で「友・友会」を作って、情報交換されています。

橋本 加藤さんは、地区幹事としてガバナー事務所に行く機会も多いと思いますが、その辺りの協力というのはどうしていらっしゃるんですか。

加賀 一年間のスケジュールがほぼ全てわかっていますから、皆さんよりは活動しやすいと思います。事業など、各クラブからの情報もいただきます。加賀さんのように自分から出向いて情報を集めてくるということはしていませんが、『ガバナー月信』の担当者が出向いて集めた情報をいただくことはあります。

ロータリーの友地区代表委員が 関心を向けることで記事が増える

橋本 直接出向かなくても、友地区代



長戸はるみさん

表委員の方がプロジェクトなどに関心を向けることが、記事や投稿が増えることにつながっているのかもしれないね。クラブは、記事にするために事業をやっているわけではないのですから。

長戸 私は地区の委員を長年やってきましたので、顔を知られているということで、活動しやすいという面はあります。前任の友地区代表委員には「ガバナーの代理なのだから、地区内の会議にはできるだけ出なさい」とは言われました。

加藤 女性の地区幹事が私一人だから、というのもあるのかもしれないですが、皆さん、気楽に言いやすいのかもしれないですね。皆さんから声をかけていただく機会が割と多いように感じています。

橋本 これまで半年以上、友地区代表委員を務めてきて、毎月のレポートを書くために『友』を読まれてきたと思うのですが、その中で特に印象に残った記事があれば、教えていただきたいと思います。

加藤 私は7月号横組みR I会長紹介「讚！」(P8～16)で、最初のページには黄其光氏の、遠くを見つめる写真。あれはR I会長として思慮深い姿を表したものだと思って見ました。後のページには家族と一緒にいる、本当に

穏やかで楽しげな写真が載っていて、その対照的な写真が非常に印象的でしたね。

加賀 一つに絞るのは難しいですが、縦組み「スピーチ」で、10月号の「渋沢栄一から読み解く21世紀の経営者精神」、11月号の「未来予測」は面白く、勉強になりました。12月号の横組み「Rotary いま……」の「小さくなったクラブの規模」は当地区では重要な課題ですし、皆さまに読んでもらいたいと思いました。あと、12月号の縦組み「友愛の広場」で、福井北RC・野坂弦司会員の「ロータリークラブの女性」(P15)はすごく印象的で、ロータリーは男性社会が原点ですが、もっと女性に門戸を開いていただきたいと感じました。

長戸 私は12月号の横組み特集「奉仕で支え 笑顔を広げる 会員配偶者主体の奉仕活動」と「二人で歩むロータリーの道 夫婦で共にロータリアン」(P8～19)が一番印象に残っていますね。

特に配偶者主体の奉仕活動の方は、黄其光R I会長も配偶者をロータリアンに、と当初から訴えてはいるのですが、ここに参加している方々は長年、奉仕活動を続けているにもかかわらず、ロータリーには入会していません。女性だけの奉仕団体なら、ソロプチミストといったものもありますし、これらがロータリークラブの活動とどう違うのか、とても疑問で、考えさせられました。こうした問題が解決されることが、女性会員の増加にもつながるのかもしれない。

橋本 毎月のレポートを見ていますと、皆さんに共通して、写真がきれいだとか、色がいいとか、そういうことに言及されています。これは男性の委員さんからはあまり出てこない意見だと感じています。そういうことも含めて、今後も『友』への意見をいただければと思います。ありがとうございます。



1953 年 8 月号

下関 R C（山口県）では、家族会で婦人部の意見として北九州で起きた水害への救援が提唱され、社会奉仕委員会では婦人部の協力のもと、被災地に見舞いの金品を贈ることになりました。会員に呼びかけた結果、衣料品 384 点、せっけん 800 個、現金 6,000 円、包丁、用紙、雑巾などが集まり、門司 R C、久留米 R C、熊本 R C 宛てに発送しました。

1957 年 8 月号

多治見 R C（岐阜県）では、認証状伝達式の記念事業として、多治見駅に貸し傘 50 本を常備しました。貸し傘には、クラブの名前と「四つのテスト」が書かれています。



1961 年 8 月号

熊本 R C、熊本南 R C（熊本県）では、新聞配達の青少年 1,045 人を集め「慰労激励会」を開きました。



1966 年 11 月号

名古屋西 R C（愛知県）では、水の事故から子どもたちを守ろうと、立ち入り禁止の立て看板 100 枚を、名古屋西警察署管内の危険個所に立てました。また、中村警察署に 517 m にわたる水禍防止の柵を、贈りました。



『友』で見る 奉仕活動の変遷

『ロータリーの友』は、その時、その時の最新情報を掲載しています。しかし、その最新情報も時間とともに歴史に変わっていきます。今月号では、これまでに『ロータリーの友』に掲載した、クラブの奉仕活動をご紹介します。

1969 年 8 月号

倉敷南 R C（岡山県）では、水島港に入港する外国船のために、水島地区を中心とした市街図版を上陸地点に設置しました。



1975 年 6 月号

奈良 R C（奈良県）、では、奈良婦人警察官に 10 台の自転車を寄贈し、老人や子どもの交通事故防止、非行少年の指導などに役立ててもらうことにしました。



1983 年 10 月号

士別 R C（北海道）では、少しでも母子家庭の子どもたちの励みになればと、旭川市の旭山動物園に母と子 40 人を招待し「一日父親デー」を催しました。



1989 年 5 月号

京都洛北 R C（京都府）は、左京消防署にミニ消防車を寄贈。「子どもの楽園」で開かれた「園児と消防のふれあい広場」では、大型のはしご車や救急車に交じって、このミニ消防車が大活躍。参加した約 1,300 人の園児らを喜ばせました。

1995 年 8 月号

安芸 R C（高知県）では、19 人が参加して、以前に記念事業として寄贈した時計台、ロータリー庵、ミニ公園などの一斉清掃を行いました。



2000 年 4 月号

鯖江 R C（福井県）では、クラブ創立 40 周年を記念して、太陽光発電パネルと風力発電機を備えたモニュメント「太陽と風の木」を西山公園に設置。災害時には緊急通信用電源として、平時には電灯などに使用。クリーンエネルギー活用の先駆的役割も期待されています。

2003 年 11 月号

三郷ウェンズデー R C（埼玉県）は、レッドデータブックで絶滅危惧種に指定されているキタミソウの自生地、二郷半領用水保全水路で、どじょうことふなっこの放流を実施。「水と緑の自然環境を大切に」をテーマに、水生動植物の復活を目指し、小学生約 300 人が参加しました。



2010 年 10 月号

高山中央 R C（岐阜県）では、高山市立国府中学校に会員 12 人が出向き、「出前講座」を実施しました。最初に会員の一人が働くことの心構えなどを話し、その後、6 つのグループに分かれ、それぞれに会員 2 人ずつが入り、ディスカッションを行いました。

ロータリーデー

Japan Rotary Day II in Tokyo



黄其光国際ロータリー（R I）会長は、今年度、全世界のロータリアンに、ロータリーデーの開催を呼びかけました。これを受けて、日本国内のロータリークラブや地区で、ロータリーデーが開催されてきました。

その内容は、毎年クラブで実施している活動に「ロータリーデー」の冠をつけ、クラブの活動を紹介するといったものから、ロータリーデーのために特別なイベントを計画して数クラブまたは地区全体で実施するもので、規模も内容もさまざまです。

黄R I会長は、世界中を回って、世界各地で開催されるロータリーデーに参加していますが、2月4日、東京・台場のホテルグランパシフィック LE DAIBA で開催された「Japan Rotary Day II in Tokyo」に姚世蕾夫人とともに参加しました。

当日は、「第1部 ジャパン ロータリーデー」「第2部 ロータリー情報・会員交流会」「第3部 R I 会長ご夫妻歓迎晩餐会」の3部構成。

「第1部 ジャパン ロータリーデー」では、これまでにクラブや地区で開催したロータリーデーがビデオで

紹介され、参加者がそれらの情報を共有することができました。他クラブや他地区の活動の様子を知ること、今後の活動の参考になることも多かったと思います。

今回は「Japan Rotary Day II」ですが、「I」は、昨年11月に名古屋で開催された「ワールドフード+ふれ愛フェスタ & ジャパン・ロータリーデー」（『友』1月号横組みP18～19に掲載）です。この催しに日本全国からロータリアンが参加しましたが、名古屋市内の目抜き通りに面した公園でのこの催しに参加して、「自分たちの町でも実施したい。どのようにすればいいのか」と思ったロータリアンも少なくなかったようです。そこで、今回は、その時の様子だけではなく、参加店や後援の集め方など、準備の状況なども詳しく紹介されました。

R I 理事の北清治氏ならびに杉谷卓紀氏は、今回の催しにたくさんの新会員が参加することを望んでいました。「第2部 ロータリー情報・会員交流会」は、新会員が主役です。ロータリーの歴史を知らない新会員のために国際ロータリーと日本のロータリーの歴史がわかりやすく紹介されました。新会員代表のショートスピーチ



を聴いた先輩ロータリアンたちは、これからのロータリーに光明を見いだしたことと思います。

印刷物またはネットの世界でしか会うことのできない RI 会長、同じ時期に入会した他クラブ、他地区の仲間たち、そして先輩ロータリアン……、新会員にとって、普段の例会ではなかなか経験することのできない、貴重な経験になったことでしょう。

黄 RI 会長の出身国・台湾と日本のロータリアンは、友情を育み、共に活動をしてきました。「日台ロータリー親善会議」もその一つですが、「第3部 RI 会長ご夫妻歓迎晩餐会」では、来年6月に金沢で開催される会議の案内がありました。また、今年6月にブラジル・サンパウロで開催される RI 国際大会についても紹介されました。

黄 RI 会長は、第1部のあいさつで「継続は力なり。日本においてこれは真実だと思います。皆さんがされているロータリーの奉仕も同様です。日本には、力強いロータリーの歴史があり、ロータリーへの強い思い入れがあります。日本国中で実施されたロータリーデーについて、

て、お話を聞くことができました。日本全国でロータリーデーを進んで実施していただいていることに、心より感謝申し上げます。ロータリーデーの実施は、ロータリーについて重要なメッセージの発信でもあります。それは、皆さんの持つロータリーへの誇り、そして、ロータリーで行う奉仕への誇りです。その誇りを、人々に示す機会なのです。この誇りを示すことによって、ロータリーデー開催の真の目的である『ロータリーに輝きを』もたらすことができるのです。それぞれのロータリーデーが、それぞれ個性を持っていますが、いずれの行事でもはちきれんばかりの笑顔を見ることができます。ですから皆さんも、このロータリーデーで、一分一秒を存分に楽しんでください」と述べました。

今回のロータリーでは、一般に開放されたものではありませんでしたが、日本全国のロータリアンが一堂に会する機会は、実はほとんどありません。多くのロータリアンと出会い、交流できたことは、新会員だけでなく、先輩ロータリアンにも有意義な催しになったことと思います。

取材『友』編集長 二神 典子

ロータリーデー

フリーマーケットで協同活動

新横浜RAC 会長 山根 秀太

10月19日、新横浜ロータリークラブ(RC)の「ロータリーデー」の一環として、新横浜RC、新横浜ローターアクトクラブ(RAC)、桐蔭学園中等教育学校インターアクトクラブ(IAC)の3世代協同の企画として、「新横浜パフォーマンス2014」で、フリーマーケットに出展。併せて、被災地・岩手県や南アフリカの学習、ポリオ撲滅への支援を知ってもらう活動を実施しました。

フリーマーケットへは新横浜RAC創立当初から毎年出展してきたため、今回で3年目となり、継続年数は浅いながらも地域密着型の奉仕活動として定着していることに感慨深いものがあります。

当日は、ローターアクターをリーダーとした3グループに分け、2時間交代で店番を行い、担当時間内の売り上げをグループごとに競いました。おのおのが工夫を凝らして物品のお勧め文句を叫び、提供いただいた物品を残さず買ってもらえるよう、自分で考え、自分の言葉で魅力的に伝える技術を身に付けることができたのではないかと思います。

あえて価格設定は明確にせず、フリーマーケットの醍醐味であるディスカウント交渉を楽しみました。何に興味があるかわからないお客さまに対して、物を売るといのがどれだけ難しく、根気とともに情熱や言葉が必要であるかを学びました。

物品の販売と並行して新横浜RCで用意して下さった、南アフリカ学習支援とポリオ撲滅のパンフレットを配布しました。また、品物を購入していただいたお客さまに、売り上げが義援金になることを説明。新横浜R

Cをはじめとした3クラブの活動について一般の方たちに伝える機会としても活用することができました。多くの参加者に協力してもらえたことは幸運であると同時に、ローターアクト活動の発展と明るい未来の予感がします。

自分よりひとまわり以上も若いインターアクターが、初めての試みにも臆せず懸命に声を出している姿に、勇気と活力をもらいました。私たちローターアクターも後輩のロールモデルとなれるように、背筋が伸びる思いです。年齢の差は関係なく、新たな人とのつながりが私たちの見識と豊かな人生経験を作り上げているのだとあらためて思います。これをきっかけにインターアクトクラブとは今後とも継続的に、協同で活動をしていきたいと思っています。

当日は暑いぐらいの好天でした。その中で朝早くから8時間にもわたりフリーマーケットに出展しました。共通の目標の下に3つのクラブが団結して過去2年を大きく上回る結果を出し、社会奉仕活動ができたことに大きな達成感を得ました。当日参加してくださった方々、物品を提供していただいたロータリアンの皆さまに感謝します。また、今回のような感動体験をロータリー家族の一員として共有できることを心からうれしく思います。

このたびのフリーマーケットの売上金は、社会福祉活動の一環として運営経費を差し引いた全額を寄付しました。新横浜RCの東日本大震災以降からの継続事業である「いわての学び希望基金」への寄付と、がん征圧を目指し、がん患者や家族、支援者らに勇気と希望を与えるチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ新横浜」への寄付を行います。同団体とは今後ともつながりを持ち続けたいと思います。

(第2590地区 神奈川県)



蔵王山麓大地の恵み事業

山形北RC 高橋 一夫



本事業は「大地と共に人を耕す」をテーマに、山形の未来を担う子どもたちに、命の源である食べ物への感謝の気持ちと収穫の喜びを感じ取ってもらうと同時に、その体験を通して生きることの意義を知ってもらうことを目的として、山形市西蔵王地区の畑で行いました。

10月30日、保育園児23人、知的障がいがある青少年16人、その他関係者約20人、一般市民20人、そして当クラブ会員約40人を加えた約120人の参加者が、晴天に恵まれた西蔵王高原に広がる畑で、ダイコン掘りを行いました。このダイコンは、当クラブの会員とその家族が8月に種をまき、9月に間引きをして育てたもので、立派に育っていました。

収穫後、近くの特設会場で、採れたダイコンをおでんにして食べながら全員で収穫祭を行いました。当地は高原野菜がおいしいことで知られており、ダイコンも大変おいしくいただきました。帰りにはダイコンのお土産もあり、自宅で食べるのを楽しみに持ち帰りました。

また関連イベントとして、ダイコン収穫祭に参加した園児に絵を描いてもらい、絵画展を開催しました。当クラブは知的障がいがある青少年との交流はほぼ毎年行っていますが、今回は新たに保育園児らも加わり、ダイコンを通して少しでも感謝の気持ちと収穫の喜びを感じてもらえたのではないかと思います。

(第2800地区 山形県)

ロータリーデー

「杉戸町音楽祭」を開催 ――音楽の盛んな町を目指して

杉戸RC 栗原 偉憲

11月23日、杉戸町生涯学習センター「カルスタすぎと」において、杉戸町の中学校3校と昌平中学・高等学校、杉戸農業高等学校、そして民間で活躍する杉戸高等学校の卒業生からなる杉の子吹奏楽団との4回目となる「杉戸町音楽祭」を、杉戸ロータリークラブ（RC）が、地域住民約200人を集め開催。当クラブのロータリーデーとしました。当日ポリオ撲滅のための寄付も集め、参加者にロータリーが行っている事業を知ってもらうこともできました。

杉戸RCでは、2007年から杉戸町内の小中学校9校の「あいさつ運動」をはじめ、「図書寄贈」「ポリオ撲滅エコキャップ収集」などを継続的に行い、学校との関係を築いてきました。

そんな中で、「中学校では、吹奏楽の楽器の修理になかなか予算が取れない。また、生徒同士、町内の吹奏楽部がどのような活動をしているのかわからない。ぜひ互いの演奏を聴いてみたい」など、さまざまな声を聞き、これが2010年から中学・高校と社会人による



吹奏楽コンサートを開催するきっかけとなりました。

生徒たちは他校の演奏に刺激を受けたり、また、大人になっても吹奏楽を続けている杉の子吹奏楽団に対し「新たな目標ができた」と、これからも音楽に携わっていくことを、うれしそうに話したりする姿が見られました。

一団体ずつ演奏し、最後は全員で「上を向いて歩こう」を大合奏。会場とステージが一体となった演奏会に参加した人から毎年行ってほしいとの要望もいただきました。真の教育とは、あるべき姿を目標に課題を乗り越えていくことです。

杉戸RCでは、これからも杉戸町が音楽を通じた人材を育成し、心豊かな子どもたちがたくさんできる町として知られるよう支援をしていきたいと思っています。

（第2770地区 埼玉県）

親子が安心して座って遊べるベンチを寄贈

倉敷水島ロータリークラブ

創立25周年の記念として、親子が安心して座って遊べる公園のベンチを寄贈、設置しました。この事業は地区補助金事業の一環です。贈呈のセレモニーをロータリーデーとして、近くの保育園の年長園児30人を招いて開き、公園の清掃も行い、子どもたちの成長を願って植樹もしました。清掃を手伝ってもらったお礼に、園児300人全員にお絵かきセットをプレゼント。園児たちも大変喜んでくれましたが、会員らも孫を見守るような気持ちで接し、世代間交流ができました。

（第2690地区 岡山県）



初めて市内の全小中学校が出場した「合唱のつどい」

根室西ロータリークラブ

根室西ロータリークラブ主催で「合唱のつどい」を開催。根室市内小中学校の参加は過去にない、民間団体では初めてのイベントとなり、参加した子どもたち、保護者、来場者から素晴らしいと大絶賛を得ました。

「合唱のつどい」は11月16日に根室市総合文化会館大ホールで開かれ、第1部の小学校の部では400人の出場、第2部の中学校の部では400人、また一般来場者も第1部1,000人、入れ替えがあったにもかかわらず第2部1,000人と、最後まで子どもたちの頑張りを見守っていました。

「ハーモニーが生み出す合唱の魅力」をサブタイトルに、子どもたちにはつどいを通して表現する楽しさ、思いを伝える大切さ、やり遂げることの素

ロータリーデー
根室西ロータリークラブ

合唱のつどい
平成26年度
「ハーモニーが生み出す合唱の魅力」
「表現する楽しさ」「思いを伝える大切さ」「やり遂げることの素直さ」

日時：平成26年 **11月16日(日)**
小学校(1部) 開場 9:30 / 開演 10:00
中学校(2部) 開演 11:00
場所：根室市総合文化会館 大ホール
入場料：**無料**

出場校：市内小中学校全校(順不同)

小学校(第1部)	中学校(第2部)
北斗小学校/花咲小学校	光洋中学校/柏陵中学校
成央小学校/花咲港小学校	啓雲中学校/厚床中学校
厚床小学校/歯舞小学校	落石中学校/歯舞中学校
昆布盛小学校/落石小学校(合同)	海星小中学校(小学生・中学生)

主催：根室西ロータリークラブ
共催：根室市音楽協会/根室市教育研究会/根室市教育委員会
連絡先：根室市総合文化会館 TEL:0153-24-3188

晴らしさを体感してもらいました。子どもたちは「こんなに大勢の前で歌ったことがないのでものすごく緊張したが大変楽しかった」と言ってくれました。

私共のもう一つの思いは、出場者・来場者全員での斉唱でした。第1部の小学校の部では全員で「さんぽ」を、第2部の中学校の部では全員で「ふるさと」を斉唱し、ロータリアンはもとより来場者も涙ぐんでおられ、涙で幕を閉じました。

また、来場者の方々から「ロータリークラブはこんな活動もしているのか」との驚きと、「来年もぜひ継続してください」というたくさんの声を聞きました。

(第2500地区 北海道)



ボウリング大会で親睦を深める

大分キャピタルRC 武田三佳子

「クラブでロータリーデーをしよう!」と、11月7日に大分市内のボウリング場を借りきり、ボウリング大会を開催しました。会員の家族、社員、会社関係・友達、そしてその友達、米山奨学生と幅広いつながりで総勢120人に参加をしてもらい、ボウリングという年代性別を問わず楽しめるスポーツを通じて、みんなで楽しい時間を過ごし、既知・未知の人たちともどもに親睦を深めることができました。

ロータリアンにとって大切な「四つのテスト」にある「好意と友情を深めるか」を実践できたロータリーデーとなり、多くの人にロータリーについて知



ってもらった良い機会になったのではないかと感じました。

(第2720地区 大分県)

ロータリーデー

環境保全の取り組みを知ってもらう

東京武蔵府中ロータリークラブ

12月13日、府中市内のデパートで、奉仕プロジェクト活動展示会およびカレンダーの配布を行い、買い物客にロータリーへの認識を深めてもらいました。

奉仕プロジェクトについては、「ごみ問題を考える事業」（府中市内の親子を集め4月2日に開催予定）の趣旨と活動を紹介。容器包装やプラスチックの分別収集ごみの中に異物が混入している問題を写真で展示し、併せて「ごみ問題Q&A」として、来場者に問題に答えてもらうことでごみ問題に関心を深めてもらいました。

また、7月に実施した「森林間伐体験学習」のパネルも展示し、ビデオも上映しました。水と森林資源の大切さ、カーボンオフセット事業への理解を深めていただく

結果になりました。

カレンダーは、『広報ふちゅう』で、会社などで余っているカレンダーの寄付を募るとともに会員からも収集して市民に無料で配布。また、介護の日程などを記載するためのカレンダーをたくさん必要としている府中市社会福祉協議会にも寄贈しました。ごみになりそうな大量のカレンダーを有効活用することは、ごみの減量にもつながります。

当日は、地元のケーブルテレビのアナウンサーによる進行で子ども向けのイベントも開催。子どもたちにもロータリーを知ってもらえたことと思います。

（第2750地区 東京都）



プロ選手による少年サッカー教室開催

釧路北RC 能登 信孝

サッカーは地元釧路において、アイスホッケーとともに少年たちの熱い思いを育めるスポーツの一つになっています。少しでも早い時期にプロ選手を身近に感じてほしいと思っていた私たちは、その環境づくりが地域の方々とロータリークラブとの関わりにつながっていくと考え、ロータリーデースポーツ記念事業として、プロ選手によるサッカー教室を開催することに決めました。

12月21日、市内にある鳥取ドームで、市内のサッカークラブに所属する小学生たちを対象にコンサドーレ札幌の選手によるサッカー教室を行いました。参加した少年たちはサッカーの基本を学び、楽しい一日を過ごしました。



また同会場でロータリーの広報活動とポリオ撲滅募金活動も行い、多くの市民に協力していただきました。

（第2500地区 北海道）



THE ROTARIAN 4月号から

インド 1-4) バピリバーサイド・ロータリークラブが開催したロータリーデーのイベントには、3,000人以上が参加しました。大絵画コンクールに1,000人以上の子どもたちが参加。「私の夢見るインド」をテーマに、イメージをふくらませ製作しました。併せて音楽のタベも開催。 アメリカ 5) 第5840地区(テキサス州)では、サンアントニオでロータリーデーを開催。 6) アーリーアクトファーストナイト委員会のスコット・ラットクリフ委員長(左から2番目)とサー・カス・ガルシア氏(右端)の推薦により、名誉ナイト爵位を授与された黄其光国際ロータリー会長。

希望を断ち切らないために

第 2790 地区広報公共イメージ委員会委員長 金本 元章

ロータリーはどのような団体であり、何をしているのか？ 地域の方々へのロータリーの認知度向上を目的に第 2790 地区広報公共イメージ委員会はどう活動すべきかについて委員会で議論を重ね、幾つかの選択肢の中から選ばれたのが共催（コラボレーション）でした。

11 月 14 日、千葉市民会館大ホールで、東日本大震災で被災した遺児たちの夢、希望を断ち切らないためのプログラムとして、宇佐見透ガバナーが推し進めているロータリー希望の風奨学金の広報活動を目的に、ロータリーデーとして講演会を開催しました。

当日は、千葉市 P T A 連絡協議会・研究大会「育もう子どもの心に夢と希望と優しさを」との共催とし、800 人の参加を得ました。来賓に千葉市から市長をはじめ教育長、中学校長会、小学校長会の方々に出席いただいたのもコラボレーションのたまものであり、これからのロータリー活動に多くの波紋を広げる意味を持ったのではないかと考えています。

講師として、文部科学省教科調査官・生徒指導調査官、国立教育政策研究所総括研究官・教育課程調査官の長田

徹氏を迎え、「社会総がかりでの人づくりを」を演題に、東日本大震災を経験し、翌日、被災地の小学校に赴き現場を体験された長田氏が、悲しい事実にも隠れた心温まるエピソードを紹介しました。子どもたちが一晩中交代で、「寝るな～、頑張れ～」と電柱にしがみついて難をのがれた人を励まし続けたこと、保護者を失いながらも必死で頑張る姿を実際に目にしたこと、体験した事実など、当時の生々しい状況を、写真とともに話されました。

最後に、「復興は確実に進んでいるが、それだけではなく地域社会や母国のためになる人材育成こそ、私たちが最も取り組むべき課題」と結ばれました。参加者の多くの方々から、「ロータリークラブってよくわからなかったけど素晴らしい活動をされているのですね」とか「今日は感動しました。これからは一緒に頑張りましょう」などの称賛の言葉をいただき、ロータリー活動の一端を知ってもらう良い機会ともなりました。

今回の千葉市 P T A 連絡協議会との共催大会は、これからのロータリーが取り組むべき一つの方角性を見いだせたように思えました。
(千葉県)



南三陸町の小学校を支援

大阪リバーサイドロータリークラブ

宮城県南三陸町の海沿いにある名足小学校は、全校児童 62 人。地域に密着した、地域に守られている小学校で、震災以前は学校で使う機材、道具などはその多くが地域、父母からの寄付であったが、すべて流されてしまった。親たちのほとんどが漁業関係者で、子どもたちは不自由を余儀なくされた。震災以降、毎年行っている支援活動の一環として、1 月 20～21 日、会員 8 人が名足小学校を訪ね、書籍 500 冊購入と卒業アルバムの制作

費を支援。震災の記憶もだんだんと薄れる中、できる限りの支援をしたいと考えている。(第 2660 地区 大阪府)



心は共に

伝えよう晴れの国岡山の魅力

岡山備南RC 岡原 洋介



クラブ創立40周年を迎えるにあたり、10月19日、岡山備南ロータリークラブ(RC)主催で、『晴れの国おかやま』魅力3体験を実施しました。このプロジェクトは、ロータリー財団の地区補助金を使い、また岡山市教育委員会と山陽新聞社の後援、およびNPO法人0-99おかやまおしえてネットの協賛を受けました。

2010年8月に創立35周年記念事業として、人形劇「稲むらの火」を催し、防災への備えを啓蒙しましたが、翌年3月11日に東日本大震災が起これ、大津波と福島第一原子力発電所の事故によって、甚大な被害が出ました。被災者の多くはいまだに以前の生活に戻れず、避難生活を続けています。また、住み慣れた土地を離れた人々が他県への移住を余儀なくされています。

そこで、岡山県内に避難している家族を招き岡山の魅

力を体験していただこうと企画したもので、18家族50人とロータリアン18人が参加しました。魅力3体験とは「里山散策」「備前焼の器づくり」「県内産の野菜料理」です。岡山市の操山公園里山センターを主会場に、同センターのボランティアの案内で、市内にある人々の暮らしを支える生活環境と自然のバランスを保つ里山を散策し、深まりゆく秋を満喫しました。備前焼コーナーでは赤磐RC会員で備前焼作家の菅形基道氏の指導で子どもたちが器づくりをしました。保護者有志は小山津希枝氏の指導で、地元の野菜を使ったカレーライスや揚げ物をつくり、昼食として参加者に振る舞いました。

参加した家族からは、自然豊かな岡山の魅力を再確認し他の避難者との交流ができたことに大変感激された一日でした。

(第2690地区 岡山県)



福島にこらんしょ！ に行ってきたけん

大分南ロータリークラブ

東日本大震災から4年が過ぎましたが、いまだ復興の途上であり、福島第一原子力発電所事故による被災や風評被害にも苦しむ第2530地区(福島県)では、全国のロータリアンに向けて「福島にこらんしょ！」キャンペーンを開催しております。復興支援になればとの思いから企画に賛同した当クラブは、同地区のガバナー事務所と日程調整をしていたところ、「インターシティミーティング(IM)に参加してもらえませんか？」との申し出があり、喜んでお受けしました。

11月30日、いわき分区分IM「紡ぐロータリーの絆」に当クラブの有志10人で参加、友好の絆を深めることができました。葉真寺哲也会長からいわき市の清水敏男市長に対し、いわき市東日本大震災遺児等支援事業基金として寄付金10万円を手渡し、感謝状を頂戴しました。

翌日は、福島第一原発付近の帰宅困難地域を視察し、いまだ除染も進んでいない震災の爪あとに、会員一同絶句するばかりでした。私たちは大震災から多くのことを学び、地元や次世代へ伝えていかねばなりません。たとえ一人の力は小さくても、その力が集まればやがて線になり、面になり、復興への大きな力となるはずです。

(第2720地区 大分県)



—東日本大震災

見守り育てる

子どもたちに手を差し伸べているクラブはたくさんあります。また、その内容は多岐にわたります。今月号では、子どもたちに自ら考え自ら活動させることによって、その成長を手助けしているクラブの活動をご紹介します。

これが「こどもがつくる“みぶタウン”」だ！ 壬生ロータリークラブ



12月21日、ロータリー財団の地区補助金を活用して、壬生町児童館の壬らいキッズ主催で開かれた「第3回こどもがつくる“みぶタウン”」を支援しました。

当日は小学生以上が209人、幼児19人、大人のスタッフ89人が参加。子どもだけで運営する「小さな町」で遊びながら働くこと＝大人の町（社会）を疑似体験する催しで、子どもたちの自主性、社会性、協調性、生きる力を育み、お金の大切さや町の仕組みへの関心を高めてもらおうことが目的です。

子どもたちが考える町づくりのため、6月から10回の準備会（全体会議）に当クラブ会員も参加し、彼らの成長を見守ってきました。子どもたちの自主性を尊重し、イベントを円滑に成功させるには、私たちがどのように

接するべきか。手出しも口出しもせずに、子どもたちが安全に、期限内に作業を仕上げられるよう見守る忍耐と思いやりも必要で、私たち大人も勉強になりました。

子どもたちは皆で力を合わせれば、楽しく有意義なビッグイベントを開催できることに自信を持ち、達成感から、生き生きとした表情をあらわにしていました。これからも友達を大切に、協力し合って社会貢献をしてもらいたい。全員が楽しみ、成果を残し、親子の間でも教えられる部分、教える部分を体験できました。

今回のプロジェクトの意義は大きく、さらに地元の新聞やテレビでも取り上げられたので、ロータリーの活動も地域の人々に知ってもらえたと自負しています。

（第2550地区 栃木県）



越谷市児童生徒国際理解図画展

越谷南R C 石川 勝利

11月6～11日、越谷コミュニティセンターで、越谷市児童生徒国際理解図画展を開催しました。この図画



展は1978年から毎年、当クラブと市教育委員会、市教育研究会が共催しており、今回で35回目になりました。

市内45の小中学校からの出展のほか、国際理解図画展とあるように海外5か国の小中学校からも出展があり、国際交流の懸け橋になっています。特に姉妹クラブの台中南区ロータリークラブ（R C）がある台湾からは、多くの図画が送られてきます。

今回は1,227人もの来場者がありました。子どもたちの励みになるよう、絵を鑑賞した後、感想を書いてもらいます。表彰式には毎年、台中南R Cの会員に参加してもらっています。入賞した日本の子どもたちの作品は、今年2月に台中南R Cが開いた国際図画展で展示されました。

（第2770地区 埼玉県）



当クラブではかねてから、社会奉仕事業が画一化し、何か新しい活動はないかと模索していました。われわれの手と汗で活動しないと意味がない！との声を受け、今までとは違った事業先を探しました。見つけた先は、放課後、児童健全育成事業を行う施設「山王こどもセンター」でした。

同施設は大阪市西成区の釜ヶ崎の真ん中にあり、環境的に良い場所とは言えません。戦前の建物で、狭い路地裏にひっそりと佇んでいます。この施設は地域における

子どもの遊び場、活動の拠点として年齢の違う児童が触れ合いを深め、日常生活や行事などを通じて社会性を高めるなど、児童の健全育成の場となることを目的としています。

子どもたちは身の回りのことはもちろん、自分より小さな児童の面倒を見ています。それだけではなく、釜ヶ崎という環境の中に入り込み、「夜の見回り」と称して、路上生活者に自分たちで作ったおにぎりを配っています。

10月23日、彼らの活動を知ってもらおうと、例会で施設長に卓話をしていただき、その後「地域が育てる子どもたち」をテーマにクラブフォーラムを開催しました。

例会当日の朝、会員が要請のあったたこ焼き器を同施設に届けました。子どもたちは年6回開催される祭りでたこ焼きを売り、自分たちのセンターの運営費に回して、おやつや文房具を買ったりします。

われわれのクラブでは、古着や日用品を集め、それらの品々を、今回、たこ焼き器とともに届けましたが、それらも祭りで販売し、その売上も運営費に回ります。ダンボール30箱分の品物が集まりましたが、この事業を通じてわれわれは、クラブの底力を同時に見ることができました。本当に気持ちの良い汗をかくことができました。

(第2660地区 大阪府)

第5回市川市小学生朝食選手権

市川シビックロータリークラブ

当クラブ主催、昭和学院短期大学共催による「第5回市川市小学生朝食選手権」を11月9日、同大学調理室で開催。4人編成の小学生24チーム計96人の参加を得て開きました。

この催しは「朝食の大切さを知ってもらい、自ら朝食を作れるようになってもらいたい」という趣旨で開いています。まだ5回目ですが、回を重ねるたびにレベルも上がり、審査対象としている味や栄養バランス、チームワークなどを総合点に加算するため、各チームが役割を分担して手際よく調理し、見た目や栄養も考えて、特徴ある朝食を完成させていました。

そして、自分たちの作った朝食を保護者と一緒に食べた後、当クラブ会員を含むスタッフ、保護者、子どもたちの全員が、食育についての講演を聴きました。子どもたちだけで

なく、大人にとっても大変意義のある催しだったと思います。

表彰式での結果発表、入賞して感激する児童の涙、入賞できなかった悔し涙、どちらも一生懸命にやり遂げた証しだと思いました。

(第2790地区 千葉県)



「まえばし教育の日」事業として11月15～16日、「まえばし学校フェスタ2014」が開催され、地域社会貢献事業として、前橋市教育委員会と市内にある前橋ロータリークラブ(RC)、前橋西RC、前橋東RC、前橋北RC、前橋南RC、前橋中央RCの6クラブが共催しました。われわれロータリアンは前日の準備から当日の運営、後片付けまで携わり、当日は5,000人を超える来場者でにぎわいました。

「まえばし学校フェスタ」は市内の児童生徒が、学校で行っている文化活動の発表や展示などを行うもので、合唱、アンサンブル、吹奏楽、スピーチなどのステージ発表と、絵画、書道、立体作品、理科学研究などの展示発表に分かれます。その内容は一生懸命、純粹、柔らか思考、希望という言葉が浮かんでくるような素晴らしいものでした。



私が感動したのは小学生の理科学研究です。テーマはさまざまでしたが、研究の動機、目的、予想、実験結果、考察と筋道立てて進め、「なっとうの糸はどれだけのびるのか?」「野菜から紙を作る研究」など、大人には思いつかない柔軟な発想に基づく研究がありました。

ちなみに、納豆の糸が最も伸びる条件を皆さんはご存じでしょう

か。3年生の研究によると、からしを加えた場合や100回かき混ぜた場合より、タレだけを加えて30回かき混ぜた時が最も伸びるそうです。また、紙を作る研究ではショウガやネギをでんぷんのりに混ぜたほうが、キャベツやリーフレタスを使った時よりもしっかりした紙ができるそうです。ただし、臭いがきつい(笑)。

子どもたちの可能性と日本の将来への明るさを感じたひとときでした。
(第2840地区 群馬県)

感動を呼ぶ「園児による歌・踊・奏」

河内長野東RC 畠山 隆雄

当クラブでは、子育て支援事業(社会奉仕)の一環として、河内長野市内の保育園・幼稚園の「園児による『歌・踊・奏』発表会」を主催しており、今年度で9回目となる。毎年、当クラブの活動として適切であるのかという議論を重ねた上で継続してきた事業であり、園児、保護者、園の三者へ思い出づくりの場を提供し、今後の子育ての一助としていただくことを目的としている。

クラブではこれを、①各園で行っているさまざまな活動を市の文化会館大ホールという舞台で披露する体験は、健やかな園児の成長の糧となる、②わが子の成長だけでなく同年代の子どもたちの様子が保護者にわかる場となる、③園の教育活動を確認する場となる、と考えている。

現在、8つの園が出演しており、演目は、体育活動の披露、太鼓の演奏、踊りの披露など多種多様である。当クラブでは「優劣をつけない」「演出には口出ししない」を心がけている。

会員は会場の手配、園との打ち合わせ、会場の準備などに奔走し、11月15日の開催当日はプログラムの進行が滞りなく進むことに専心した。会場外での各種催しは、すてきな「社会とつなが

る」大切なコミュニケーションの場になっていた。かわいい園児の力いっぱいの発表に、自分の仕事も忘れて、孫を見る目線で舞台に見入ってしまった会員も多い。あまりの感動に鳥肌をたてる会員や、涙する保護者もいた。

次世代を担う子どもたちに、明るい道を用意するのもロータリーの務め、とあらためて認識する一日であった。

(第2640地区 大阪府)



ロータリーもネットで教育の時代に

小学校の教室でタブレット端末を使って勉強している子どもたちの光景を、テレビなどでご覧になったことがある方も多いでしょう。インターネットで学べる塾や英会話教室などもあります。技術や時代の変化とともに、教育の方法も随分変わってきました。

ロータリーに入ったら、ロータリーについて知っておかなければならないことがいっぱいあります。また、ロータリー歴が長くなってくると、クラブの会長やガバナーなど、その役職に応じて学ばなければならないことも出てきます。新しい補助金や活動など、その変化に応じて常に新しい情報を学ばなければなりません。ロータリーに関する最新情報は、例会の折に話をされていることでしょうか。新しい会員にロータリーを知ってもらうため、資料を作ったり、セミナーを開いたりしているクラブも少なくないでしょう。

しかし、クラブの中にはロータリーに関する知識の度合いが違う会員がいますし、また、興味も違います。必要な情報も異なっています。国際ロータリー(RI)では、それぞれの立場や興味に応じてロータリーについて学ぶことのできるツールを用意しています。「ロータリーEラーニングセンター」がそれです。ここには、いろいろなテーマの資料が用意されています。

「ロータリーの重点分野」をご存じですか。「戦略計画」って何ですか。それらの答えはこのEラーニングセンターで見つけることができるでしょう。

Eラーニングセンターは、RIのウェブサイトにあります。「My Rotary」に入って(アカウント登録が必要です。まだの方は、『友』1月号横組みP31をご覧ください)、上方にある「ラーニング&参考資料」から「Eラーニングセンター」をクリックして中に入ってください。

「一覧」をクリックすると、コースのトピックや一覧が表示されます。コースを選んで「JA-REGISTER」をクリックしてください。「開始」という文字に変わりますので、すぐに見る場合は「開始」をクリックしてください。後日、「私のコース」からそのコースを始めることもできます。

とりあえずは、Eラーニングセンターの利用方法を学びましょう。「Eラーニング学習システム利用方法」を選んで、ビデオを見るとやさしく使い方を教えてく

れます。コースを修了すれば、修了証を印刷することもできます。

「ラーニング&参考資料」には、「ロータリーEラーニングセンター」のほかにもロータリーの歴史やインターアクトクラブやローターアクトクラブなどに関する資料もあります。「ウェビナー」もあり、ここから最新情報を知ることができます。

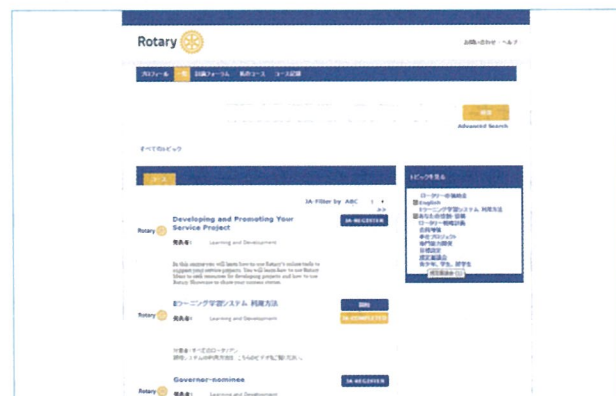
自分が学んだことに関して、意見交換をするツールもあります。ほかの人の意見を読むこともできます。そこからアイデアを得たり、広げたりすることもできるでしょう。

RIのウェブサイトを利用して、ロータリーに関する学習をするのは、とても便利です。24時間、365日、いつでも都合のいい時間にアクセスして学ぶことができますから、忙しい会員でも自分のスケジュールに合わせることができます。

資料はダウンロードできますから、「またインターネットか。コンピューターなんか使わない」とおっしゃる方のために、それらの資料を使って、クラブで勉強会を開くこともできます。

でもご注意ください。ここには皆さまのクラブの歴史や活動内容はありません。皆さまのクラブの活動や歴史、クラブの良さは、ここで学ぶことはできないのです。また、最も心に残るのは、実際に経験した人から話を聞くことです。若い会員はインターネットを通じてどんどん情報を得ていますが、ロータリーの本当の良さを教えることができるのは、先輩会員の皆さまの経験に基づく知識だと思います。学習の方法は一つではありません。状況に応じて組み合わせてみてはいかがでしょうか。

『友』編集長 二神 典子





“よねやま”から広がる新しい世界 ⑥ 夢を応援するロータリー



能美 R C
(第 2610 地区 石川県)

カウンセラー

清水 勝彦 さん

姉妹クラブとの交流がきっかけで始まった縁

能美ロータリークラブ (R C) は、1994 年に韓国の釜山南川 R C (第 3660 地区) と姉妹クラブの締結を交わして以来、毎年お互いのクラブを^{ドゥソク}行き来し、親しく交流を続けています。董又碩君との縁が始まったのも、この姉妹クラブとの交流会がきっかけでした。

毎年 10 月の観月例会に合わせて、釜山南川 R C から会長、幹事はじめ何人かが訪問するのですが、その際、地元の留学生として通訳のアルバイトに来てくれたのが董君でした。

釜山南川 R C の会員との親睦を深める交流会は、毎回とても盛り上がりますが、董君もフレンドリーな性格で、すっかりその場に溶け込んでいました。会員も皆、彼に好感を持ったことから米山記念奨学金の受験を勧め、そして合格した彼の世話クラブを引き受けることになった時は、大変うれしく思いました。今も、姉妹クラブとの交流に、彼はなくてはならない存在として活躍してくれています。

心を通わせた二人での卓話訪問

私は董君の 2 年目のカウンセラーを務めましたが、彼が学業面で非常に優秀なのはもちろん、サービス精神旺盛で、研究で忙しい中でもクラブや地区、学友会のイベントに進んで参加し、会員との触れ合いを深める機会を大切にしてくれていることに感心しました。

私が地区の米山奨学委員を務めていることもあり、彼とはこれまで奨学期間中と終了後と合わせて 5 回、能

登半島のクラブに卓話に回りました。彼の日本語は私より上手で、しかも自分の研究の話だけでなく、必ず米山記念奨学事業への支援のお願いもしてくれるので、とても助かりました。

能登までの長い道中、彼とはたくさん話をしました。起業がうまくいかないという悩みを聞いたり、結婚を約束した彼女の話を聞いたり。私はもっぱら聞き役で、大したアドバイスもできず、良いカウンセラーではなかったと思いますが、彼は私に何でも話してくれました。

新しい門出にエールを

努力のかいあって、董君は昨年 12 月に目標の博士号を取得したほか、開発したシステムが数々のベンチャーコンテストで最優秀賞に輝くなど、素晴らしい成果を収めました。

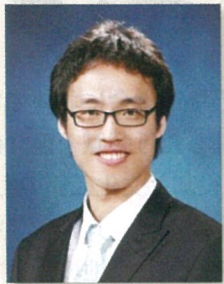
また、当地区米山学友会の副会長として、熱心に頑張ってくれています。この春にはいよいよ小松市内で会社を設立するとともに、結婚して公私ともに新しい門出を迎えるという、うれしいニュースも聞いています。

米山の事業に携わる^{だいごみ}醍醐味はいろいろあると思いますが、このような志ある若者を支え、夢の実現を応援して、彼らの希望に輝く笑顔を見ることが、私にとっては一番の喜びです。これからも懸命に道を進む彼らに、精いっぱいのエールを送り続けたいと思います。



二月、例会で董君(左)の博士号取得のお祝い

米山奨学生の中には自らの力を試したいと、起業を目指す人が少なくありません。韓国出身の米山学友、董又碩さん^{ドンウソク}もその一人。彼が在学中に開発した幼稚園・保育園向けの電子連絡帳システムは、石川県内の幼稚園で導入され、コンテストで賞を受賞するなど評価を受けています。夢に向かって走る中で、悩みに寄り添い、助言や協力をしてくれたのがロータリアンだった、と感謝を寄せる董さんと、そのカウンセラーの清水勝彦さんにお話を伺いました。



Dreampharos 代表／CEO

董 又碩 さん

出身：韓国

奨学期間：2012 - 14

学校名：北陸先端科学技術大学院大学

子どもの役に立てる起業家に

米山奨学生になって、私の人生は大きく変わりました。ロータリーから「時間と約束を大事にすること」「前向きに自分の仕事を果たすこと」「感謝の気持ちで奉仕すること」を学びました。これは、たとえどこに行っても、お金を払っても、学べないことだと思います。私は子どもが大好きで、子どもの役に立つサービスを提供する起業家になりたいと考えています。ロータリアンの皆さんからは、そのための現実的なアドバイスがたくさんもらいました。ビジネスにおける注意点や問題点、資金調達に関する経験談や顧客管理のノウハウなど、生の声を聞くことができました。また、アドバイスだけではなく、行政やNPOを紹介してくれるといった協力も受けることができました。私が起業に向かって頑張ってきたのは、皆さんのおかげです。これからは、皆さんからの温かい愛情に、私にで

きる形で恩返ししたいと思います。

夢に向かってこれからも挑戦

私が日本への留学と起業を決意したのは10年前、ある難病の診断を受けたことがきっかけでした。医者から「将来は動けなくなる」と告げられた時、同じ病気で入院していた同室の男の子を見て、自分も病気に負けずに頑張って、そうした子どもの役に立ちたいと強く思いました。自分に何ができるかを考え、その知識が得られる環境を求めて日本への留学を決めました。自ら新しい事業を起こし成功したあかつきには、難病の子どもを支援する団体を設立したいと考えています。今春、日本で会社を設立し、友人と一緒に開発した幼稚園・保育園向けの電子連絡帳システムの提供を始めます。社名の「Dreampharos」には“夢を照らす灯台”という意味を込めました。まだ、未熟な私ですが、新しいことにどんどん挑戦していきますので、これからも見守っててください。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。
Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281
Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



ベトナムで学友が奉仕活動 —— 児童養護施設に寄付 ——

ベトナム・ホーチミン市で1月18日、米山学友が児童養護施設を訪問し、学友からの寄付金で購入した米150kg、砂糖40kg、インスタントラーメン25箱を寄贈。併せて、第2750地区・東京日本橋RCベトナム交流会有志による絵本が贈られました。参加したチュオン・トゥイ・ランさん（2006-07 / 大宮北東RC）は「私たちの活動は始まったばかりですが、小さなことを積み重ね、大きなことにしていきたいです」と活動への意欲を見せています。ベトナムにはまだ米山学友会はありませんが、ホーチミンでは「学友クラブ」を作って定期的に学友が集まり、活動を開始しているほか、ハノイでも毎月1回、学友の集いが行われています。



食料品や本を児童養護施設に寄付

被災地に支援の手を！

第 2600 地区

中川 博司 ガバナー
(伊那RC)



第 2600 地区は長野県下、55 クラブ、およそ 2,000 人の会員で構成されている。ご存じの通り山国で、山脈間の盆地に、長野、松本、上田、飯田、諏訪、伊那といった主要大都市が点在する。私が住むのは伊那と呼ばれる地だが、町からは木曾駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、塩見岳、北岳など 3,000m 級の山々が眺望できる。空気がいいのか、高齢者の労働人口が日本一多く、男性長寿日本一の村(松川村)もある。

昨年、長野県下で 3 度の災害(南木曾の土石流、御嶽山の噴火、長野県北部地震)に見舞われた。被災地のそれぞれが復興に向けて力強く進んでいるが、観光産業への長期的ダメージは少なからずある。これは 2 次災害とでも言えるだろうか。直接被害があれば義援金など支援の輪も広がる。だが、産業ダメージに対しては義援金もほとんど届かない。もう心配ないから来てくださいと言っても敬遠されることもあるだろう。

そんな折、被災地をグループに持つガバナー補佐から、「支援のため、宿泊を兼ねて被災地でクラブ例会を開こうではないか」との呼び掛けがあった。義援金協力も重要だが、そこに私たちが行って泊まったり、食事をしたり、土産物を買ったり、激励の言葉を掛けること。きっと喜ばれるに違いない。これぞロータリーの心遣いと感じ、私はまず、地区内すべてのクラブにこの呼び掛けを行った。

長野県の多くの地域は冬は雪に覆われるが、温泉やスキー、冬が終われば四季折々、美しい山並みの自然と人情豊かなおもてなしが待っている。そう、この機会に全国のロータリアンにも呼び掛けたい。長野に来てほしい、と。それが何よりの支援になると申し上げて。これは長野の問題だけでなく、日本で起きるであろう同様の災害にも言えることに違いないと思う。

(医薬品研究)

ロータリーデーに近藤誠一前文化庁長官を招いて

第 2610 地区

永田 義邦 ガバナー
(高岡RC)



今月の『ロータリーの友』に、当地区大会においてロータリーデーとして一般公開で開催した近藤誠一前文化庁長官の講演「日本の再生:地域の役割と文化芸術の力」の要旨が掲載されています。この企画は、黄其光国際ロータリー会長の「ロータリーデーを開催し、地域社会でのロータリーの存在感を高めよう」という呼びかけに共感し、ロータリーが今日、抱えている多くの課題解決に効果的であると考えたからです。

近藤氏は、高橋正樹高岡市長の招聘により、現職の文化庁長官として来高した折、お話を聞き、また、市内の文化財の視察にも随行しました。その折、近藤氏の地方の芸術・文化に対する理解と造詣の深さに敬服し、私が考えていた地区の目標「ふるさとを育み 世界の平和へ」にふさわしい講師だと思いました。その後、2013 年ユネスコで「富士山の世界文化遺産」の登録に貢献して「時の人」になられたのは周知の事実です。

ロータリーデーの講演会には、ロータリアン約 300 人と一般市民約 700 人の来場者があり、また、会場では東日本大震災の被災遺児のための「ロータリー希望の風奨学金」の募金も行うことができました。

近藤氏は講演の翌朝、3 昼夜連続で歌い継ぐ「高岡万葉まつり 万葉集全 20 巻 朗唱の会」に参加し、2 首を朗唱されました。その後、同じく朗唱していた小学生に気軽に声を掛け、一緒に撮られた写真を後日、ロータリアンが小学校へ届けたところ、写真に写っている人が前文化庁長官とわかった先生と 9 人の小学生一人ひとりから私にお礼の手紙が届きました。子どもに感動と夢を与えた思いがけない奉仕の喜びを、高岡ロータリークラブの会員とともに分かち合いました。この度のロータリーデーの開催では、ロータリアンが総力を挙げて地域社会におけるロータリーのイメージを高めることができ、感謝、感謝であります。

(健康診断)

いま一度、見直すとき

第 2620 地区

岡本 一八 ガバナー
(浜松北 R C)



今、私がロータリーに入会した当時を思い返しています。そのころは、職業奉仕が基本で、1 業種 1 人制の原則があり、異業種の情報交換が活発に行われていました。社会奉仕活動も会員同士の絆づくりに重要な役割を担っていました。

先輩会員から教えられたことは、依頼された仕事は「はい or YES」で素直に受け、真面目に責任を持って行うこと。また、ロータリーは、国内だけでなく、世界中にあるため、3 年に 1 度、世界各地の代表議員が集まる規定審議会で決定された規定を順守すること。それによって、世界のロータリーが一つになって活動できると。実に単純明快で、私もすんなりと理解できました。

それから 40 年近い年月がたち、ガバナーの立場になって見直してみると、今まで知らなかったことがいろいろと出てきました。時代の変化で、その時その時に合わせた新しい奉仕活動が増え続けてきたため、あらためて一つひとつを理解するのもなかなか大変です。

実施している活動が、どれも素晴らしいことは間違いありません。しかし、複雑に絡まるひもをほどこき、多少整理しなければいけない、本来の職業奉仕の目的がどこかに飛んでしまっているように感じるのは、私だけでしょうか。

会員増強に関しても、多くの友達をつくる目的のはずが、寄付集めの人員確保になってしまっていることは本末転倒だと感じます。

公式訪問で、独自の奉仕活動を地道に行いながら絆を深めている素晴らしいクラブがたくさんあることを知り、感激しました。これこそがロータリー本来の活動です。ロータリー財団の補助金も、こうした活動をバックアップすることで、ますますロータリーは輝きを増していくに違いない、と確信することができました。

(寝具製造)

奉仕を添える寄贈

第 2630 地区

石垣 智康 ガバナー
(多治見西 R C)



「ロータリー家族」と、「ロータリーデー」が頭のどこかに刷り込まれました。地区大会の記念事業は、この 2 つを意識して実現することに知恵を絞りました。

私の住む岐阜県多治見市は、名古屋駅から J R 東海の中央本線で結ばれています。多治見市は名古屋のベッドタウンであり、名古屋市内に入ると、中央本線の停車駅すべてが地下鉄に接続して、通勤・通学にとっても便利です。岐阜県とはいえ、生活圏は名古屋市です。J R 多治見駅の南口には、屋根付きの広場があります。北口は区画整理を終え、5 階建ての駅北庁舎が本年 1 月にオープンしました。北口周辺の道路も一新され、多目的広場の工事が始まったところです。

地区大会記念事業として、この広場に「記念植樹」の目録を多治見市長に手渡しました。ただ、木を贈るだけでなく、「ロータリー家族とともに、今後これに奉仕を添える事業にしたい」というメッセージを伝えました。木々のある水辺の周りに、草花も植えて、市民の憩いの場の整備を、行政とともにロータリー家族も、市民の方々と一緒に参加していくという、将来につながる記念事業です。ロータリー家族たちが、市民ボランティアとともに、市民の憩いの場として、活気ある多目的広場を、どのようにつくり出していくのか楽しみです。今はまだ工事が始まったばかりですが、われわれが目指すのは、植樹だけをして終わるのではなく、そこから始まる記念事業です。

多治見市一番のお勧めスポットは、こけいざんえいほうじ 虎溪山永保寺です。ここは京都の天龍寺と同じ、夢窓国師が造られた池のある庭があり、その近くの虎溪用水を広場に引く、夢のあるプロジェクトが実現されようとしています。多治見市の新たな顔は、駅周辺へと計画が着々と進んでいます。

私どもは期待しています。ここで、ロータリーデーを開催できることを。

(弁護士)

知れば知るほど 奥の深い組織

第 2750 地区

坂本 俊雄 ガバナー
(東京八王子南 RC)



当地区の自慢を2つ述べます。まず1つは、東京都立高校生のインターンシップです。2007年、私が一度目のガバナーの時に、東京都教育庁と調印して始めました。毎年6～11校の生徒約800～1,000人が参加しています。ロータリアンの職場で3～5日間研修させます。基本は「オハヨウ」のあいさつ、遅刻は絶対に駄目、そして職場の人間関係を学んでもらいます。

その日の職場での出来事を数行にまとめ、保護者のサインをもらうことにしました。これは絶大な効果を上げました。保護者の手紙でわかったことですが、今まで口もきいてくれなかった息子や娘が「お父さんの仕事って大変なんだね、1分遅刻すると給与を引かれ、残業もあり、仕事をするには職場の人間関係が大切だということも知らなかったよ」と会話が弾むようになり、ロータリーのおかげです、という感謝に満ちた礼状が届くのです。校長先生からも、生徒が見違えるように明るく礼儀正しくなり、遅刻もしなくなり、先生たちにもあいさつをし、話しかけてくるようになってこんなうれしいことはない、と言われます。

2つ目は、日本の34地区の中で唯一外国のロータリークラブがある地区だということ。東京からサイパンロータリークラブ(RC)が約2,500km、ミクロネシア連邦のポンペイRCは約4,000kmも離れています。フィリピンの最南端より赤道に近いパラオにもロータリークラブがあります。美しい島々が連なる海と、空に真っ白な雲が広がっています。

ロータリーには、クラブを思うクラブ会長にはクラブ会長の、地区委員長には地区委員長の、ガバナー補佐にはガバナー補佐の、ガバナーにはガバナーの、国際ロータリー(RI)会長にはRI会長のロータリーがあります。ロータリーは知れば知るほど奥が深い組織です。

(外科医 (消化器))

ときめき、感動の心

第 2760 地区

近藤 雄亮 ガバナー
(名古屋瑞穂 RC)



第2760地区は84クラブ、会員数約4,800人ですが、クラブはいわゆる来孫(5代後)まであります。私自身の思いもあり、7か月かけて全て個別にガバナー公式訪問を行いました。会員数が30人以下のクラブ、創立5年以内のクラブでは例会後、自由討論を30分ほど行い、いろいろな問題点を共有できたこと、多くの知己を得たことは大変な喜びとなりました。

親子関係があるクラブでも「奉仕をする」という志を持った人たちの集まりということ以外に共通点がなく、それぞれクラブの歴史、会員数、地域性に合わせて工夫をし、クラブ運営や奉仕活動を行っていて、どのクラブも金太郎飴でないことがよくわかりました。ましてや、親と来孫では時代背景により随分違うと感じました。多様性の再認識であります。クラブがロータリーの基盤であると言われます。まさに多種多様な人が集い、奉仕の理想に向かって進んでいます。自分の家の周辺の掃除をする奉仕から始まり、心の中の整理整頓を行い、規矩をつくるが必要であると考えれば、やはり奉仕の原点は「I Serve」にあると思います。

国際大会、国際協議会を通し、私が強く感じたのは「神髄は感動することであり、それを一般の人たちにもシェアすることが大切だ」ということでした。公式訪問で私は「感動のないロータリー活動はロータリー活動ではない。一つでもいいから目標を立て、目標に向かって進むうち、人との出会い、いい出来事との出会いがあり、それがときめきや感動につながる。そして目標を達成した時、素晴らしい達成感に浸ることができる」と話しました。これが黄其光国際ロータリー(RI)会長のテーマ「Light Up Rotary」だと思います。一人ひとりがときめき、感動すれば、クラブがきらめき、地区ひいてはRIが光り輝くものと信じます。ときめき・感動の心がすなわちロータリーの価値観だと思います。

(電磁応用製品製造)

R・O・T・A・R・Y

第 2780 地区

渡辺 治夫 ガバナー
(横須賀 R C)



ロータリアンとして私自身がすべきだと考えていることを「R・O・T・A・R・Y」の文字になぞらえて申し上げます。

「R」は、Rejoice（喜ぶ） 例会に出席できることを喜ぶことです。例会は会員が集うことで信頼感を高められ、そして人生哲学や職業倫理を学べるのですから。

「O」は、Offer（提供する） 戦略計画は3つの優先項目を掲げ16の目標を定めています。また、奉仕活動には「6つの重点分野」があります。①平和と紛争予防／紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展、を提供することです。

「T」は、Three major obligations（三大義務）ロータリアンの三大義務は、①会費の納入、②例会出席、③ロータリー雑誌の購読です。私はこの「義務」を、ロータリーを楽しむために実行します。

「A」は、Activity（活動）ロータリーの5大奉仕、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕を実践します。ロータリアンの喜び、楽しさは、活動の中で感じるものだと思います。

「R」は、Resources（財源）ロータリー奉仕活動の「財源」は、ロータリー財団です。ロータリー財団は、クラブや地区に補助金を提供し、ポリオの撲滅や世界平和を推進します。そのために私たちの寄付が必要です。

「Y」は、Yes（その通り）ロータリアンの言行は「四つのテスト」の全てに「YES」と答えられるものでなければなりません。1. 真実か どうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるか どうか これらに「YES」と答えられるようにしていきたいと存じます。

ロータリアンであることに感謝し、これらのことに誠心誠意、取り組んでいきたいと思っています。

(石油小売販売)

自身の体験をもっと多く語ろう !!

第 2640 地区

辻 秀和 ガバナー
(河内長野 R C)



1982年、私は家業の4代目を継ぎ、ロータリーも先代の後を受け、お世話になっています。入会からしばらくは、在籍会員の中で最年少記録の更新を続けました。先輩ロータリアンから身に余る温かい指導を受けました。青年海外協力隊でマレーシアから帰国して間もなかったことなどから、青少年奉仕や国際奉仕活動に多く関わりました。とてもやりがいがあり、特に、インターアクト活動では、敬愛してやまない偉大なロータリアンの師に恵まれ、顧問の先生方とは、言葉では語り尽くせない信頼関係と友情が芽生えました。私は、ガバナーノミニー、ガバナーエレクトそしてガバナーの3年間、パストガバナーや友好クラブの皆さん、そして今日までのロータリー活動を通じて、国内外を問わず培った人脈が、困難な時にも何にも増して助けとなったことを「私のロータリーモメント」として、しっかりと記憶しました。すべての皆さまに、感謝!! 感謝!! です。では感謝だけで終わらずに、今後何ができるのでしょうか。

私は、ロータリー活動はロータリー家族の支えなしでは成り立たないと考えています。ロータリアンとして、職業人として、利益の追求だけでなく、そのスキルを生かして、地域社会で、世界で、その求めるところをよく理解して、今後も貢献していきたいものです。

- 人からの受け売りではなくて、自身の「人生の経験」と「ロータリーの心に残る体験」をすべてしっかりと新世代の若者たちに伝える。
- 言葉だけではなく、共に活動し、汗を流し、身をもって伝える。伝えなければ何も始まらない。それを生かすかどうかは、その人自身。
- ロータリー家族とともに、ロータリーを楽しみ、活動を続ける。

ロータリーとは素晴らしいもの、人生で出会う人たちに勧めたいものです。

(石材加工)

2014 - 15 年度 地区大会略報

III



第 2660 地区

2014 年 12 月 5 ～ 6 日
フェスティバルホールほか
ホスト 大阪帝塚山 R C 登録者 2,223 人

泉 博朗ガバナー ^{バク・ヤンク} 朴泳求 R I 会長代理を迎え、「家族みんなで楽しめる地区大会」を目標に、会員の家族も楽しめるプログラムを随所に取り入れ開催。初日は宗教家・松長有慶氏の「日本のこころ」のほか、^{たしせいせい}多士済々の講演に、多数の会員と家族が出席しました。2 日目は地区同好会の和太鼓でオープニングを飾り、作詞・作曲家の小椋佳氏の歌で参加者が癒やされ、続いて 9 クラブによる同好会の演奏と、盛り上がりました。ホールが会員・家族で埋まり、黄其光 R I 会長の「家族でロータリーに参加しよう」を実践した大会になりました。



第 2570 地区

2014 年 12 月 6 ～ 7 日
川越プリンスホテルほか
ホスト 富士見 R C 登録者 1,697 人

坂本元彦ガバナー ^{リョウチーティン} 台湾から劉啟田 R I 会長代理を迎え開催。1 日目は川越プリンスホテルで北清治 R I 理事のセミナー講演、夜は R I 会長代理夫妻の歓迎晩餐会が多くの出席者のもと、盛大に開催されました。2 日目は、キラリ☆ふじみで元 R I 会長の田中作次氏の特別記念講演と教育学者の齋藤孝氏による一般市民公開の記念講演が行われました。地区大会に出席することの意義は「入って学び、出でて奉仕せよ」の実践にあるとの坂本ガバナーの言葉通り、多くの会員が出席し、和やかで活気に満ちた大会となりました。



第 2580 地区

2015 年 2 月 16 ～ 17 日
京王プラザホテル
ホスト 東京セントラルパーク R C 登録者 2,090 人

鈴木孝雄ガバナー ^{エン・ラングウェイ} 台湾からの R I 会長代理、蔡衍榮氏は、「日台間の親睦関係を一層深めるため、両国の新世代にもお互いの文化を理解させるべきだと思います」と述べ、姉妹クラブや青少年交換をより一層、積極的に実施することを提案しました。R I 会長夫妻歓迎晩餐会では、台湾からの出席者が台湾のロータリーソングを披露し盛り上がり、宇宙飛行士で日本科学未来館館長の毛利衛氏の記念講演「宇宙からの視点～我々はなぜ挑戦し続けるのか～」では、広大な宇宙に思いを馳せました。



第2790 地区

2015年2月21～22日
アパホテル&リゾート東京ベイ幕張
ホスト 千葉幕張RC 登録者 1,800人

宇佐見透ガバナー RI会長代理に千葉県を10回以上も訪問しているという、第3510地区(台湾)パストガバナーの曾秋聯氏を迎え、千葉市にて開催。1日目の地区指導者育成セミナーでの曾RI会長代理の講演「有言実行～ベストを尽くす～」、2日目の記念講演、元衆議院議員・鈴木宗男氏の「鈴木宗男の生きざま」は、いずれも参加ロータリアンに感銘を与えました。記念ゴルフ大会は「ロータリー希望の風奨学会」への寄付が目的でしたが、100万円の寄付をすることができました。



第2760 地区

2015年2月21～22日
ウェスティンナゴヤキャッスルほか
ホスト 半田RC 登録者 2,597人

近藤雄亮ガバナー 地区大会は言うまでもなく会員のためにあります。事前のアンケート調査に示された会員の意思は「ローカル色を重視した」会場設営。大会をホストした半田RCの演出はそれに十分応えるものでした。地区方針は集まろう・語ろう・楽しもう」を掲げた近藤ガバナーの思いは、その通りに表現できたでしょうか……。大会終了直後のガバナーの満面の笑みが、その結果を物語っていました。若林紀男RI会長代理の型にはまらぬユーモアに富んだあいさつとともに、二人の思いが会場を盛り上げ、実りのある大会となりました。



第2750 地区

2015年2月24～25日
グランドプリンスホテル新高輪
ホスト 東京成城新RC 登録者 2,576人

坂本俊雄ガバナー 坂本俊雄ガバナーの思いは地区内の会員に自らの地区についてよく知ってもらいたいということ。北清治RI会長代理を迎えて開催された本地区大会で、坂本ガバナーは地区内の活動について丁寧に紹介しました。各グループから1クラブが選ばれ、昨年、ガバナー就任直前に他界した小粥定美氏の名前を冠した賞が贈られました。順天堂大学医学部心臓血管外科の天野篤教授の記念講演、兄弟によるピアノデュオ「レ・フレル」の力強い演奏など、ロータリーを知り、ロータリーを楽しむ大会となりました。



第2680 地区

2015年2月28日～3月1日
神戸ポートピアホテル
ホスト 神戸須磨RC 登録 1,907人

滝澤功治ガバナー 前川昭一RI会長代理を迎え、神戸で開催。初日は会長・幹事会、地区指導者育成セミナー、2日目の本会議では、阪神・淡路大震災から20年の節目にあたり、災害支援もプログラムに取り入れました。復興のシンボルとして誕生したスーパーキッズ・オーケストラの演奏やCODE海外災害援助市民センター代表理事・芹田健太郎氏の「明日を信じて～震災を乗り越えて20年～」、元ラグビー日本代表監督・平尾誠二氏の記念講演「人材育成論」があり、最後は会員・家族懇親会で親睦と友情を深め、盛会裏に終了しました。

国際大会カウントダウン
 エスニックなサンパウロ



人口2,000万人の大都市、ブラジル・サンパウロは、世界中からの移民が築いた多文化の街。レバノン国外で最大のレバノン系の人口、日本国外で最大の日系の人口を誇り、最も多いイタリア系の人口は600万人以上になります。6月6～9日に開かれる2015年ロータリー国際大会でサンパウロに滞在中に、多様な民族性を映し出すさまざまなエリアを散策してみたいか、がでしょうか。

リベルダーヂ地区：サンパウロになぜ日系人が多いのか。その理由を知りたい方は、ブラジル日本移民史料館にお立ち寄りください。その後で、日本人街に立ち並ぶ魅力的な寿司レストランで食事してみてください。

ベラビスタ地区：かつてイタリア系移民が多く住んでいたこのエリアには、有名な劇場のほか、市内有数のベーカリーやレストランがあります。

ヴィラ・マダレーナ地区とピニエイロス地区：サンパやショッピング、軽食が楽しめる、無数のクラブやライブハウスが集まるにぎやかなエリアです。

ボンヘチーロ地区：ユダヤ系移民を中心とする服飾業地区として19世紀末から20世紀初めに栄え、今日では韓国系の移民が増えています。

ブラス地区：昔はイタリア系、ギリシャ系、アルメニア系の移民が占めていましたが、今はボリビア系と韓国系の人たちが多く住んでいます。

登録は国際ロータリーのウェブサイト (www.riconvention.org/ja) からお早めに。

今後のR I 国際大会

2015年6月6～9日

ブラジル・サンパウロ

(以下、予定)

2016年5月29日～6月1日

韓国・ソウル

2017年6月10～14日

アメリカ・アトランタ

統計

全世界ロータリアン総数

1,220,115人

クラブ数 34,558 クラブ

地区数 536 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 174,984人*

クラブ数 7,608 クラブ*

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 406,249人*

クラブ数 17,663 クラブ*

国と地域 150 以上

2014年10月1日現在
 * 2014年12月29日現在

ロータリーの
 ニュースは

ROTARY
 JAPAN
 Home Page www.rotary.or.jp

管理委員長の思い

新しい補助金モデル

未来の夢計画の下でロータリー財団の新しい補助金モデルが導入された時、ロータリー管理



委員会は、このモデルを2015～16年度中に見直し、皆さまの経験を基にできるだけ手続きを効率化することを決定しました。

補助金には大勢の方が関わり、それぞれが異なった期待を抱えていることを管理委員会は認識しました。そのため私は、あらゆる角度から検討し、寄せられた意見の守秘義務を

保つために4人の元国際ロータリー(R I)会長からなる独立委員会を任命しました。

この委員会は、重点分野および地区補助金とグローバル補助金に関する皆さんの経験を聞き、ロータリー財団を最高の形に仕上げるための改善のアイデアを求めています。委員会のメンバーは、私のほか、カルヤン・パネルジー氏、レイ・クリングスミス氏、そして委員長を務めるビル・ボイド氏です。皆さまのご意見やご提案を、ぜひEメール(futurevisionbillboyd@outlook.com)でお寄せください。

委員会ではいただいたアイデアを検討し、サンパウロで開かれるロータリー

国際大会で会合を持ち、管理委員会のプログラム委員会に提出する案件を決定する予定です。その後、プログラム委員会が、全会員の意見を反映するために必要なアンケート調査を実施し、2016年1月の国際協議会で、その結果を報告することになります。私たちの委員会からの推奨案は、2016年4月の管理委員会会合に提出する予定となっています。

ロータリー財団がこれからも最も良い形で世界でよいことを続けていくために、どうかご協力をお願いします。

R I 指定記事

2014～15年度ロータリー財団管理委員長 ジョン・ケニー

ROTARY 掲 示 板

事務所住所変更

本庄南 (2570・埼玉県)
〒 367-0048 本庄市南 2-2-10 河原方
岡部 (2570・埼玉県)
〒 369-0201 深谷市岡 2733-7
内田設備内

東京足立 (2580・東京都)
〒 121-0813 足立区竹の塚 6-15-12
メゾン竹の塚 601 号

東京日本橋・東京日本橋西
(2750・東京都)
〒 103-0022 中央区日本橋室町 3-3-9
日本橋アイティビル 5 階

東京サンライズ汐留 (2750・東京都)
〒 160-0022 新宿区新宿 7-27-45
鈴木ビル 402

相模原グリーン (2780・神奈川県)
〒 252-0239 相模原市中央区中央 3-7-9
リトルウッズ中央 301

河内長野高野街道 (2640・大阪府)
〒 586-0015 河内長野市本町 1-1
山口方

例会場・曜日・時間変更

東京武蔵野中央 (2580・東京都)
吉祥寺東急 R E I ホテル (建物名称変更)

東京南 (2750・東京都)
木→金 12:30 帝国ホテル

松江南 (2690・島根県)
松江エクセルホテル東急 (建物名称変更)

新ローターアクトクラブ

テクノアカデミー浜
(2530・福島県・原町中央)
発会 2015 年 2 月 6 日 会員数 22 人
〒 975-0036 南相馬市原町区萱浜巢
掛場 45-112 福島県立テクノアカデ
ミー浜高等学校内
会長 國分 満 幹事 菅野 裕也

2015—16 年度 『友』誌表紙写真 ロータリアンから募集 テーマは 設けません

4 月 30 日締め切り

次年度の表紙写真を募集いた
します。テーマは設けません。
募集要領は下記の通りです。

- ① 締め切り 2015 年 4 月 30 日
- ② 点数 1 人 3 点まで
- ③ サイズ 紙焼き四つ切り
(それに近いサイズも可)
- ④ 添付資料 名前、クラブ、
連絡先住所・電話・ファク
ス、タイトル、撮影場所、
撮影年月、撮影データ (カ
メラ名、使用レンズ〔ミリ〕、
露出、シャッターの速度)、
簡単な写真説明。
- ⑤ 発表 『友』誌 2015 年 8
月号、ホームページ『ロー
タリージャパン』(6 月下
旬予定) に入選者のみ。
- ⑥ 審査員 ロータリーの友編
集担当理事ほか。
- ⑦ その他 表紙のサイズに合
わせトリミングをする場合
があります。／写真の上に
タイトルその他の文字がか
かる場合があります。／採
用決定作品は、掲載時にネ
ガフィルム、ポジフィルム、
デジタルカメラの場合は
データが必要になります。
／掲載に際して、賞金なら
びに掲載料等の支払いはい
たしません。／入選作品の
著作権は撮影者に帰属しま
す。『ロータリーの友』は、
印刷物(『ロータリーの友』、
『友』英語版、その他) な
らびにウェブサイトへの掲
載、展示などの使用权を保
有します。／応募作品の返
却はいたしません。

敬弔 第 2510 地区・岩城秀晴氏が 1
月 24 日逝去されました。89 歳。謹
んで哀悼の意を表します。
(札幌南 R C 会員・2001-02 年度 G)

敬弔 第 2530 地区・伊藤浩氏が 2
月 8 日逝去されました。73 歳。謹
んで哀悼の意を表します。
(郡山西北 R C 会員・2012-13 年度 G)

敬弔 第 2580 地区・玉村文夫氏が 2
月 10 日逝去されました。90 歳。謹
んで哀悼の意を表します。
(東京 R C 会員・1991-92 年度 G)

インターアクトクラブ終結

日章学園 (2730・宮崎県・宮崎中央)
2014 年 11 月 28 日承認

広報誌 ROTARY 刊行!



今年度も一般向け、会員勧誘用の 2
つの広報誌を改訂し制作。ご案内
状(申し込み用紙付き)は、9 月号
と同送で見本誌と一緒に、クラブへ
お送りしました。「ロータリーデー」
での広報などにご活用ください。ご
注文は『友』事務所まで。

各種変更はお早めに お知らせを

ご所属地区ガバナー事務所や国
際ロータリーのウェブサイト
「My ROTARY (www.rotary.
org/myrotary/ja)」等へ、ク
ラブ事務所・例会場・例会曜日
や開始時間等、各種変更をご連
絡される時には、同時にロータ
リーの友事務所へも、お知らせ
ください。

◆ご案内 本ページ毎号掲載の右記一覧表は3つのゾーン順で、横組みP 43奥付の、日本ロータリー分布図の色分けと対照しご覧ください。

2015 - 2016 年度版 ロータリー手帳 ご予約受付中

ロータリアンの皆さまのご意見を受けて「ロータリー手帳」は毎年、改訂を加えご準備しております。

2014 - 15 年度版から、表紙デザインも一新。会員の皆さまからのお声により、使いやすいよう開き具合などに微調整を施し、ペンサックを太くするなど工夫を凝らしています。

ロータリー年度に合わせてのスタイルや、全国34地区のガバナー事務所や地区大会の予定など、ロータリー関連事項の掲載は変わりません。

付録の年間スケジュール帳、アドレス帳、ロータリー関連資料の3点も最新版へ、リニューアルしております。手帳の色はロータリーカラーであるロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさで、女性のハンドバッグの中でも邪魔になりません。

詳細は2月1日付で、ロータリークラブにお送りしたご案内状を、ご覧ください。

(定価 600 円 + 消費税 / 送料別)

ご注文は、クラブ事務局を通じて、お早めにロータリーの友事務局まで、お願いいたします。

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表 (2015 年 1 月末現在)

地区	R C 数	会員数	前年同月末 会員数	出席率(%)
第 2500 地区	67	2,285	2,248	81.10
第 2510 地区	70	2,592	2,588	82.39
第 2520 地区	80	2,306	2,309	78.40
第 2530 地区	66	2,364	2,335	80.50
第 2540 地区	42	1,111	1,067	82.82
第 2550 地区	51	1,716	1,666	85.44
第 2560 地区	56	2,109	2,038	82.96
第 2570 地区	52	1,684	1,716	82.29
第 2770 地区	74	2,631	2,595	83.49
第 2790 地区	84	2,785	2,766	82.62
第 2800 地区	50	1,633	1,642	85.97
第 2820 地区	58	1,998	2,007	82.87
第 2830 地区	41	1,140	1,141	81.78
第 2840 地区	46	2,023	1,922	83.32
第 2580 地区	70	3,025	3,027	84.80
第 2590 地区	60	2,188	2,188	85.52
第 2600 地区	55	2,001	2,028	88.46
第 2610 地区	65	2,643	2,660	83.41
第 2620 地区	78	3,021	3,059	89.20
第 2630 地区	80	3,138	3,136	86.31
第 2750 地区	99	4,743	4,610	79.52
第 2760 地区	84	4,844	4,853	93.48
第 2780 地区	64	2,334	2,239	81.03
第 2640 地区	70	1,985	2,030	85.98
第 2650 地区	97	4,653	4,603	89.68
第 2660 地区	82	3,663	3,689	87.20
第 2670 地区	74	3,000	2,969	84.97
第 2680 地区	73	2,871	2,895	91.70
第 2690 地区	67	3,107	3,110	85.12
第 2700 地区	61	3,207	3,237	89.84
第 2710 地区	74	3,328	3,293	90.31
第 2720 地区	74	2,420	2,420	84.64
第 2730 地区	65	2,346	2,339	80.97
第 2740 地区	57	2,231	2,212	84.80
34 地区合計	2,286	89,125	88,637	

日本のロータリー
会員数 88,806 人
クラブ数 2,277
(左の表中 34 地区合計から、
第 2750 地区の P B グループ
を引いた数です)

ガバナー月信より 第 2750
地区のクラブ数・会員数は、
P B グループ 9 R C 319 人
(北マリアナ諸島・グアム・
ミクロネシア・パラオ)を含
みます。P 6「日本のロー
タリー」数は、34 地区合計から
P B グループを引いた数にな
ります。前年同月末 P B グ
ループ 8 R C 会員数 285 人。

修正 2650 / 各月の平均
出席率修正: 本誌 10 月号
横組み P 43 (7 月末) 表
中、90.77 %、同 11 月号
横組み P 44 (8 月末) 表
中、90.76 %、同 12 月号
横組み P 46 (9 月末) 表
中、90.14 %、同 1 月号横
組み P 37 (10 月末) 表
中、90.11 %、同 2 月号横
組み P 49 (11 月末) 表
中、88.85 %、同 3 月号横
組み P 50 (12 月末) 表中、
89.42 %。
同 3 月号横組み P 50 (12
月末) 表中、地区会員数修正:
2520 / 2,297 人、2770 /
2,624 人、2820 / 1,984 人、
2830 / 1,134 人、2840 /
2,005 人、2620 / 3,004 人、
2630 / 3,119 人、2650 /
4,624 人、2660 / 3,657
人、2670 / 2,993 人、34
地区合計会員数を 88,762 人
へ、表外と P 6「日本のロー
タリー」最終行の会員数を
88,439 人へ修正。

*『ロータリージャパン』の
「ロータリー関連資料」には、
データを修正後の表を掲載。

*第 2520 地区の数値はすべ
て概数です。

ロータリーの友 5 月号主要記事予定

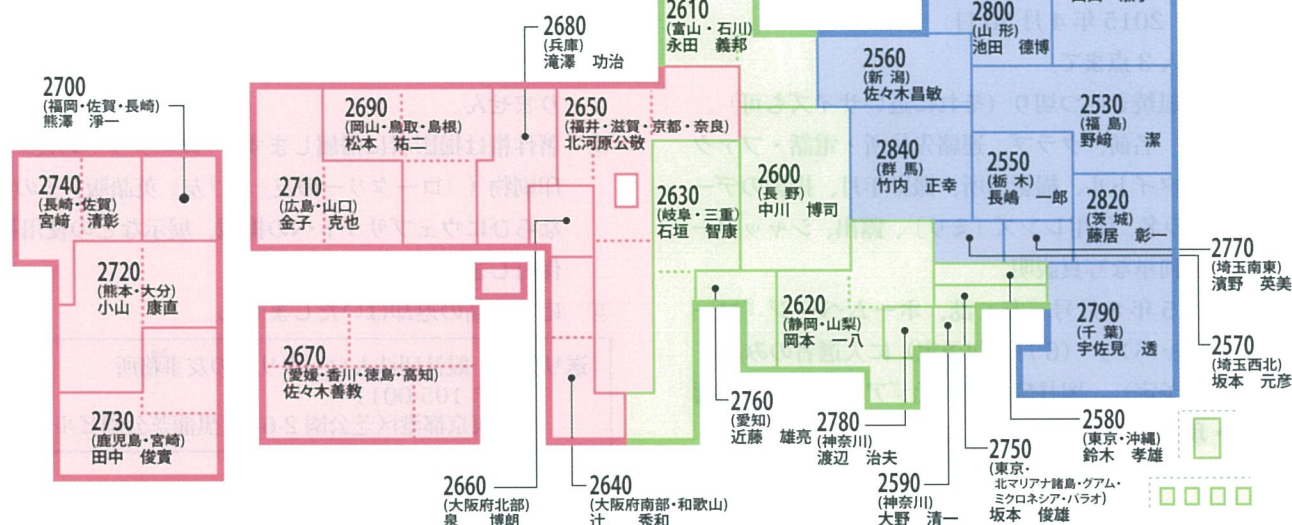
横組み 特集 クラブ・地区独自の奨学金
地区大会略報
よねやまだより

縦組み 見えないから 見えたもの
岡山県立盲学校講師 竹内 昌彦
わがまち……そしてロータリー 萩市





第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第63巻 4月号

2015年3月31日印刷 2015年4月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員

北 清治	(浦和東)
杉谷 卓紀	(玉名)
鈴木 孝雄	(東京池袋)
坂本 俊雄	(東京八王子南)
渡辺 治夫	(横須賀)
泉 博朗	(大阪帝塚山)

■ 理事会

代表理事
理事

橋本 長平	(京都東)
清水 良夫	(横浜)
中山 義之	(横浜南)
神崎 正陳	(茅ヶ崎湘南)
上野 孝	(横浜)
安平 和彦	(姫路)
片岡 信彦	(土浦南)
本田 博己	(前橋)
志田 洪顯	(静岡)
大室 僨	(宝塚武庫川)
鈴木 喬	(東京江北)
水野 功	(東京飛火野)
森本 行俊	(東京町田サルビア)
横山 武志	(東京北)
中里 公造	(川口モーニング)
大澤 成美	(東京臨海)
野中 茂	(川崎)
渡辺 誠二	(東京みなと)
二神 典子	(東京築地)
高良 明	(川崎西)
船越 豊	(千葉中央)
板橋 敏雄	(足利東)
中村 昌平	(東京北)

監事

相談役

■ 職員

所長	渡辺 誠二	(東京みなと)
編集長	二神 典子	(東京築地)
編集	稲川 やよい	
	黒野 稔二	
	野崎 恭子	
	山名 愛	
	飯田亜由香	
経理	富澤 美子	
	半田 弥生	
	福元菜穂子	

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

落丁本・乱丁本は一社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

『友』誌 2015 - 16 年度表紙写真募集中!

——締め切り迫る!

2014 - 15 年度は、表紙写真につきまして、多数ご応募いただき、感謝申し上げます。来る 2015 - 16 年度も、ロータリアンの皆さまの作品を募集することになりました。今回も特にテーマは設けません。ふるってご応募ください。募集要領などは下記の通りです。

◆ 応募要領

- ① 締め切り 2015 年 4 月 30 日。
- ② 点数 1 人 3 点まで。
- ③ サイズ 紙焼き四つ切り（それに近いサイズも可）。
- ④ 添付資料 名前、クラブ、連絡先住所・電話・ファクス、写真タイトル、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ（カメラ名、使用レンズ〔ミリ〕、露出、シャッター速度）、簡単な写真説明。
- ⑤ 発表 2015 年 8 月号『友』誌、ホームページ『ロータリージャパン』（6 月下旬予定）に入選者のみ。
- ⑥ 審査員（予定） 岡井耀毅氏（元『アサヒカメラ』編集長・現『友』表紙解説者）など。

◆ 入賞作品について

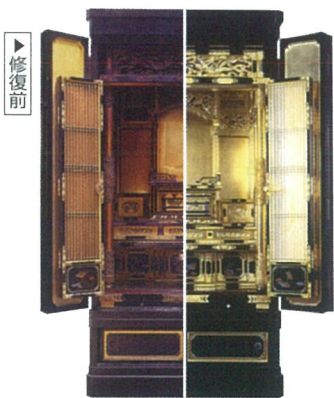
- ① 採用決定作品は、掲載時にネガフィルム、ポジフィルム、デジタルカメラの場合は解像度の高いデータが必要になりますので、オリジナルはお手元に保存しておいてください。
- ② 掲載時、表紙のサイズに合わせ、トリミングをする場合があります。また、写真の上にタイトルその他の文字がかかる場合があります。
- ③ 掲載に際し、賞金、ならびに掲載料などの支払いはありません。
- ④ 著作権は撮影者に帰属します。『ロータリーの友』は、印刷物（『ロータリーの友』、『友』英語版、その他）ならびにウェブサイトへの掲載、展示などの使用権を保有します。
- ⑤ 応募作品の返却はいたしません。

送り先 一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

京に生まれ育って186年、若林はお仏壇・仏具の専門店です!

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで
在庫豊富に取り揃えております。

◎ご予算に合わせた修復お見積りをいたします



修復前

修復後

お仏壇の
「洗い修復」
承ります。

伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)

夕に感謝



京都本社/〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入
東京店/〒146-0081 東京都大田区仲池上 2 丁目 8-13
築地店/〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1 (築地本願寺内)
札幌店/〒064-0919 札幌市中央区南 1 条西 9 丁目
仙台店/〒980-0821 仙台市青葉区春日町 8-5
近江草津店/〒525-0027 草津市野村 1 丁目 3-10
福岡営業所/ ☎ (092) 761-3737

☎ (075) 371-3131 (代)・年中無休
☎ (03) 3755-8488 (代)・水曜定休
☎ (03) 3546-8228 (代)・日曜定休
☎ (011) 512-3455 (代)・日曜定休
☎ (022) 213-0666 (代)・日・祝定休
☎ (077) 564-1011 (代)・水曜定休

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

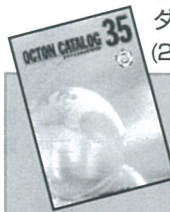
シューズ入れが付いたダレスボストン。



- 書類などの出し入れが容易で中身も見やすいダレスタイプ。
- 日本製

732-2775

ダレスボストンバッグ(シューズ入れ付)
(28×45×24cm 約1,030g) ¥17,820-(税込)



●ロータリー用品のカタログをご希望の方は
ご遠慮なくご用命下さいませ。

LICENSED SUPPLIER OF ROTARY INTERNATIONAL

株式会社 オクトン

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-2-6 ユモトビル 5F

TEL.(03)3866-0481(直) FAX.(03)3861-2090

ホームページ<http://www.octon.co.jp> E-mail: octon@octon.co.jp

表紙のメッセージ

岡井 耀 毅



「夢灯路と満開夜桜」(埼玉県)
撮影 内山 明夫 (2570 東松山むさし)

夜桜や夢見るごとく匂いけり

岡井輝生

ライトアップに浮き出る満開の夜桜は思わず目を奪われる美しさだ。ここは埼玉県東松山市本町の「東松山夢灯路・上沼会場」。毎年、桜の季節になると、ライトアップに合わせて二つの沼の周辺と沼を結ぶ路地に千五百基の灯籠がずらりと並ぶ「東松山夢灯路」が開催されて人出でにぎわう。

この楽しいイベントでは、和紙を張った手作りの灯路を歩きながら、男沼の松山神社と女沼の弁財天を参拝すると、二人の思いや夢がかなうという言い伝えがあり、そぞろ往時を偲ぶひとときが楽しい。

「夢灯路の明かりと満開の桜が織りなす美しい夜景は東松山市民に夢と感動を与えてくれます。毎年撮影に出かけますが、その美しい風景には思わず夢中になってシャッターを切り続けます」

と、内山明夫氏は言う。



「関門エキゾチック」(山口県)
撮影 河野 康志 (2710 山口)

※

ここは山口県下関市の火の山公園。満開の桜並木の下に、咲き揃うチューリップが息をのむ美しさだ。下関市がのぞむ関門海峡は、平家が滅亡した壇ノ浦の源平合戦や幕末には長州藩が欧米と下関戦争をするなど数々の戦歴をきざみ、古くから交易の拠点としても栄えてきた。

その海峡が縁結びで、一九七二年五月、トルコ共和国イスタンブール市と姉妹都市を結ぶことになり、二〇〇七年十二月、締結三十五周年を記念して同市から、「ぜひ海峡が見える場所での栽培を」という希望で、チューリップの球根五万球が寄贈された。

さっそく下関市は多くの市民ボランティアの協力で火の山公園の山麓斜面を整備してチューリップ園として二〇〇九年四月に開園した。

以来、毎年四月には、海峡を見下ろす火の山公園がチューリップ園として異国情緒ゆたかな香りを楽しむ市民いこいの場所として親しまれている。

「チューリップ園がにぎわっていると聞いて早朝からカメラを抱えて火の山公園に出かけて

みると、ちょうど見頃で大勢の人たちでにぎわっていた。大型船が行き交う関門海峡が見下ろせ、絶景に見とれた。見なれている日本のチューリップとは花びらの形や色合いも異なり、とても新鮮な気持ちになり、吸い込まれそうな美しさに、エキゾチックな感覚にひたることが出来ました」

と、河野康志氏は言う。

撮影日は、二〇一二年四月十五日。

(ジャーナリスト)

二〇一五—一六年度『友』誌 表紙写真締め切り迫る!

次年度の表紙写真をロータリーアンから募集しています。テーマは設けません。募集要領は次の通りです。

- ① 締め切り 二〇一五年四月三〇日
- ② 点数 一人三点まで
- ③ サイズ 紙焼き四つ切り(それに近いサイズも可)
- ④ 添付資料 名前、クラブ、連絡先住所、電話・ファクス、写真タイトル、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ(カメラ名、使用レンズ(ミリ)、露出、シャッター速度)、簡単な写真説明
- ⑤ 発表 『友』誌、ホームページ『ロータリージャパン』に入選者のみ

※詳細は、本誌横組み四四ページ、または、ホームページ『ロータリージャパン』
www.rotary.or.jp をご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしております。



寮生たちと一緒に餅つき

しています。今年度は二月一四日に四万十市の「わかふじ寮」を訪問し、前年度に続き二回目となる餅つき大会を開催しました。

わかふじ寮は、知的障がい者を保護するとともに独立自活に必要な支援を行う施設で、児童部と成人部があり、この日も大勢の寮生が参加してくれました。当日の朝は寒波が襲来し、とても寒く曇り空でしたが、餅つきが始まるころには雲が切れて太陽が寮を照らし始め、絶好の餅つき日となりました。

会員も朝早くから二一人が参加し、寮生とともにきねを持ち、さすがに汗をかきました。慣れないきねに悪戦苦闘する姿に笑いがこぼれ、経験豊富な「きね使い」には大きな喝采。皆が「よいしょ！」と元

気な掛け声を出し、楽しく餅つきを行うことができました。つきたてのお餅は、その場で寮生たちがあんこ餅を作り、みんなでおいしくいただきました。

餅つきの後には、ご当地アイドル「レヴ」によるミニコンサートも開き、寮生、会員一緒になって声を張り上げて応援し、とても盛り上がりしました。

会員にとっては、寮生の喜んでい顔や一生懸命に餅つきをする姿からたくさんの元気をもらい、奉仕活動の楽しさや大切さをあらためて実感できたひとときとなりました。

地区大会会場で 芸術祭開催

第二五九〇地区

神奈川県

地区内会員の美術作品を披露し親睦を深める目的で、十一月八日、パシフィコ横浜会議センター内で行われた地区大会の会場内で「第一回ロータリアン芸術祭」を開催しました。

この企画はすでに第二七九〇地区（千葉県）で行われている芸術祭を参考に、「第二五九〇地区ロータリアンの美術親睦活動グループ」が中心となって呼びかけ、大野清一ガバナ

ーをはじめ地区大会実行委員会の全面的な協力で開催されたものです。

七月から各クラブに募集したところ、会員本人はもとより夫人など家族の作品、会員の友人であるタンザニアの画家の作品など、多彩に集まりました。

当日、展示コーナーには大勢が訪れ、興味を持つ会員はもちろん、地区内初の試みとあって、普段は興味を示さない会員も熱心に鑑賞し、出展した本人から作品の解説などを直接聞くなど、そこかしこで会話の輪が広がっていました。

今回は平面作品だけでしたが、「次回には刺しゅうや、陶器など立体の作品も展示できるよう検討してください」との要望もあり、クラブの垣根を越えて、趣味の同好の士の輪が広



地区大会の会場にロータリアンらの作品を展示

Annotation

米山奨学生

ロータリー日本国内全地区合同プロジェクトである、米山記念奨学事業の奨学金を受けている学生のことで、対象は日本で学ぶ外国人留学生で、世界一二三の国・地域から累計一万八〇〇人以上を支援してきました。各奨学生には世話クラブが選ばれ、会員の一人がカウンセラーとなって対応します。米山奨学生はロータリーを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来、国際平和に貢献する人となるよう期待されています。

インターアクトクラブ

(Interact Club)

学校や地域社会での課題に取り組むために結束する二一〜一八歳の青少年のため、ロータリークラブが提唱するクラブです。詳細は「二〇一三年手続要覧」七一ページをご覧ください。

パシフィックベイスングループ
(Pacific Basin Group)

国際ロータリー第二七五〇地区を東京都とともに構成する地域で、北マリアナ諸島、グアム、ミクロネシア、パラオを含みます。同グループ内には現在、Eクラブを含む九クラブがあります。

がり、ますます親睦が深まることを願っています。

(横浜旭RC 五十嵐正・記)



大きな掛け声とともに餅つき

と協力し、途中で学園生の皆さんが交代で少しずつ体験します。そのときの掛け声や笑い声で学園内は大騒ぎ。お昼までにおよそ三〇臼がつきあがり、一部をお雑煮にして昼食にいただきました。

この施設は今年、場所を移転し新築されるそうですが、次回の餅つきの約束をし、学園を後にしました。

(水野昭人・記)

職場訪問 世界を魅了する酒蔵へ

新潟南ロータリークラブ

第二五六〇地区 新潟県

当クラブには造酒屋を営む会員が二人おります。そのうちの(株)北雪酒造で、一〇月一八日に職場訪問

を実施しました。新潟港から高速船で佐渡まで一時間、さらに佐渡両津港から車で一時間の赤泊地区に酒蔵があります。

酒造りのモットーは佐渡の米、水、風土、人へのこだわり。そしてユニークだったのは超音波熟成酒と音楽酒でした。かつて北前船の航海中に、波で揺れた酒がおいしくなっていたということをヒントに、超音波熟成酒を考案したそうです。また、一九八九年から貯蔵庫の酒に音楽を聞かせるようになり、これが音楽酒。

このように北雪酒造は伝統と熟練の技を受け継ぐ一方で、ユニークなアイデアも取り入れていました。

温度管理された部屋にぎつりと酒が並ぶ光景は見事でした。海外にも酒を輸出し、アメリカの俳優、ロ



日本酒の製造過程を見学

バート・デ・ニーロ氏が愛飲しており、実際に酒蔵へも訪ねてきたとのこと。世界のセレブを魅了する有名レストランでも飲まれ、まさに日本を代表する酒蔵の見学でした。

その後は佐渡の八幡温泉八幡館にて昼食休憩。ここは佐渡南ロータリークラブの例会会場でもあり、同クラブの会員も昼食に同席し、わずかな時間でしたが、有意義な交流ができました。(『友』二〇一五年二月号横組み九ページに関連記事)

米山奨学生と 初釜を楽しむ

宇部西ロータリークラブ

第二七二〇地区 山口県

わがクラブでは「お茶を楽しむ会」という同好会があります。この会ではお茶を通して会員相互の親睦を図ることを旨として、年に一回程度、茶会を開催しています。

今回は一月一〜二日、当クラブ会員の茶室で新春をことほぐ初釜を楽しみました。参加者はイラン出身の米山奨学生エブラヒミ・マジッドさんを含め総勢二三人でした。

マジッドさんはお抹茶を飲んだことはあるようですが、狭い茶室は初めてで、温めた餅に甘いみそを添え



イラン出身の米山奨学生を招いて茶会

た「珠光餅」という大変素朴なお菓子もペロリとたいらげ、新春の一品のお茶を堪能しているようでした。

また、茶会の道具の中にペルシャ陶器があり、彼は日本の伝統的な茶道の中に自分たちの国の物が使われていることに少々驚くと同時に、喜んでいました。

こんな小さなことがロータリーの提唱する国際交流の推進の一助となるのではないのでしょうか。

年末恒例の 寒風餅つき大会を開催

中村ロータリークラブ

第二六七〇地区 高知県

当クラブは十数年前から年末に福祉施設を訪問し、餅つき大会を開催



会員が参加者たちの席を回って交流

カスし、実体験を通した熱き思いを参加者に感じてもらうことが狙いで、当クラブ版「情熱大陸」を目指している。

一人暮らしの高齢者に 楽しい時間を

糸魚川ロータリークラブ

第二五六〇地区 新潟県

クラブでは約二〇年前から、糸魚川市社会福祉協議会主催の「一人暮らし高齢者昼食招待会」を支援しています。この会は一人暮らしの高齢者に、食事をしながらおしゃべりをして元気になってもらうというもの。今回は一〇月二八日に開催され、約二二〇人が集まりました。

この昼食会の中で、特に人気があ

るのは会員たちが賞品を持ち寄って行う、クラブ主催のお楽しみ抽選会です。今年度も会員の協力により、たくさん賞品が集まり、くじを引く佐藤元春会長と当選番号を読み上げる猪又一義幹事には、参加者の熱い視線が向けられました。

その後、地元の「藤間会」による日本舞踊のアトラクションがあり、給食ボランティア「エプロンの会」による手作り弁当と郷土料理のおぼろ汁が振る舞われました。ここでもクラブのたすきを掛けた会員が配膳に大活躍。その後、参加者に加わり、談笑しながら食事をしました。

毎年この会を楽しみにしている参加者も多くいると聞きます。これからも地域のつながりを大切にしたい活動が続けていきたいと思います。

(小田島修平・記)

地域の伝統文化を支えて

一宮北ロータリークラブ

第二七六〇地区 愛知県

一月七日、当クラブがスポンサーである一宮中央ロータリークラブの皆さんにも出席してもらい、「島文楽」を鑑賞し、親睦を兼ねた合同例会を行いました。



地域の伝統芸能・島文楽を鑑賞して

一宮市の無形民俗文化財に指定されている「島文楽」は江戸末期、庶民文化の熟成の中で日本独特の民族性、芸術性の高い人形芝居として生まれ、民衆に愛されてきました。一八六七（慶應三）年、地域の農家の人たちが人形を買い受け、農閑期を利用して練習に励みながら、明治から大正、昭和へと伝承・保存し、今日では「島デコ」などの愛称で親しまれる伝統文化となりました。

二〇〇五年、愛知県を代表して大阪の国立文楽劇場で公演を行い、二〇一〇年、上海万博の日本館では愛知ウィークで人形浄瑠璃を披露し、喝采を受けました。毎年八月には、島文楽保存会が地元の小学生を対象に、親子文楽教室を開いています。夏休みの楽しい思い出とともに

「島文楽」に興味を持ち、保存員となって次世代に継承してくれるよう期待を込めて活動が続けています。地域伝統文化の継承保存を支援していくことは、ロータリーとしても意義のある奉仕と考えています。

(渡辺元男・記)

餅つきボランティア

音別ロータリークラブ

第二五〇〇地区 北海道

「ヨイシヨ、ヨイシヨ、もういつちよう！ よーし、ラストー」。大きな掛け声と、ペタン、ペタンとお餅をつく音が学園内に響きわたります。

一月二二日（社福）音別憩いの郷の恒例となっている「餅つき」にボランティアで参加しました。

近年、お餅をつく音と掛け声が聞かれることも少なくなりました。案になった半面、寂しい年の瀬を迎えるところが多くなっているこのごろですが、このボランティアを始めてからほぼ二〇年となりました。

朝、同法人の運営する、障がい者支援施設「おんべつ学園」に会員が集合。開会式であいさつし、寄付を渡してから餅つきの開始です。こねると、つきはじめと仕上げは職員

られることも。最初は緊張していた声も、終わるころにはなめらかに出るようになりました。人助けをするつもりが、大勢の人に支えられていることを体感しました。募金活動をしたつもりが、何か大きなものをいただいたような感じがしています。

(梶浦泰矢・記)

奉仕のつどい開催

第二七五〇地区

東京都

地区では一月一八日、港区赤坂区民センターで「奉仕プログラム情報交換会」奉仕のつどいを開催。パシフィックベイスングループを含む地区内全クラブに呼びかけたところ、ほとんどのクラブが参加し、奉仕活動の重要性、関心の高さの表れを実感しました。

最初に坂本俊雄ガバナーが「この情報交換会でお互いが実施している奉仕への理解を深め、一層活発に行われることを期待する」と述べ、さらに「奉仕プログラム委員会が開催に当たり周到に企画し、準備されたことに心から感謝したい」とのねぎらいの言葉がありました。続いて大日方真奉仕プログラム委員長は「情



地区内の奉仕プロジェクトの情報を交換

報を共有し、奉仕に献身する喜びを確認し合う日にした」と述べ、プログラムを進めました。

まず、地域社会奉仕プログラムの事例紹介として三クラブが発表。職業奉仕委員会がバネルディスカッションを開いて休憩に入り、続いて国際奉仕プログラムから三つの事例が紹介されました。国際親善委員会からは日韓親善に関する発表。また、「ロータリーデー」として実施した港区民まつりでのイベントを、千代田グループが発表。さらに、環境改善委員会からの事例紹介もありました。後半には服部陽子国際奉仕委員長から合同奉仕の呼びかけ、奉仕プログラム委員の海老澤秀幸氏と沢野次郎氏から奉仕プログラム調査の分析の発表があるなど、盛りだくさんの

プログラムが終了。水野功ガバナーエレクトが「大変意義深く、また奉仕活動の関心の高さがうかがえるものであった」と講評があり、幕を閉じました。

(東京赤坂RC 橋本年男・記)

第一回こころの講演会 希望の風を送る！

行田ロータリークラブ

第二五七〇地区 埼玉県

今年度の重点事業である全三回シリーズの「こころの講演会」の第一回を、一月一五日、行田市商工センターで開催した。

講師は八木原保氏で演題は「郷土出身、原宿をファッションのまちに変えた男！」。当事業は東日本大震災遺児教育支援「ロータリー希望の風プロジェクト」への支援の一助として、昨年度に引き続き市民向け公開講演会として開いたもので、約二二〇人が会場を訪れた。

八木原氏は地元の高校を卒業後、縁故により行田から東京・日本橋の繊維会社に就職し、幾多の苦難を経て、一念発起して原宿で起業。当時は日本橋かいわいが服飾文化の拠点であったころ、何もなかった原宿にいち早く着眼。ニットメーカーとし

て地道に努力を重ねる一方、欧米の服飾文化を常に先取りする先見性をもつて、山の手エリアの中核服飾企業にまで成長させた。今でこそ定番となった「若者のまち原宿」「世界の原宿」の育ての親である。

その堅実で一生懸命な姿勢・企業家精神は、郷土出身の一人の男の熱き体験談として、多くの聴衆に元氣、優しさ、共生の心を与えてくれた。閉会時には、現役モデルも参加した握手タイムとともに募金をお願いし、参加者から八万円を超える寄付をいただいた。

なお、二回目以降はJリーグ・ジエフユナイテッド市原の重鎮・清雲栄純氏、写真家・横塚眞己氏が登壇する。今回の企画は、その世界で一隅を照らす地道な活動家にフォー

第1回 こころの講演会

郷土出身、原宿をファッションのまちに変

講師：八木原 保氏



地元出身の八木原保氏が講演

り主催するなど、同協会の活動を支援しています。少子化と福島第一原発の事故による避難で各リーグとも選手が減少しており、厳しいリーグ運営に少しでもゆとりをもたせようと、当地区の地区復興補助金の支援を受けて実施しました。

贈呈式は例会の席上で、会員約四〇人を前に行いました。当日、クラブ公式訪問で出席した野崎潔ガバナールから同協会の内山清理理事長に目録を手渡してもらいました。同協会からは、鈴木清事務局長と福島リトルリーグ主将の西脇空也君（福島市立福島第二小学校六年）にも出席してもらいました。

内山理事長からは当クラブの高橋勇雄会長に感謝状が送られ、お礼の言葉がありました。また、西脇君からは「みんなで全国大会を目指します」と力強い決意が伝えられ、贈呈式を終えました。

（吉田仁一・記）

学童と社会人野球 チームの交流野球教室

八日市南ロータリークラブ

第二六五〇地区 滋賀県

当クラブは学童軟式野球大会を通じて、青少年育成の活動を行っています。



指導を受ける少年野球の選手たち

す。十一月三〇日には県下唯一の社会人野球チーム・カナフレックス硬式野球チームの協力を得て「野球教室」を開催しました。学童は一〇〇人以上が参加し、カナフレックスの監督やコーチ、選手一五人から指導を受けました。

はじめに、当クラブの喜多良道会長から「今日はいつもと違う何かに気づいて帰ってください」とあいさつがあり、元南海ホークスの選手で、カナフレックス監督の河埜敬幸氏からは「私たちも教えることが勉強になりますから、何でも聞いて選手を困らせてください」と言っていたきました。

学童には、チームの枠を外し、各人のポジションに分かれた指導を受けてもらいました。普段触れること

のない大人の野球チームの話や動きに目を輝かせながら、すぐに選手と打ち解け楽しそうに指導を受けていました。

夕方になるころには学童たちの技術が明らかに上がり、声も見違えるほど出るようになり、積極性が段違いに増したと実感させられました。

最後に、河埜監督が学童たちに「道具を大切にすること」「きちっとした気持ちでスポーツすること」について話されました。まさに技術と精神の両面による指導に感動し、心が洗われたような、すがすがしい気分になりました。

今後このような活動を継続しながら、青少年の育成とともに、私たちロータリアンも成長していきたいと率直に感じました。

赤い羽根共同募金に コスプレで協力

名古屋インターアクトクラブ

第二七六〇地区 愛知県

当クラブと名古屋市熱田区社会福祉協議会、熱田区共同募金委員会が主催し、十一月八日にイオンモール熱田で赤い羽根共同募金活動を実施しました。

私たちの活動は一風変わっています。

す。コスプレで活動するのです。前年度の実績が大きかったということで、満を持しての二回目。今回は春日丘高校インターアクトクラブ（IAC）、豊田工業高等専門学校（IAC）も加わり、総勢二九人の大人数で臨みました。

コスプレはこれが初めて、という人がほとんどにもかかわらず、気分は盛り上がり、いつもの募金活動とは異なったテンションで活動しました。活動は一時間ほどでしたが、大勢の家族連れを中心に、皆さんの温かいお気持ちをいただくことができました。



お気に入りのキャラクターを見つけて募金

養護学校の子どもたちと音楽鑑賞会

伊勢原平成ロータリークラブ
第二七八〇地区 神奈川県

当クラブでは長期目標に「養護学校支援事業」を掲げ、これまで県立伊勢原養護学校に通う子どもたちとの関わりを段階的に進めてきました。二〇一二年にはクリスマス例会に子どもたちを招いて、一緒に餅つきをして楽しみました。一三年は養護学校の文化祭に協力する形でボウリングや的当てなどのゲームコーナーを作り、子どもたちに楽しんでもらいました。

そして昨年は一月八日、当クラブ主催で音楽鑑賞会「みんなの音楽



元気の歌声が響いた音楽会

会」を開きました。本物の音楽に触れてもらうことで、豊かな感性を育んでもらいたいという思いから、地区補助金を活用し実施に至りました。最初はざわついていた子どもたちも次第に聞き入り、終盤は校歌、「手のひらを太陽に」、映画「アナと雪の女王」の曲に合わせて皆で合唱し、とても元気の歌声を聞かせてくれました。伊勢原市のイメージキャラクター、クルリンも登場し、子どもたちと一緒に楽しみました。

開催にあたり一般市民に観覧を呼び掛け、来場してもらうことで、養護学校への理解を深めてもらうことができたと思います。今後はこの会を参考にしつつ、学校側とも連携を取りながら、より意義のある楽しいイベントにしたいと考えています。アンケート調査の結果、八〇％以上を占めた「次回も音楽鑑賞会をやってほしい」という声に応えるために。

(長倉博保・記)

児童養護施設の子どもと七五三参り

大阪帝塚山ロータリークラブ

第二六六〇地区 大阪府

一月八日、児童養護施設・四恩学園で今年五歳になる子どもたちと



七五三参りに訪れた子どもたち

「大阪の住吉さん」の愛称で知られる住吉大社に七五三参りに行きました。

当日は天候にも恵まれ、住吉大社には多くの七五三参拝者でにぎわっていました。子どもたちと住吉大社太鼓橋（反橋）前で合流し、当クラブ会員である高井道弘宮司に迎えられ、男の子はスーツ姿、女の子は着物に草履姿で、半円状に反っている急こう配の太鼓橋を、慣れない服装に緊張した面持ちで渡り、神楽殿にて七五三神事を行いました。

同学園はさまざまな理由で、保護者が養育できない子どもを家庭に代わって育てています。今まで無事に成長してきたことを祝い、子どもたちの未来が輝かしいものになるよう願って、同学園の先生方と会員でお

参りをさせていただきました。
秋のすがすがしいお天気の中、子どもたちの屈託のない笑顔に触れ、われわれ会員も奉仕活動の喜びを感じると同時に、子どもたちから元気をもらった一日でした。

(中嶋神治・記)

地元リトルリーグに硬式球をプレゼント

福島南ロータリークラブ

第二五三〇地区 福島県

クラブは一月二日、福島県リトルリーグ野球協会に硬式球一〇〇ダースを贈呈しました。

クラブでは福島と宮城、山形の三県から選手が集まる「大声杯」リトルリーグ野球大会を一七年间にわた



リーグ運営を支援するため硬式球を寄贈

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに地区の活動を紹介、600字以内。関連写真があれば添付してください。

「自然の玉手箱」開催 二〇〇回記念植樹

岡谷エコーロータリークラブ

第二六〇〇地区 長野県

「地球のために何かをしたい」を永遠の標語として掲げる当クラブでは、地域の子どもたちと一緒に自然や歴史を学ぼうと、一九九七年から自然学習教室「自然の玉手箱」の事業を始めました。

二〇〇二年からは岡谷市立川岸小学校の児童を対象に年一二回、植物、動物、昆虫、地理、郷土の歴史などに関するさまざまな体験学習を行ってきました。

その「自然の玉手箱」が昨年一月一五日の開催で二〇〇回の節目を迎え、当日、記念事業として川岸小学校の校内にギンドロ（別名ウラジ

ロハコヤナギ）を植樹することになりました。

かつて川岸小学校には立派なギンドロの木があり、「自然の玉手箱」の開始当初は「ギンドロクラブ」として学習教室の名前にも使用されるなど、学校のシンボルツリーとして親しまれていましたが、諸事情により伐採されてしまったため、これを機に復活させようということになったのです。

当日はクラブ関係者をはじめ、学校関係者、今年度の参加児童二三人の手によって植樹しました。その後、参加児童全員と学校、保護者の代表から、主催者である当クラブと、特に一八年間講師を務め続けてきた横山章会員に対して、心のこもった感



ギンドロを復活させるために植樹

謝の言葉をいただきました。

一口に「一八年間二〇〇回」といっても、毎年、毎月開催し続けることは並大抵のことではなく、諸先輩方が積み重ねてきた努力の偉大さと、この事業を継続してきたことの意義をあらためて確認することができた記念事業となりました。

(藤森一俊・記)

小学生の座禅体験

輪島ロータリークラブ

第二六一〇地区 石川県

一〇月七日、輪島市内の總持寺（そうしじ）で、市立鳳至小学校四年生五六人が参加し、作務（清掃などの作業）や座禅を体験した後、食事の用意を手伝い、当クラブ会員と一緒においしくいただいた。

雲水（修行僧）の方から作務は修行の一環であると聞き、汗ばみながら清掃に励んだ。その後、法堂で禅の心を教わり、参加者はみんな神妙な顔で聞き、貴重な体験をした。

昼食では雲水の方が食の尊さ、命の尊さを丁寧に説いてくださり、食事の前に唱える「五観の偈（ごかんのかい）」を唱和。どうしても残ってしまった食べ

物は、食べられる人に譲るといった心を身につけた。

当日は、当クラブがお世話する中国出身の米山奨学生・陳勝君（チンショウ）、白山ロータリークラブがお世話する台湾出身の米山奨学生・江存孝君（コウソンコウ）も参加しており、昼食後はこの二人を中心に二つのグループに分かれ、児童との間でそれぞれの故郷についての質問などが楽しく交わされた。

別れ際には、児童から感謝の言葉が述べられた。当クラブが青少年育成プログラムとしてこの取り組みを始めて三回目となったが、児童の一人からの「今日は楽しかったあー」という声を聞いて、また次年度も行うと心に決めた。

(松岡恵水・記)



座禅に挑戦する小学生と会員

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



好評、チャリティー・カレンダー市 〈七飯RC〉
10回目の「チャリティー・カレンダー市」を開催。家庭で不要なカレンダーや手帳を会員が収集し、三嶋神社（七飯町）でのごんど焼き祭りの日に安価で販売。その収益金を全額、七飯町社会福祉協議会に寄付している。大変寒い中、会員、会員家族、七飯高校ボランティア局の計28人で準備し、販売した。地域住民がカレンダー市を楽しみにしており、今後も継続する予定。
(1月7日 第2510地区 北海道)

駅前への電波時計設置とごみ拾い 〈奈良西RC〉
クラブ創立45周年記念事業で、クラブ所在地の最寄り駅でもある近鉄奈良線富雄駅の東口ロータリーに電波時計を設置し、奈良市に寄贈。創立35周年時に記念事業として隣の学園前駅の南口ロータリーに同様に電波時計を設置しているところ、利用者から重宝しているとの声を耳にし、今回、市の協力も得て設置した。除幕式当日は、奈良県立高円高校の生徒も参加して、社会奉仕活動として駅前広場と駅周辺のごみ拾いを行った。
(12月13日 第2650地区 奈良県)



ROTARY AT WORK

ランブリング同好会、島原街道に挑戦

〈諫早RC〉

諫早RCランブリング同好会（2014年8月号横組みP13参照）が「第3回島原街道ランブリング」を実施。午前8時20分、島原鉄道西郷駅を16人で出発し、有明海沿いの松林、神代小路（こうじろくうじ）の武家屋敷を歩く。薄曇りの中、霧掛かった雲仙普賢岳を眺めながら、有明海を望む土黒（ひじくろ）を通過。旧多比良村、湯江村の古い町並みを通り、11時20分、大三東駅に到着した。本日の歩き11km。その後神代に戻り、旅館でちゃんぽん鍋を囲み、大いに盛り上がった。
(1月25日 第2740地区 長崎県)



福祉施設のクリスマス会に参加

〈高松東RC〉

障がい者の生活介護・就労継続支援施設「あゆみ園」のクリスマス会に参加。同園では前年に続き2度目の奉仕活動となったが、今回はクラブからショートケーキをプレゼント。また、会長と幹事がサンタクロースに扮して登場、クリスマス会を盛り上げた。元気で生き生きとしている入所者たちに、会員たちは逆に生きる力をもらったように思えた。
(12月16日 第2670地区 香川県)

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真（集合写真）は掲載できません。

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



**クラブ創立50周年記念
学童野球教室** 〈別府北RC〉

クラブ創立50周年記念事業として、プロ野球・福岡ソフトバンクホークスの今宮健太選手（別府市出身）を招き、別府市民球場で学童野球教室を実施。市内の野球連盟に所属する15チーム約260人の小学生が約3時間にわたり、郷土が生んだ一流選手の技を学んだ。今宮選手は自らノックをして熱心に指導し、フリーバッティングでは投手としてプロの技を伝えた。浜田博別府市長も参加、多くの報道機関も取材に訪れた。

（1月4日 第2720地区 大分県）



20年来の韓国姉妹クラブを訪問 〈本荘RC〉

韓国の金海伽倻RCと20年、友好姉妹クラブとして交流を重ねている。本荘RCからは毎年、金海伽倻RCからは3〜5年に一度訪問し合い、近年は協同事業も行っている。今回は会員6人が訪問。通常は例会参加やミーティングが主だが、今回は2クラブ計15人でミーティングを行い意見交換を行ったほか、釜山観光もするなど、親睦を深めた。反日感情など根深い問題もあるが、夜の懇親会では酒量とともに、これまでの以上の友情が育まれた。

（11月21〜24日 第2540地区 秋田県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

被災した子どもの心を読書で豊かに

〈福知山RC〉

2014年8月の豪雨で京都府福知山地方は被災し、クラブでも3分の1の会員が浸水被害で日常生活や業務に支障が出た。学校や公園も被害を受け、数か月が経過しても運動場や公園が満足に使えず、遊び場に不自由している子どもも多くいた。被災した子どもたちに豊かな心で元気に過ごしてほしいとの思いから、福知山市立図書館に「ロータリー文庫」として、児童図書430冊と、視覚障がい者用タブレット型情報端末3台を寄贈した。

（11月27日 第2650地区 京都府）



東分区分ロータリーバンド 結成！

〈第2580地区東分区分〉

東分区分1Mの懇親会で、ホストクラブの東京江戸川中央RCがイベントとして、分区分のロータリーアンによるバンド演奏を企画。7月に募集したところ、15クラブ中7クラブから9人の参加希望があり「東分区分ロータリーバンド」が結成された。8月からスタジオで練習を重ねること10回、初対面のメンバーもすっかり仲良しに。さらに当日は東京江戸川中央RCの夫人グループが歌と踊りで参加、最後は全員の合唱で盛り上がった。自前のバンドにつき、イベント予算の余剰分を「ロータリー希望の風奨学金」に寄付した。

（11月6日 東京都）





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

こころのプロジェクト 「ユメセン」実施

八千代・八千代中央ロータリークラブ
第2790地区 千葉県

八千代ロータリークラブ（RC）と八千代中央RCが協同で、ロータリー財団の地区補助金を活用し、日本サッカー協会（JFA）による「JFAこころのプロジェクト ユメセン（夢先生）」を実施しました。

このプロジェクトは小学校5年生を対象とし、主にスポーツ界を代表する選手や元選手、関係者が「夢先生」となって授業をします。夢先生が「目標を持って頑張ったが何回も挫折した」といった体験話をするこゝとで、夢を持ち、その夢に向かって努力することの大切さを児童に伝えていきます。

昨年12月4日は八千代市立米本南小学校、村上北小学校で元バレーボール日本代表の山本隆弘氏、今年1月20・21日は高津小学校で元プロ野球選手の古木克明氏（写真）が授業を行い、夢を果たせたのは、夢を諦めない心を持ち続けてきたことや、応援してくれた周囲の人々のおかげであり、感謝する心、仲間や人とのつながりが大切だということを、それぞれが繰り返し、熱い心で伝えました。

授業は大変好評で、市発行の広報紙『広報やちよ』や朝日新聞、地方新聞に掲載されました。また参観した市の教育委員会からは「素晴らしい授業をロータリークラブから支援していただき大変ありがたい。特に『ユメセン』授業のスタッフや夢先生の児童への接し方に、教員と児童が日常で良い触れ合いをする上で多くの示唆があり、今後の教育に生かせるのでは」との講評をいただきました。（八千代RC／杉 晟・記）

枝折戸を開けて身内の年始客

千葉・富里 寒郡 政雄

元日の雪にはじまる怒涛かな

東京日本橋東 廣瀬 嘉夫

紅をさす百寿の母の初鏡

東京西南 菊池 恭三

窓越しの幸せ貰ふ日向ぼこ

東京荒川 井上 一郎

去年今年変らぬ故郷道遠し

東京東江戸川 塚田 俊夫

金閣寺雪のあしたとなりけり

東京蒲田 阪田 悦子

一服の茶に癒されて三ヶ日

愛知・碧南 杉浦 保子

腕白も神妙に受くお年玉

三重・名張 城山 勝紀

壁よりも白し大根干しにけり

岐阜長良川 井戸 豊彦

柗の花のこぼるる裏鬼門

富山南 升田 義次

病室の小さき窓にも花野あり

奈良 寺田眞佐子

友の通夜果て天心に寒の月

大阪北 吉田 邦男

灯台の灯のぼんやりと日脚伸ぶ

福岡城南 吉武 草徑

振出しに戻る会議や日短

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

音合せて初春の舞台かな

埼玉・日高 落合 好雄

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

保護司歴三十六年救ひしと

千葉・市川 照井 親資

思ひし人に救はれて来ぬ

群馬・前橋西 花井 博将

泥つきの大根二本下げ帰る

群馬・前橋西 花井 博将

散歩のコース次は変えよう

岐阜長良川 井戸 豊彦

午前五時四十六分今もなほ

兵庫・甲子園 田中 由子

からだ覚えある地震かな

京都西南 池田 敏子

初春の雪降る街は白一色

石川・金沢百万石 石丸 恭子

信号一つ赤く点灯れり

年毎に増える白鳥賑わいて

出店の声も一際高し

群馬・館林 新井 進

薬師寺の林に鳴けるシヨウビタキ

われに気付きて番いで飛び

経営はこころ安らぐことのなし

解雇の刃を振ふ悲しみ

今朝も五時に貨物列車が走りすぎる

音が聞こえて一日のはじまり

祖父母らの楠原村の家に庭に

粉雪舞うや新春の朝

福岡イブニング 守田 則一

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

自転する地球の上の観覧車

群馬・前橋西 花井 博将

会津の地豪雪あつて春樂し

福島・会津坂下 鈴木 義一

一生涯今が一番若い時

群馬・伊勢崎 秋山 春海

ひよつとして君ひとりでもいく気かよ

古希過ぎて二人っきりの箸の音

点鐘が夢の中でも鳴り響く

平和の種誰にもあるが水やらす

きみまろの話す言葉に異議はなし

恋人と間違えられて母笑顔

安全だボケた振りして金出さぬ

三本矢与一不在でどこへ行く

恋せよと神のお告げでその氣です

ドラッグに魔界が潜む化学式

篝火を手向け悼みし義士の郷

七草を何度もおかわり胃にもたれ

血圧を上げる娘と下げる孫

鳥取 塩 宏

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人一枚に三句まで ◆締切日 二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



稲畑汀子



老犬と今年も踏めた霜柱

千葉・市川東 長島 洋三

毎日のように朝の散歩に出る習慣のある作者。その時、必ず飼い犬を連れて行く。それは犬の散歩と称して、犬の健康にもよく、作者自身の健康にもなるのである。

霜の降りた寒い朝、ふと散歩に出るのを作者は遼巡（しゅんじゅん）したのかもしれない。飼い犬も年を取ったが、今年も霜柱を踏んで、老犬と散歩ができた喜びが伝わってくる秀句。

往診の白衣を染める初茜

山梨・甲府西 太田 道夫

医者という仕事は大変である。特に、年末年始、夜中、早朝などを問わず病人のもとに駆けつけて、処置をしなければならぬのである。作者は大晦日（おおみそか）に依頼を受けて、病人のもとに駆けつけた。とうとう一晩中側に付き添ってしまった大晦日から、新年への様子が想像される。「白衣を染める初茜」という表現の中に、真摯（しんし）な医師の姿が語られ、われわれ庶民の感謝の気持ちを伝えた秀句。

小寒の夜半亡き妻とふと語る

千葉・市川 照井 親資

鳩が来て犬が来てをり日向ぼこ

神奈川・茅ヶ崎 清水 賢一

大本営跡地と知らず露の旅

京都・福知山 松山ひとし



佐佐木幸綱



目の手術終えて見上げる名月の月
月は月でも格別の月

神奈川・相模原 佐藤 清一

目の手術が成功して、視界がクリアになった感動である。「月」という語を一首に四つも入れて感動の深さを表現している。読者にも、その喜びが伝わってくる一首である。

どんな手術か、この歌からは分からないが、よく聞くのは、白内障の手術をして、視界のにがりがきれいにとれて、すべてが新鮮にみえるようになったという話。この歌の月は、その話を思い出させる。

ねごろ寺は耳には同じ寺なれど

和歌山は来る（根来寺）、香川は香る（根香寺）

香川・高松 平峯 千春

作者の葉書には、歌のほかに注記があった。白峰寺（八十一番札所）の次は根来寺（八十二番札所）という看板があつて、「……あらあらと思ひました」という注記である。つまり、香川県の根香寺を誤記している看板を見つけた、というのである。

こういう言葉面白がる短歌、名称を面白がる短歌は、古典にもたくさんあり、その伝統をうけつぐ作と読む。



てじま晩秋



ポケットの温みは母の忘れもの

大阪西 鴨谷留美子

なんとも「素敵な」作品です。お母さんを尊敬されているお気持ちが伝わってきます。本当に母親は有難いです。鴨谷さんのお心は、きっと子どもさんが継続してくれるでしょう。

治ったね 実はお薬飲んでない

福岡イブニング 守田 則一

この句の作者は、現職の開業医です。その方が詠まれた作品ゆえ味があります。診察室での患者さんとのやりとりの様子が目に浮かびます。これが「川柳の面白さ」なのです。

負けないわ 私の武器はペンと本

北海道・斜里 辻 舒宏

昨年のノーベル平和賞のパキスタンのマラーさんの勇気には、感動しました。女子教育の権利を訴え、平和を願う少女の悲痛な声を世界中が、応援しなくては！ 辻さんの強い思いでしょう。

何げない奉仕が今日の幸を生み

埼玉・川越 小川 正夫

「近ごろの若い者は」——昔から続く、高齢者の口癖ですが、昨冬、当地を襲った大豪雪に押しつぶされた車庫、ビニールハウスの片付けなどに、懸命な活動をしている若者の皆さんを見て、地元の人たちはただ、感謝で手を合わせていました。

交官の各地の捕虜収容所の視察報告でも「ここだけは例外だ、捕虜たちの顔色が違う」と言わしめたほど松江氏の捕虜への人間的処遇は際立っていました。

収容所では文化活動が行われ、複数の楽団および合唱団が毎月演奏会を行っていました。近くに住む日本人向けにも演奏会を開き、交流を深めていました。

板東捕虜収容所での『第九』の日本初演は、ヘルマン・ハンゼン指揮の徳島オーケストラの第二回シンフォニーコンサートで全曲演奏されました。合唱は男性合唱だけ。『第九』以外にも、『運命』で知られる『交響曲第五番』など、日本初演と言われる演奏を多数行っています。楽器は、青島から携えてきたものの他、援助団体からの援助品、捕虜の手作りのものまで、苦心の末調えたようです。

板東捕虜収容所によって、板東の町は、ドイツ人の持つ優れた技術や文化を吸収する好機となりました。さまざまな分野で西洋文明が花開き、日本人とドイツ人捕虜という垣根を越えた友情や交流が芽生えることとなりました。

(第二六八〇地区・兵庫県・西宮恵美寿RCにて、同RC会員)

※参考文献 林啓介『『第九』の里 ドイツ村』井上書房、一九九三年

自転車乗車のためのルール

西村歯科診療所 所長 西村 元秀

自転車は車両の一種ですから、道路交通法に定められているルールを守らなければいけません。歩道と車道の区別のある道路では、車道の左側端を走るのが原則ですが、自転車の歩道通行を許可している標識や表示がなされている所は歩道通行ができます。

路側帯には、路側帯、駐停車禁止路側帯、歩行者専用路側帯と、三種の種類があります。自転車は路側帯を通行することができませんが、このうち、歩行者専用路側帯だけは、通行することができます。自転車は通行することができません。自転車は通行することができません。路側帯内であっても、歩行者の通行の妨げとなる場合は通れません。路側帯内でも双方方向に通行することはできません。

道路交通法が改正され、自転車などの軽車両が通行できる路側帯は、進行方向に向かって道路の左側部分に設けられた路側帯に限ることとされました。これにより、路側帯内での自転車同士の接触事

故が減る、車の通行と自転車の通行が同じ方向になるため、出合い頭の接触事故が減ることが見込まれます。路側帯で自転車が右側通行した場合は、通行区分違反として、三か月以下の懲役または五万円以下の罰金が科せられます。

路側帯とよく似たものに車道外側線があります。歩道がない道路に引かれた白の実線の外側は路側帯ですが、歩道がある道路に引かれた白の実線は、車道外側線になります。見た目は同じですが、意味が異なります。車道外側線は、「車両が通行するときに、端に寄り過ぎると危ないからこの線の右側を通過してくださいね」という目安です。自転車は車道外側線と歩道の間は通行できますが、進行方向左側しか通行できません。

例外として、「道路標識や道路標示で指定された場合」や「運転者が一三歳未満の子ども、七〇歳以上の高齢者、身体の不自由な方の場合」「車道や交通の状況から見てもやむを得ない場合」は、自転車は歩道を通行できます。ただし、自転車道が設けられている道路では、やむを得ない場合を除き、自転車道を通行しなければなりません。

(第二六四〇地区大阪府堺市東区RCにて同RC会員)

卓

話

の

泉

■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

一〇〇年続く企業の秘密

百五経済研究所

山口祐佳里

日本は長寿企業が多いと言われます。長寿企業研究の第一人者、日本経済大学後藤俊夫教授によると、創業一〇〇年以上の企業は五万社以上、二〇〇年以上の企業に限っても約四〇〇〇社あると言われ、第二位のドイツ（一八五〇社）を引き離して世界一です。

三重県内の一〇〇年企業に実施したアンケート調査（二〇一三年）によると、九割が親族が先代から経営を引き継いでいます。調査では、約七割が大切にしている言葉（経営・理念・行動指針など）があることがわかりました。「紙などに

記して掲示している」四八・二割、「社長自ら言葉の意味について話している」四四・六割と、企業理念など、言葉を意識させる工夫をしています。

先代経営者からの事業の引き継ぎ方は「他社で修行した後、自社で経営幹部となり業務経験を積んだ」が三二・五割、次いで「他社で修行した後、自社で一般社員から業務経験を積んだ」二七・三割と、他社での経験のある経営者が約六割を占めました。

一〇〇年企業が考える「今後、生き残る上で重要なこと」は、「信頼の維持・向上」六八・八割。次いで「従業員教育」三七・七割、「新たな販路拡大」三一・二割でした。一〇〇年企業は決して、古い慣習にとらわれた同じ経営をしてきているわけではありません。幾度となくあった困難を乗り越えながら、変化に強い企業へと成長させてきました。

「一〇〇年以上事業を継続できた一番の要因」の自由記述には「顧客・地域を大切に」「信頼」「誠実」「勤勉」「三方よし」など日本の商人らしい言葉が並び、こうした考え方が脈々と受け継がれてきていることが想像できます。

（第三六三〇地区・三重県・津RCにて）

第九の初演

浜田歯科医院 院長 浜田伸二郎

ベートーベンの『交響曲第九番』（第九）の初演は二八四年、オーストリア・ウィーン。日本での初演は、一九二八年六月二日、徳島県板野郡板東町（現・鳴門市大麻町板東）にて行われ、ドイツ人が全曲演奏しました。

このドイツ人は、一九一七～一九二〇年、第一次世界大戦の捕虜として、板東捕虜収容所で収容されていました。板東捕虜収容所は、讃岐山脈の山麓に位置する田園の中の旧陸軍用地に建設された、延べ一万二〇〇〇坪の建造物です。当時、人口五〇〇〇人足らずの所に約一〇〇〇人を収容するハイカラなバラックが出現して住民を驚かせました。

所長の松江豊寿氏は、「ドイツ人も国のために戦ったのだから」が口癖で、酒を愛し、談笑を好み、ドイツ人との食事や彼らの催しに気さくに応じ、ドイツ人から学びたい地元民には、自らの責任で便宜を与えました。捕虜の日常生活は朝六時の起床から午後一〇時の就寝まで規則正しく営まれていました。アメリカ外

バナー自慢

大阪帝塚山ロータリークラブ

第二六六〇地区（大阪府）



当クラブは、二〇一一年七月に大阪の阿倍野、住之江、住吉の三クラブが合併して発足しました。大阪を見守る住吉大社、阿倍野と住之江と住吉をつなぐ路面電車、わが国最初の灯台である住吉高灯籠と、それぞれのクラブの思い入れのあるバナーの図柄を一つにしました。

言われ、虫垂炎が疑われたら、すぐに手術が行われました。入局したばかりで一番下っ端だったころの私は、一日に七件の虫垂炎切除術を受け持つことも多くありました。当時、外科の新人は、アッペ、ヘルニア（鼠径ヘルニア）、ヘモ（痔）の手術、がん末期患者の死亡診断書の作成を担当するのが一般的でした。しかしアッペは重症時にすぐ緊急手術をする、炎症のため出血が増えたり、臓器同士の癒着もひどく、傷口からの感染も起こりやすく、入院が長引く場合もあります。こうした理由からか、近年ではすぐに手術を行わずにエコー（超音波）検査などで重症度を判断して、手術の時期を決める治療が主流になっているようです。また、その方法も、腹部に

開けた三か所の穴からメスを操作する腹腔鏡手術になっています。待機手術になると入院が二回になり、また手術までの間に再発する恐れもあります。このリスクを考えると、抗生物質治療後二〜三か月での手術が望ましいようです。

アッペの原因としては、かつてはウイルス説もありましたが、現在、はっきりしたことはいまありません。

（第二六九〇地区 島根県 外科医）

ロータリアンとのつながり

元ロータリーアクター 則武 直樹

私は大阪天満橋ロータリーアクトクラブ（RAC）の元会員で、二〇〇九―一〇年度の地区役員を務めました。当時、第二六六〇地区には一九RAC、約三〇〇人の会員が在籍していました。活動には月二回の例会のほか、理事会（各委員会）、地区行事などがあります。月二回の例会では、さまざまな職業、国籍のロータリーアクターを講師として招き、語学・異文化交流例会や社会人マナー例会などを開いて知識、経験を増やしたり、ハロウィーン・コスプレ例会などで親睦を深めました。例会のほかにも行事がありますが、その中で最も人気があったのは、クリーンハイイクです。それは休日に行われ、お金をかけずに地

域清掃という社会貢献ができ、また、普段なかなかお会いできないロータリアンと一緒に活動し、親睦が深められるからです。

地区行事には一〇〇人ほど集まり、献血活動などを年間数回開催するため、普段の例会とは違う大きな会場の手配、プログラム運営の企画によって能力開発ができ、他地区、他クラブのロータリーアクター、ロータリアンとの交流や親睦を深められる場として非常に重要です。

私が地区役員を務めた年度は、地区ロータリーアクト委員会のロータリアンの方々と、各RACの例会やロータリーアクターが実施するさまざまな行事に、月に八〜一二回出席し、時に厳しい問題提起をしたり、例会がよい方向へ向かうように一丸となって活動しました。私自身も気づくと一年間三三〇日以上ロータリーアクトの活動をしていました。

その時から四年の歳月が流れ、私たちは転職、転職、起業して経営者となったり、結婚、出産などいろいろなことが起こっています。が、今でも地区ロータリーアクト委員会のロータリアンの方々と食事を共にして報告、相談、助言をいただいています。このようにできるのはロータリアン、ロータリーアクトと、異なった立場、環境、経験ではあるものの、一年間、一生懸命に活動を共にしたことによるものだと感じます。

いずれ、ロータリークラブへ入会できれば、ロータリアンとして、ロータリーアクトと一緒に活動できることが待ち遠しく、ワクワクしています。

（第二六六〇地区 大阪府）

ミニパターゴルフ場は日々の管理がとて
も大切に、当クラブの渡辺勇会員が造成を手
伝い、日々手入れをしています。

先日、佐藤さんにお会いした時、別れ際に
「蟹は甲羅に似せて穴を掘る」ということわ
ざを引用し、「ロータリーで学び、経験した
ことが、人に役立つことがしたいという自分
の思いを大きくしたんです」と力強く語って
おり、印象に残りました。

現役のロータリアンより真のロータリア
ンといえる人がここに生きている。感謝の気
持ちいっぱい帰路につきました。

(第二五三〇地区 福島県 印刷)

奉仕の喜び ロータリーに感謝

豊中千里 福田 みほ

私が毎年、お正月の一日を救世軍希望館(児
童養護施設)の子どもたちとともに過ごすよ
うになって、一〇年余りになります。

この施設では家庭などに課題を抱える幼児
から高校生までの約七〇人が暮らし、地域の
学校に通っています。館長が最も心を砕いて
いるのは子どもたちの心のケア。陸上やブラ
スバンド、ピアノなどのクラブ活動も、自己
評価の低い子どもたちに、成功体験を通して
自信を持たせ、劣等感を克服させることが目
的です。

年が明けると、子どもたちと館長夫妻、先
生方をホテルに招待し、「新年お楽しみ会」
を開きます。この日はピアノの発表会やブラ
スバンド演奏、コーラスなど日ごろの練習の
成果を披露してもらい、子どもたちが主役に
なる一日。お楽しみはプロのマジシャンによ
るマジックショーのほか、大きなタイの姿造
り、ステーキ、揚げたてのてんぷら、盛りだ
くさんのスイーツ……。最後に全員に賞品が
当たるビンゴゲームでお開きになります。

この行事を始めたきっかけは、ロータリー
に入会したことでした。クラブや仕事以外で
も「アイ・サーブ (I Serve)」で何かできる
ことはないか、といつも考えていました。そ
んな時、ボランティアの会の会長が、子ども
たちとの出会いに導いてくださいました。

「ありがとう」「ありがとう」。お楽しみ会
で朝の迎えの時から、夕方の見送りの時ま
で、子どもたちから何度この言葉を聞くこと
でしょうか。年の初めに、彼らの笑顔から元
氣をもらって「ありがとう」を言うのは私の
方なのに……。

子どもたちによるチャリティー演奏会や演
奏旅行、介護老人保健施設の訪問といった活
動へのサポートも数年前に始めました。支援
に感謝し、社会に恩返しをしたいと考える彼
らの姿勢には心を打たれます。

この少子化時代に、子どもたちは国の宝物。
どうか無事に成長して、健全な社会人として
巣立ってくれることを願ってやみません。そ
してこれからも私は子どもたちに伝えていき



日ごろの練習の成果を披露する brass band 部員

たい。真実かどうか。みんなに公平か……。四
つのテスト」「ロータリーの理念」を。

(第二六六〇地区 大阪府 電気機器及材料)

急性虫垂炎が 減ってきた

出雲中央 山口 孝之

医療に対する考え方も、時代とともに変化
しています。かつては、急性虫垂炎(アッペ、
一般的に盲腸炎、盲腸といわれている)が疑
われた時、抗生物質で抑えたりすると(当時
は虫垂炎を散らす、と呼んでいました)、完
全に抑えられない場合、「重症の腹膜炎にな
り、虫垂が穿孔(せんく)したりして腹の中がふん便だ
らけになり危ない」と外科の上司からきつく



山形芸妓さんの華麗な舞に魅了される宮崎RCの会員たち

屋さんやお菓子屋さんのオーナーで「第〇〇代〇〇兵衛」という名前を代々引き継がれている方がおられます。交流会の後は、伝統と格式を肌で感じる料亭で、金屏風を背にして三味線に合わせ、山形舞妓さん、芸妓さんの見事な舞が披露されるという山形ならではの出し物で歓迎を受けます。宮崎では決してできないもてなしです。お互いが持ち合わせている地域の文化に触れることでどんどん理解が深まって親近感が増し、視野も広がってきます。

姉妹クラブとなったなれ初めは、山形出身でNHK宮崎放送局長となり宮崎RCに在籍していた佐藤昌一郎さんが、その後山形RCに入会したことです。

両クラブが交流を深めていく背景には、前述のようなさまざまな違いが魅力としてあるのかもしれませんが、常緑樹が多く、美しい紅葉

佐藤君さんの自宅の庭には、九ホールのミニパターゴルフ場があります。当クラブに在籍していた七年前、地域に貢献をしたいと自宅の畑をつぶし、約三〇〇坪のミニパターゴルフ場をつくり、無料で開放しました。

オープン時には、当クラブでパターやボールなどを持ち寄って寄贈するとともに、芋煮会を兼ねた開場記念コンペを行いました。

現在は、毎週水曜と土曜に行われる練習会に地域の住民の方が一五人ほど集まり、約二

元会員九六歳 社会奉仕にまい進中

福島南 林 克重

(第二七三〇地区 宮崎県 建設工事)

を見る機会の少ない宮崎人には、晩秋の蔵王、東北の景色は新鮮な魅力そのものです。逆に、真冬でもゴルフが楽しめる南国宮崎は山形の皆さんには大きな魅力かもしれません。

今回の訪問でも「ロータリー」を、そして「まち」を「仕事」を語り合い、まるですぐ傍らにいる感覚での付き合いをしてきました。

今年度、私たちのクラブでは、姉妹クラブや友好クラブに加え、東京、大阪、福岡の三都市にいるOBをフォローするためにフレンドシップ委員会を創設しました。この委員会が年々忙しく大事な役割を担っていくことは間違いありません。



佐藤さんのミニパターゴルフ場は地域の交流の場

時間練習を行っています。年間参加人数は、平石地区の住民より多い八〇〇人を超え、今年度は一〇〇〇人を目標としているそうです。

利用者の平均年齢は八〇歳を超えてはいるものの、皆とても元気で、始めたころ五〇を超えていたスコアが、四〇を切るようになり、さらには三五で回る方もいて、練習をすればまだまだ上達する、と練習に励んでいるそうです。

佐藤さんは、「自分がロータリーに入会し、社会奉仕を学ばなければミニパターゴルフ場をつくるアイデアは生まれなかったと思います。何より、自分が元気でいられるのもミニパターゴルフ場をつくり、そこに地域の皆さんが集まり、交流の場として利用してもらえらるからです。自分も健康で、生きる力をいただいているのです。本当につくってよかった」とおっしゃっていました。

鹿沼東ロータリークラブ

第二五〇地区（栃木県）



鹿沼市は自然豊かな木の文化の町です。鹿沼今宮神社の氏子町内にある二七台の屋台のうち、一四台が市指定文化財で、四〇〇年の歴史ある屋台行事は、国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。毎年秋祭りに繰り出される、彫刻屋台をデザインしました。

が提唱した3—H（保健、飢餓追放および人間性尊重）運動にあると思います。これによって大義名分の支持と協力を全世界のロータリアンに要請してきました。

当時、これは決議二三—三四の中にある、クラブは社会奉仕活動を自主的に選ぶことについて絶対的な権利を持ち、RIはいかなる社会奉仕活動もそれを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないという事項に抵触すると、多くの日本のロータリアンが疑問に思いました。

それまでロータリー財団はその創立時の目的であった国際親善奨学金制度に代表される、教育的プログラムが主流でしたが、3—H運動実施を契機とし、一気に人道的支援、慈

善事業へと傾斜していきました。二〇一三年、未来の夢計画が全地区に導入されたことにより、世界に誇るべき国際親善奨学金制度は事実上崩壊し、ポリオプラス・プログラムに力が注がれていることが典型といえるでしょう。

もちろんその目的とするところに異論はありません。人道的支援が必要なことも明らかです。われわれはこれらの問題に関心は持たなくてはなりませんが、今やRIはその原点をおろそかにし、ロータリー財団と同化し、ロータリーの軸足は人道的支援、慈善事業、寄付行為に偏っています。人道的支援の寄付額についていえば、ロータリー財団が長年募ってきた浄財は、アメリカの一富豪のそれとは比べものになりません。

一九八五年、ポリオプラス・プログラムが開始されました。軌を一にして、八四年『手続要覧』から、突如、決議二三—三四が削除され驚きましたが、日本のロータリアンの抗議により八九年の『手続要覧』で復活しました。

「一業一会員の原則」と「規則的例会出席の原則」の二つはロータリーの核にあるものですから、このいずれかでもなくなると、それはもはやロータリーとは言えなくなります。

前者は二〇〇一年の規定審議会で廃止され、後者は一九六八年以降、度重なる規制緩和によって有名無実になってロータリーの核がなくなってしまうました。今や、ロータリー主催であればゴルフコンペでもメークアップでき、Eクラブなるものに至っては理解の範囲外にあります。

ロータリーはどこへ行ってしまうのでしょうか。われわれは、二〇世紀初頭の輝かしいロータリーの原点を学び、その本質に回歸すべきです。（第二六八〇地区 兵庫県 外科医 ※参考 佐藤千壽著『道徳と資本』佐藤千壽、深川純一著『双鯉雁信帖』）

違いが魅力の 姉妹クラブ

宮崎 加賀城征洋

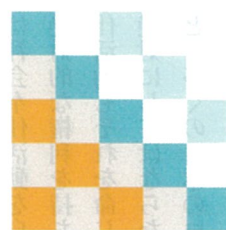
多くのクラブが国内外に姉妹クラブを有しておられることと思います。姉妹クラブは相互理解を深めるだけでなく、相手の活動に触れることでクラブの励みにもなります。

当クラブは国内で唯一、山形ロータリークラブ（RC）と姉妹クラブを締結し、昨年で三五周年を迎えました。北と南、商家文化の薫りが漂う山形と天領でおおらかな宮崎、日本酒文化と焼酎文化、そばとうどん、サクラソボとマンゴー、食べ物も言葉も違う二つの町。ところがこれでウマが合うんです（少なくとも宮崎ではそう思っています……）。

おおむね毎年、どちらかが訪問することにしていて、昨年一〇月末に宮崎から一九人の会員が山形を訪ね、姉妹クラブ締結三五年を祝い、再会を喜び合いました。

山形はどちらかと言えば、商家文化が色濃く残っている町かもしれません。会員にも酒

友愛の広場



FRIENDSHIP
PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

同姓同名の慶事

徳山 三浦 靖彦

世の中には自分と顔形が酷似した人物が、三人いるという。同姓同名も、そう珍しいことではない。名前にもよるが、全国を探せば二〜三人はいるだろう。しかし、である。同姓同名者が、五〇人程度のクラブに同時に存在したならどうか。これは相当まれなケースといえるのではないか。その「まれ」が、わがクラブで発生した。

一〇年のロータリー歴を誇り、直前会長だった河野正幸さん。この河野さんの推薦で、昨年一〇月に入会したのが河野正幸さん。もちろん、読み方はどちらも「かわのまさゆき」。河野前会長の故意なのか、偶然なのかはわからない。これまでクラブ内では、姓か名前のどちらかが同じという例はあったが、同じ漢

字で同じ呼び方の同姓同名は初めて。創立六一年で当クラブ始まって以来の珍事、と沸き立っている。いやいや、宝くじ並みの確率が当たったのだから、むしろ「慶事」といえるべきか。

困ったのは、二人の呼び分け方である。体格の違いに着目して「Lサイズ」「Mサイズ」と言う人や、頭髪から「黒」と「白」と呼ぶ人も。なかには「良い河野」と「悪い河野（失礼!）」という口の悪い先輩諸氏もいる。

これが、病院の入院患者などだったたりしたら、取り違えは致命的。取り返しがつかないミスになるところだが、当クラブ内には、そんな切迫した危機意識？ は今のところない。それぞれが、笑い話的なプチ混乱を楽しんでいるような気がする。とはいえ、『週報』などの印刷物表記の際は困るので、事務局では所属企業の頭文字をとって、「(日)」「日本



河野正幸さん（右）と河野正幸さん（左）

ハウス」と「(帝)」「帝人」を付けて区別できるよう工夫している。

『全国電子電話帳CD-ROM（二〇〇二年版）』をもとに編集された『同姓同名辞典』によると、山口県内には、三万六七八一件の同姓同名がある。この数字は漢字が同一であるだけで、読み方が違うケースも含まれているとはいえ、相当な件数。もしかしたら、宝くじに当たるより確率は高いかもしれない。でも、縁あって同じクラブに属し、奉仕の精神を胸に、同じロータリアンとして活動する同姓同名の二人の存在は、私たちが会員にとって、やはり慶事として受け止めた。

（第二七一〇地区 山口県 共済）

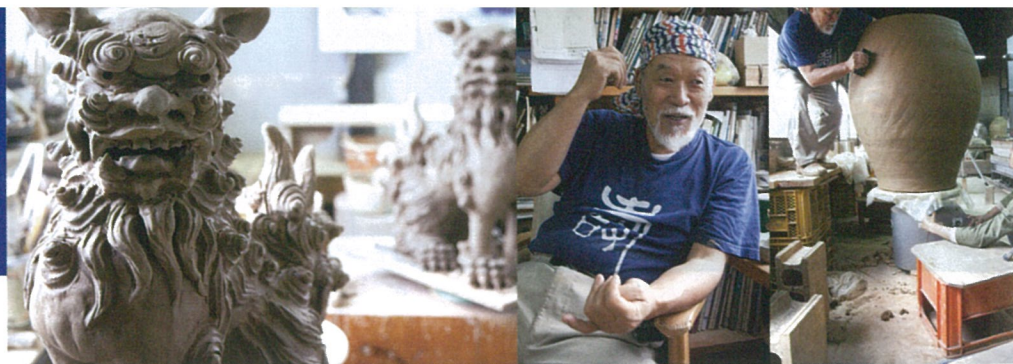
ロータリークラブ在籍五〇年に思う

明石西 多胡 健吾

私がロータリークラブに入会してから五〇年が経過しました。私にとってロータリーライフは五〇年前も今も、相変わらず楽しく有意義なものであり、ロータリーの綱領（目的）と決議二三―三四はとても魅力的で常に念頭にあり続けました。

しかしロータリーは大きく変わりました。端的に言えば国際ロータリー（RI）の方針が変わってしまいました。

その転機は一九七八年にロータリー財団



壺屋焼の伝統工芸士・相馬正和さんは、泡盛の甕を焼いたり、シーサーをつくったり……

らい、ぜひ紹介してほしいという県民を一人ずつ推薦してもらった。

那覇西RCの新垣裕道会長、次年度ガバナー補佐の新里順一さんからは、那覇伝統織物事業協同組合の安座間美佐子理事長を紹介された。重要無形文化財の首里織の技術保存と織り手の育成に力を尽くしている伝統工芸士だ。

その昔は王族や貴族・士族にしか着物が許されなかったという格式の高い見事な織物を見せてもらった後、後継者の研修するさまを写真に撮らせてもらった。

首里織は、デザイン(方眼紙に設計図をかく)、染色(生糸などの素材に染料で色をつける)、機織り(張った縦糸に横糸を通す)など、すべてを一人の人間が手作業で行う。なまじいの根気仕事ではない。研修生は、二年がかりでこの技術を学んだ後、国際通りの伝統工芸館で売るテーブルセンターなどの作品を納める義務があるという。この間に技術を高め、一人前の織り手になっていくわけである。

那覇東RCの例会では、さきの佐久本武さんやガバナー補佐の根路銘敦さんから壺屋焼の伝統工芸士・相馬正和さんを推薦されたので、翌日、読谷村の仕事場「陶真窯」を訪ねた。

相馬さんは、折しも、鹿児島島の薩摩酒造から



頼まれた二石甕を製作中だった。容量が四五〇リットルもある大きな甕を、一年がかりで一〇〇本ほどつくったという。

横浜育ちの相馬さんは、若いころ、料理人になる修業をしていたが、高校生のときから全国各地に旅をして焼き物を買う趣味があったそう。で、一九七二年、二三歳のときに那覇に来て壺屋焼の陶工に弟子入り、やがて読谷村に登り窯をつくって独立した。泡盛を熟成させるための大きな甕を焼く一方、茶道具、食器のほか、沖縄の狛犬ともいべきシーサーも制作、琉球南蛮焼の作家として全国各地で個展を開くなどの活動をしている。その相馬さんが言う。

「壺屋焼は、朝鮮の陶工を三人、沖縄に招聘したことに起源があるとされていますが、南蛮の焼き締め、中国の赤絵など、あらゆる技法が沖縄には入っている。チャンプルー文化ですね」
期せずして、佐久本さんが口にしたチャンプルー文化という言葉が、相馬さんの口からも出てきたのであった。



今回の旅では、ゴーヤチャンプルー、麩チャンプルー、素麺チャンプルーなどを各地で食べたが、どれもうまかった。いい土地だなあという思いが深い。

池辺史生(いけべ・ふみお)
元週刊朝日記者、現在はフリーランスの記者
佐藤 敬(さとう・たかし)
写真家。人物の撮影を軸に活動。

那覇東RCの例会



那覇西RCの例会





首里織の技術伝承に力を
注ぐ安座間美佐子さん

戦没者 24 万人の名が刻まれた「平和の礎」



現に琉球泡盛にしてもチャンプルー文化の所産なのである。沖縄には泡盛メーカーが四七社もあるが、どこも昔からタイ産の米を原料としている。日本産の米では水分が多すぎてうまくいかないという。タイ米のどんぶんを日本産の黒麹菌の力で糖に変え、それに酵母を加えてアルコール発酵させる。そのままだと亜熱帯の沖縄

敵味方を分け隔てせず
死者の名前を刻み世界の恒久平和願う

で、ホテルの稼働率がいちばん高いそうだ。ともかくも、沖縄県は一次産業、二次産業の従事者は合わせても一五％、サービス業などの三次産業従事者が八五％に達する土地、経済は観光で成り立っていると言える。

「だから、外国人に対してもフレンドリーなんです。歴史的にも文化的にもね、中国、台湾だけでなく、もっと南の国々ともつながっています。それらの文化がまぜこぜになっている。チャンプルー文化とでも言いましょうか」と、佐久本さんは言う。

縄では傷みかねないので、蒸留して甕で熟成させる。こうしてつくったものが泡盛である。この蒸留という技法も南方から来た文化だという。

佐久本さんの話は、さらに飛躍する。平和祈念公園に沖縄県がつくった「平和の礎」には、沖縄戦で亡くなった軍人、民間人二四万人余の人々の名を刻んだ碑が並んでいるが、これには日本兵として戦った台湾、韓国、北朝鮮の人ばかりでなく、敵だったアメリカ、イギリスの軍人一万四〇〇〇人余の名前も刻まれている。これもまた、なんでもまぜこぜに炒めるチャンプルー料理の精神に通じると言えるのではなからうか、と。

「平和の礎」は、戦後五〇年を迎えた一九九五年、大田昌秀知事の時代につくられた。大田知事は、沖縄師範在学中に鉄血勤皇師範隊に動員され、ひめゆり学徒隊に動員された沖縄師範女子部や沖縄第一高女の生徒たちと同じように悲惨な体験をしたが、たまたま銃弾を受けて負傷したために生き延び、後年、学者から政治家になった人だ。政治的には米軍基地反対の革新系だったが、この「平和の礎」には、沖縄戦のすべての犠牲者を追悼し、世界の恒久平和を願う思いを込めた。敵味方を分け隔てせずに死者の名を刻んだ碑は、参拝者の心に響く。

さて、沖縄にはロータリークラブが一一あつて、そのうちの五クラブが那覇にあるのだが、今回は、那覇西、那覇東、両クラブの例会をのぞかせても

名護市のホテルオリオンモトブから見た沖縄の海



牧志公設市場にて





花を供えてから「ひめゆり平和祈念資料館」へ



内外の観光客でにぎわう首里城公園

二〇一五年の春節（旧正月）休みは二月一八日から二四日までの一週間だった。東京でも中国からやってきた観光客の「爆買い」が話題になっていたが、沖縄にも中国文化圏からの観光客が押し寄せていたのだった。

首里城のすぐ近くに瑞泉酒造という泡盛メーカーがある。オーナーの佐久本武さんは那覇東ロータリークラブ（RC）のメンバーであるが、那覇市観光協会長、タイ王国名誉領事など、たくさんの肩書がある。

佐久本さんによると、沖縄への観光客は、昨

にあった土地なのだという優越感を抱かせているかもしれない。

世界遺産の首里城を目指した。観光写真でおなじみの守礼の門をくぐって坂道を上る。ここもまた中国語を話す人たちがあふれている。ときに韓国語の一人にも出会う。

首里城は琉球王朝時代に創建された。現在ある建物はそれを復元したものであるが、中国本土や台湾の古い建造物に近い雰囲気を感じさせている。

だから、中国文化圏からの観光客にも懐かしい感じを持たせているのではなからうか。あるいは、自分たちの文化の影響下

二〇一四年、ついに七〇〇万人を超え、ここ一年ほどは、台湾、韓国、香港、中国など外国からの観光客が目立って増えたという。円安がつづいているうえ、航空路線の新規就航や増便、クルーズ船の寄港も増えたからだ。

「日本の本土からの客はリピーターが多く、みやげものの買い方も控えめ、沖縄で使うお金は平均七万円ほどですが、中国からの客は二万円も使ってくれど聞いているいます。ありがたいことですから、観光協会としても、英語、中国語、韓国語で応対できる人材を増やすための講習会を開いたりしていますよ」

県の統計によると、外国人観光客は前年比三四万人増の八九万余人。台湾からの来島者がいちばん多く三四万人を超えるが、伸び率が高いのは中国本土からの客で、倍増どころか、一三七・二%増で、一一万三〇〇〇人になった。

沖縄県の人口は一四〇万、那覇市のそれは三二万。一方、観光客の受け入れ能力は、ホテルから民宿まで入れて、沖縄県全体で三万九〇〇〇室・一〇万人、那覇市が一万四五〇〇室・二万八〇〇〇人。那覇の場合、二月はプロ野球のキャンプもあり、春節もあり

二〇一四年、ついに七〇〇万人を超え、ここ一年ほどは、台湾、韓国、香港、中国など外国からの観光客が目立って増えたという。円安がつづいているうえ、航空路線の新規就航や増便、クルーズ船の寄港も増えたからだ。

「日本の本土からの客はリピーターが多く、みやげものの買い方も控えめ、沖縄で使うお金は平均七万円ほどですが、中国からの客は二万円も使ってくれど聞いているいます。ありがたいことですから、観光協会としても、英語、中国語、韓国語で応対できる人材を増やすための講習会を開いたりしていますよ」

県の統計によると、外国人観光客は前年比三四万人増の八九万余人。台湾からの来島者がいちばん多く三四万人を超えるが、伸び率が高いのは中国本土からの客で、倍増どころか、一三七・二%増で、一一万三〇〇〇人になった。

沖縄県の人口は一四〇万、那覇市のそれは三二万。一方、観光客の受け入れ能力は、ホテルから民宿まで入れて、沖縄県全体で三万九〇〇〇室・一〇万人、那覇市が一万四五〇〇室・二万八〇〇〇人。那覇の場合、二月はプロ野球のキャンプもあり、春節もあり



右上は聖地「斎場御嶽（せーふあうたき）」、右中「識名園」、右下は琉球王朝の陵墓「玉陵（たまうどうん）」、下段中はパワースポットとして人気の「沖宮（おきのぐう）」

瑞泉酒造の佐久本武さん



わがまち..... ROTARY そしてロータリー

沖縄県 那覇市

おおらかに異文化を受け入れ 「チャンプルー」にする風土

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

増える

台湾、韓国、香港、中国からの観光客

「二足早く春を味わってきてください」という編集部からの配慮ある指示で、二月の下旬、沖縄を訪ねることになった。ところが、ホテルがどこも満室だという。佐藤カメラマンが三時間余りインターネットで探しまくって、やっと那覇市内の小さなホテルの予約が取れた。羽田から那覇までの飛行機のほうも満員かという、これは案に相違して空いていた。

那覇空港でレンタカーを借りて、まず沖縄本島の最南端の糸満市に向かい、ひめゆりの塔と平和祈念公園を訪ねた。七〇年前の戦争を幼児期に体験した世代の人間として、沖縄の人たちには大きな借りがあるという気持ちがいまもある。慰霊碑の前で手を合わせ、頭を垂れてから

でないと沖縄観光はできない。

その夜は、那覇市の中心街、国際通りのあたりを歩いてみた。色とりどりの看板、みやげものの屋、飲食店がひしめく街並みを行く人々が声高に中国語で話している。一瞬、隣国台湾の台北市内の繁華街を歩いているような錯覚にとらわれた。

沖縄民謡が流れる飲み屋に入ると、ここは日本の各地からやってきた観光客でにぎわっていた。地元のオリオンビールでのどを潤した後、特産の泡盛に切り替え、魅チャンプルー、ゲル昆のから揚げ、海ぶどう、アゲ豚のとなかつなど、沖縄の料理を賞味した。

翌朝は、読売巨人軍がキャンプをしている野球場を横目に、



世界遺産 首里城の正殿



しない、この世には存在しません。日本人は、ある意味で自然に対して非常に謙虚ですから、自然界には存在しないものを、自然に押し付けるということはしません。あくまでも自然の通りにする、自然にならうということです。

同じことが茶碗についても言えます。ヨーロッパのティーカップは円を徹底的に追求して、非常に美しい、いいデザインですが、とにかく円は完全に円でなければいけない、そういう意味の緊張感があります。一方、あえて円ではないし、茶碗もわざとゆがめたり、色もぼかしたりすることで、自然を追求しながら、自然の中に自分の美意識を出すのが日本人です。

二つ目。黒白はつきりさせるとか、善悪二元論というのを、日本人は嫌いますよ。あいまいであること、ぼんやりしていることがいいことだ、という要素が強いと思います。あいまいなもの、グレーなものを受け入れる許容力は、立場がはっきりしないと外国からしばしば批判されるのですが、はつきりさせることで、実際には敵か味方か、常に分けてしまうことになりません。

悪はたたく。しかしそれをやれば、向こうも憎悪感が増し、負の連鎖が始まります。どのような国であれ、どこかに良いところがあるのだから、付き合っておこうというのが、日本の外交です。アメリカ、ヨーロッパの人たちにはなかなか通じないところがありますが、それが日本のいいところだろうと思います。

三つ目の、目に見えないものの価値。日本人は目に見えるもの、音に聞こえるものだけが価値

がある、とは思っていない、そういう習慣をずっと積み重ねてきたと思います。音楽でも、会話でも「間」というものが大事になります。

日本人が文化財に蓄えてきた価値は、世界に大いに役に立ちます。思い上がりとか「司の論理」という、目の前の近代生活を支配している論理から飛び出して、本来人間はどうあるべきか、日本人はどうあるべきかを考えさせてくれる、素晴らしいメッセージがあることに、われわれは気がつくべきだと思います。

それによって、一人ひとりの良心が、善性が芽生えてきて、今の大きな問題を解決する、大きなきっかけになるのではないかと思います。しかも、文化芸術は今後重要になってきます。

最後に、地域、ふるさとを育むということ。これからは、地方の都市が単位になる、と言われています。国ですと、サイズが中途半端です。テロの問題、エネルギー問題、温暖化問題、これらは一国だけでは扱えません。他方、人々の日々の生活、福祉、教育、医療に応えるには、国は大きすぎてついていきません。地方は一番適切な単位だと思います。

一人ひとりのアイデンティティーも、国ではなくて都市に求められています。自分の生まれた都市、地域に心のよりどころを持ち続けるのだらうと思います。

そして、先ほどから申し上げてきた日本の文化は、日本全体が一緒になってつくってきたわけではなく、それぞれの地域に、それぞれの特徴を持って、長い間つくられてきた価値観、伝説や神話や、いろいろな形で伝えられてきたも

のをまとめて「日本文化」と言い、その平均を言っているわけですが、もともなかったのは、それぞれの都市、地域にある文化です。

従って、これから一人ひとりが自然と一体となって、かつ、その地域の固有性を持ちながら連帯していくためには、また文化芸術という分野で、社会を活性化して人々が元気になる、ということを進めていく上では、都市、地域というのが一番、適切な単位だと思います。

実は、そういう都市を大事にする動きが、すでにヨーロッパで始まりました。ヨーロッパは成熟した民主主義、経済に達しましたので、これからは創造力であり、歴史の重みであり、そこに伝わる伝統であり文化だ、ということである都市を選んで、その文化を掘り起こして、みんなでサポートしていこう、それを順繰りに各国回していこうとして、これが大いに成功しました。日本でも、数年前からそれを行っております。

ロータリークラブというのは、「司の論理」の自分の職から離れて、社会のため町のために貢献をするという、そういうお立場にある方々の集まりなのですから、まさに市長さんを盛り上げて、議員さんを説得して、市民を元気づけて、それぞれの街が持っている魅力をうまく掘り起こし、それを発信していくという意味では、大変重要な役割をお持ちであらうと思います。

これから日本を元気にしていくのが、文化芸術であり、その最先端に立っていかれるのが、いくべきなのが、いつていただきたいのが、地方の都市だ、ということです。

る文化芸術の力です。

その一つが、「固定観念からの脱皮」「ひらめきを与える」ということです。われわれは学校で習う算数や理科の枠の中で勉強をしてきましたが、それだと、決まりきった枠の中の議論しかできません。今、日本が必要としているのは、常識と言われているものの、固定観念、あるいは既成概念を突破してぶち破っていくということです。イノベーションとは、そういうことです。それを与えてくれるのが、文化芸術です。固定観念や常識の中で行動していたのでは、素晴らしい芸術は生まれません。芸術を見る、自分でやってみることで、それまで自分が当たり前だと思っていた知的な枠組みから、脱することが出来ます。それがイノベーションにつながっていきます。

自然の中に 美意識を見いだす日本人

文化芸術の力の最後の点、日本人の思想、価値観、先人の知恵を伝える。その手段となっているものが、文化、特に伝統芸能であったり、文化財であったりするわけです。

特に、この最後の点に関連して日本の伝統文化、思想にはどういう特徴があるか。これもまた一〇〇人一〇〇様、いろいろな考え方があると思いますが、今日は三つに絞って話をしたいと思っています。

一つは自然観。二つ目が、善悪二元論ではなく、あいまいさを許容する心の広さ。三つ目が、

目に見えないものの価値を理解できる認識力があるということ。

日本人には、長所と短所がどちらもたくさんあります。勤勉性、機密性、時間厳守。これらは、明治以降の近代化、そして戦後の経済復興に大いに役に立ちました。新幹線もその典型ですが、世界がびつくりしました。西洋でないのにこんなにすごい近代化をした、あの戦後の荒廃の中からこんなに早く立ち直った、ということ、日本をみんなが称賛しましたが、これらの実績に、日本人の特徴が貢献したことは間違いありませんし、われわれもそれを認めて自信を持ち、世界もそれを認めています。

その過程で、前述の自然観などの三つは、近代化の、あるいは産業化にはなじまないということ、脇に押しやられてきたのではないかと思います。しかし、それはしっかりと伝統や文化財に残されています。これらの三つに、どういう意味があるのでしょうか。

まず、自然観。『作庭記』という平安時代に

つくられた、庭造りの本に書いてあることを一言で申し上げれば、いい庭を造ろうと思ったら自然の言う通りにしなさい、ということなんです。

ある石をどこに立てたらいいか迷ったら、自然の命ずるがまま、石の命ずるがままにすれば一番いい、いろいろ計算したり、小さくしかく考えるな、と書いてあります。自然を尊ぶ、自然と一体になるのが日本人の自然観だと思います。

それに対し、ヨーロッパでは「人間には理性があるから、自然よりも優れている。だから神から選ばれた」と考え、自然は道具として扱ってもいい、人間は自然と距離を置いていい、と思っています。

それが、科学技術の発達につながったことに間違いはないのですが、その結果、人間のつくるものは人工的なものになります。パリ郊外のベルサイユ宮殿は、素晴らしい近代的な庭園ですが、直線と円、左右対称、幾何学的な模様になっています。

直線、あるいは円というのは自然界には存在



■前文化庁長官 近藤 誠一

一九四六年神奈川県生まれ。七一年東京大学教養学部教養学科卒業。七二年同大学大学院法学政治学科中退、外務省入省。在米国日本大使館参事官、同公使、外務省経済局審議官、OECD（経済協力開発機構）事務次長、外務省広報文化交流部長などをへて、ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、駐デンマーク特命全権大使。二〇一〇年七月から一三年七月まで文化庁長官。フランス共和国レジオン・ドヌール勲章シュバリエ章をはじめ各国より受勲。現在、近藤文化・外交研究所代表、外務省参事、東京大学特任教授、東京藝術大学、同志社大学など客員教授、(株)JXホールディングス、(株)カゴメ、(株)パナソニック外取締役、森ビル顧問、『外交官のア・ラ・カルト』かまくら春秋社、二〇一一年、『ミネルヴァのふくろうと明日の日本』かまくら春秋社、二〇一三年、『FUJIAN 世界遺産への道』毎日新聞社、二〇一四年など著書多数。

心がつながって、力になっていくのではないかと思います。

最近のソーシャルメディアは、そういったことを行う上で、非常に有利な状況をつくつてくれていると思います。

日本の伝統的な思想・文化が 社会の問題を解決する

社会の問題を解決する方法として、今、われわれが一番気づいていないのが、日本の伝統的な思想、あるいは文化、文化財に込められた、昔の人からのメッセージではないか、と思います。

文化芸術にどんな力があるか。第一は、一人ひとりが感じる、感動、悩み、祈りといったものを表現し、そして人と共有する、ということです。

南フランスのラスコーという有名な洞窟にある壁画は、一万二〇〇〇年ぐらい前に描かれたものです。当時、クロマニヨン人たちが、なぜこんな素晴らしい芸術を描いたのでしょうか。そこで思ったのが、人間には、自分が感じていることを表現したいという衝動のようなものがあるのではないか、ということ。当時、まだあまり言葉も発達していなかったでしょうから、何かわからないけれど、説明できないけれど、表現したいものを、絵を描いて表現したのではないかと思います。

この話を、ある文化人類学者の方にしましたら、クロマニヨン人より前にネアンデルタール

人がいましたが、彼らが滅びてしまったのは、お互いに情報を共有する能力が乏しかったからだと言っておられました。

第二は、一人ひとりに生きる力あるいは幸福感を与えるということです。自分がつくったものであれ、人がつくったものを鑑賞するのであれ、感動すると、何かそこに生きがいを感じ、明日への夢が湧くということです。

第三は、社会的役割です。ロンドンに行つてシェークスピアの『リア王』を観劇しました。幕が開いてすぐリア王が出てくるのですが、びつくりしました。なぜかという、その役者さんは二倍くらいあつて筋骨隆々、肌が黒くて、明らかにアフリカ系の方だったからです。私の思っているリア王のイメージは、やせこけた白人で、髭を生やしている哀れな老人です。そのギャップに愕然としたのですが、みるみる彼の演技に引き込まれて、いつのまにか、違和感はなくなりました。

当時、イギリスの首相だったトニー・ブレアが行った政策の一つが、旧大英帝国の罪滅ぼしとして、アフリカ、中東、アジアの旧植民地の人々を、移民としてイギリスに受け入れるということでした。しかし、言葉の問題、習慣の問題、教育の問題など、いろいろあつて移民の方々が、スムーズにうまく社会に溶け込めません。社会もなかなか受け入れません。その結果、犯罪に走り、テロに走る人も出てきます。そこをなんとかしなければと、ブレア首相はいろいろ考えた末、芸術という世界があるではないか、ということに気づいたのです。

算数ができなくても、英語能力が乏しくても、演劇はうまいかもしれない、歌がうまいかもしれない、踊りだったら世界一かもしれない。移民の方々の中には、そういう人がたくさんいるはずだと考えたのです。そういう彼らの才能を見つけ出し大いに盛り立てあげよう、ということにしたのです。これが大成功したと聞いております。

第四は、経済効果。文化活動が高まれば、文化産業が生まれ、地域振興になり、観光資源になるということです。通常、景気が悪くなると政府は公共事業を打ち出します。橋をつくったり、道路を直したりすれば、それによつて雇用が生まれ、所得が増えれば消費に回るといふことです。文化も、文化事業と文化施設の建設を全部合わせますが、公共事業とそれほど遜色がないくらい、GDP（国内総生産）を押し上げることが出来ます。従つて、不況だからと文化を削るというのは、とんでもない話なのです。

第五は、国際的な役割。今「クールジャパン」などと称していますが、日本は、文化では世界で依然として存在感があります。それは伝統文化であり、それに根差した最近のマンガ、アニメ、コスプレといったもののおかげでしょう。ハーバード大学のジョセフ・ナイ教授は、軍事力や経済力ではない、文化には国のイメージを上げ、外交を行いやすくする力があり、日本にはそういう力が十分にある、と言っておられます。文化の力は、外交にも役立ちます。

文化芸術の力、五つまでいきましたが、次に挙げる二つが、私が今、一番大事だと思ってい



人がいないところで財布を見つけても、ポケットにしまうのではなく、自分の良心にかけて警察に持っていくという、良い伝統が日本にはありました。そういった伝統を今、取り戻さなければいけないのではないかと、思います。

人間には善性と悪性、良い心と悪い心があると思います。どんな人間にもあると思います。一〇〇哲善人もいないし、一〇〇哲悪人も多分いないと思います。

人間がもともと持っている倫理観、バランス感覚、連帯心、自己規律、そういったものによって、悪い面から出てくる「まあいいじゃないか、誰も見てないからもらっちゃえよ」という声を自分で抑える、そういう自己規律といったものを、一人ひとりが取り戻していかないと、今の問題を解決できないと思います。

「司の論理」に関して、組織は確かに大事ですが、その組織の壁を超えて、一人ひとりが自分の良心に基づいてつながっていく、ということが必要です。社会的目的を持った組織ですから、簡単につぶすわけにはいきません。組織の生存のために、利益のために、最低限のことはもちろん協力すべきでしょう。

しかし、一定以上になると、自分の良心が耐えられなくなるとありますが、その時、組織を飛び出ることができなければ、そこは適当に付き合っておいて、同じような気持ちを持った他の個人と、良心をもとにつながる、そして社会を良くしていくとしていく、組織の壁を超えて、個人と個人が自由につながっていくようなことをすれば、今、組織の中で埋もれている良

日本の再生 地域の役割と文化芸術の力

これだけ文明が進化したにもかかわらず、人間の心の豊かさ、充実感、あるいはモラル、優しさ、人を思う気持ちは、退化してしまったのではないかと思います。社会の問題を解決する方法として、今、われわれが一番気づいていないのが、日本の伝統的な思想、あるいは文化、文化財に込められた、昔の人からのメッセージではないでしょうか。

前文化庁長官 **近藤 誠一**
Seiichi Kondo

組織の壁を超えて 個人と個人が自由につながる

戦後の国連憲章体制は、恒久平和、繁栄を約束したものでした。少なくとも形式的にはそうでした。しかし、実際は山のような問題がわれわれの前に立ちはだかつております。政治、経済などの現状を見てもみずと、確かに民主主義も市場経済も科学技術もみんな素晴らしい、これほどの生活状況は、誰も昔予想もしなかったでしょう。しかし、これだけ文明が進化したにもかかわらず、人間は思い上がるばかりで、心の豊かさ、充実感、あるいはモラル、優しさ、人を思う気持ちは、退化してしまったのではないかと思います。

「司の論理」という言葉は、私が役所に入ったころ上司から教わった言葉です。組織最優先の縦割りの論理のことです。つまり、通産省は通産省、外務省は外務省、財務省は財務省、それぞれ組織の、守らなければいけない掟がある、ルールがあるということです。それはもちろん必要です。組織というのは、

ある程度その構成員が守ろうとしていかなければ守れない、崩れてしまうものです。ですから「司の論理」はあっていいものなのですが、その論理があまりに優先されてしまうと、その組織は何のための組織かを忘れてしまつて、組織を守ることに、汲々としてしまふことになり

ます。人間が思い上がる、ということに対しては、昔から警告がありました。ご存じのように『旧約聖書』に「バベルの塔」という話があります。人間が大きな高い塔をつくつて、神のいらつしやる天国に達しようとした。それに対して、神がとんでもない奴だ、思い上がっている、人間を異なる言語の部族に分けてしまわれしました。それで人間はお互いにコミュニケーションが取れなくなつて、ついに塔の建設は頓挫したという話です。人間の思い上がりを、神がお怒りになったという話だと思います。

では、どうすれば思い上がりとか、縦割りに縛られる思想を排除することができるのでしょうか。誰しもが思うのが、もっとルールを厳しくすればいいということです。それはそれで必要だとは思いますが、しかし、ルールをいくら強化しても、その網をくぐる者が必ず、出てくると思います。

今、見つからなければ構わない、バレなければいい、という気持ちが広がっているような気がします。従つて、ルールを強化するだけではなく、神に対してでも仏に対してでも、親に対してでもいいのですが、恥ずかしい、これはできない、という自己抑制の思いが大切なのです。

SPEECH

4月は雑誌月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

日本の再生

地域の役割と文化芸術の力

■前文化庁長官 近藤 誠一

 4
73

シリーズ わがまち……そしてロータリー……

おおらかに異文化を受け入れ「チャンプル」にする風土

沖縄県 那覇市

文・池辺 史生 写真・佐藤 敬

 9
68

友愛の広場

同姓同名の慶事

ロータリークラブ在籍五〇年に思う

違いが魅力の姉妹クラブ

元会員九六歳 社会奉仕にまい進中

奉仕の喜び ロータリーに感謝

急性虫垂炎が減ってきた

ロータリアンとのつながり

●バナー自慢

徳山 三浦 靖彦

明石西 多胡 健吾

宮崎 加賀城征洋

福島南 林 克重

豊中千里 福田 みほ

出雲中央 山口 孝之

則武 直樹

 13
64

卓話の泉

一〇〇年続く企業の秘密

第九の初演

自転車乗車のためのルール

ロータリー 俳壇

ロータリー 歌壇

ロータリー 柳壇

山口祐佳里

西宮恵美寿 浜田伸二郎

堺泉ヶ丘 西村 元秀

◆稲畑 汀子 選

◆佐佐木幸綱 選

◆てじま晩秋 選

 18
59

ロータリー・アット・ワーク

こころのプロジェクト「ユメセン」実施

八千代・八千代中央ロータリークラブ

〈写真〉本荘／別府北／福知山／

第2580地区東分区分／奈良西／諫早／

七飯／高松東

「自然の玉手箱」開催二〇〇回記念植樹

小学生の座禅体験

養護学校の子どもたちと音楽鑑賞会

児童養護施設の子どもと七五三参り

地元リトルリーグに硬式球をプレゼント

学童と社会人野球チームの交流野球教室

赤い羽根共同募金にコスプレで協力

奉仕のつどい開催

第一回こころの講演会 希望の風を送る！

一人暮らしの高齢者に楽しい時間を

地域の伝統文化を支えて

餅つきボランティア

職場訪問 世界を魅了する酒蔵へ

米山奨学生と初釜を楽しむ

年末恒例の寒風餅つき大会を開催

表紙のメッセージ 岡井 耀毅

表紙 横組み 「開門エキゾチック」 河野 康志（二七二〇 山口）

表紙 縦組み 「夢灯路と満開夜桜」 内山 明夫（二五七〇 東松山むさし）

 ●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4・5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

岡谷工コー

輪島

伊勢原平成

大阪帝塚山

福島南

八日市南

名古屋IAC

第二七五〇地区

行田

糸魚川

一宮北

音別

新潟南

宇部西

中村

第二五九〇地区

 32
45

 22
55

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

 ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp

ポリオのない世界まで あと少し

子どもたちが、ポリオによって二度と体の自由を奪われないよう
今こそポリオを世界から撲滅しましょう。

歴史に1ページを刻むために
募金、認識向上、支援の働きかけにご協力ください。

endpolionow.org/ja



あと少し

TUFF GON

Ziggy Marley

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO APRIL 2015 VOL.63 NO.4

ロータリーの友4月号 第63巻 第4号
平成27年4月1日発行(毎月1日発行)
通巻748号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

4

2015



SPEECH ———

日本の再生

近藤 誠一

わがまち……そしてロータリー
沖縄県那覇市

Rotary 